					2.373 2.7	- H I I I I							
No.	1250-010	事事業	務きり)しま写真展開係	崖事業						属 部 属 課	教育部	1 ≟⊞
	政策名			香きあうまちづく!	1						属 課 長 名	文化振興 川原 和明	
政策	施策名			ツ、芸術文化の							文 石 G(係)	芸術文化	
体系				ツ・芸術活動の							番号	42-1111	,
	空中 学未口	会計		項目目	事業	事業名			امدا	电叩	田与	42-1111	
Ŧ	P.算科目				57090	文化振興	費		法令 根拠	りしま写真展	実施要	項	
				方、手順、詳細		数年度事業	は全	体侈	を記述)			事業期	間
霧島の手順	D自然を写した 開催要綱の			優秀作品を展示 チラシの作成・広		の家杏 傷	玉作 5	⊒ഗ⊧	展示·表彰		<u> </u>	年度のみ	
				プランの1572、123章 ②金5万円 ○特		ル番旦 俊 · 冬賞各1点)				5円 〇特別	ia #	鱼年度繰返	
賞(環	境特別賞) 1.	点 賞	状 賞金	2万円 奨励	賞 4点 賞状	賞金5千円	Оλ	選	10点以内	賞状·賞品	▼ =		H 15 年度~)
											口其	間限定複数	
											□ (年度	~ 年度)
	状把握の部		<1#E										
	務事業の目 段(主な活動		首標						活動指標	票(事務事業の	/迁動豊	たますお標)	
	F度実績(20 ^年		「行った	主な活動)					/口生//7日17	x (尹初尹耒) 名称	ハロ判里	在1 尺 9 1日1示)	単位
「霧島	市環境保全協	会」が	新たに後	後援団体となり、賞		1点 (賞		_	□ ►*				
状·賞	金2万円」を新	設。そ	の他は、	事務事業概要と	司じ。			<i>)</i> ′	出品点数	X			点
							7	1	出品者数	ħ			人
				ている主な活動	1)		7	<u>'</u>	шин н х	^			
第6回	霧島写真展の	開催(事業の権	既要と同じ)				ウ					
5-1	·色/社 何女:	} 在	ーレアハ	るのか) * 人や	白好多酒竿				计色比较	票(対象の大き	++++	+比+無 \	
市民·		X) (A)		900万円	日然貝娜守				X当家打日竹	<u>家(対象の人を</u> 名称	c 在衣9	1日1宗)	単位
							\Rightarrow	ア	市民				人
							,	1	鹿児島市及	ひび近隣市町(姶良·加剂	台木·川内市)	人
	図/この事業	I- F	- T ++	象をどう変えるの	D-41)			ウ	C# EH +15 +16	ᄪᄼᆉᄼᅭᇅᇅᆉᄓ	7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	の法式中ナキ	
				家をとり受えるい 憂れた風物を認識		創作意欲を喚			<u> </u>	<mark>!(対象におけ</mark> 名称	る思凶(刀连风 及を衣	89 拍標) 単位
起する		.1-5-2) WI = 0 / I	2 1 V/C/24 1/3 C H/G/H4	VO(352120.0%	1311 /B/H/C·X		ア	写真展)				人
							7	1					
υ±	:田 / ぱ / <i>+</i> >/±	HI 1- 4	v± 7 ° /→ 1-	+ 7 O AV				ウ	上台世田	+6+= //+ = σ	゚゙゚゚゚゠゚゠゚゠゚	+ = + + ! += \	
	<mark>果(どんな結</mark> ·ッや芸術文化			りるのか) むきっかけが得られ	れる。				工业观末	<u>指標(結果σ</u> 名称)	を衣り拍標)	単位
					v		$\boldsymbol{\vdash}$	ア	きっかけづくり	名称 の活動(芸術文化教	牧室等)に参	加した延べ人数	<u>.</u>
							7	1					
(2) 经	事業費·指標	= 笙	1	18年度	19年度	20年度		ウ	 1年度				
(<i>L</i>) NVC	の推り		単位	(実績)	(実績)	(実績)			見込)				
	財国庫支		千円										
事	源 都道府県3 源 地方		千円										
事 業 投費	内の名の		千円										
投費	一般則	<u></u> 打源	千円	297	285	28	31		262				
入 量—	事業費計	(A)	千円	297	285	28	31		262				
							\perp						
	-		1				+						
	1		1				十				-		
		ア		158	174		12		220				
	活動指標	1	人	70	73	(94		100				
-		ウア		127,615	127,773	127,4	50		128,383		_		
	対象指標	7		121,013	773,796	774,0			773,000				
		ウ			-	,			·				
		ア	' 人	450	450	50	00		500				
	成果指標	イウ					-						
		リア		21,441	22,530	20,63	33		23,470		-		
上	位成果指標	7		۷۱, ۳۴۱	22,000	20,00			20,710				
		ウ	1										
(2) 由	改車光の理	空流 /	V /+ 🗆	<u> </u>									

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等 この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

旧国分市の市政50周年を記念し、地域の名所等を題材とした写真展を開始した。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? デジタルカメラの普及に伴い、どこでも気軽に撮影できるようになった。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 合併に伴い、旧市町の写真展がそのまま引き続き開催されている。集約して開催の方法を検討する必要がある。

	事務事業名	きりしま写真展		所属部		所属課	文化振興課
2	評価の部(SEE) ⁷ 政策体系との整		望価、ただし複数年度事業は ■ 見直し余地がある 【理		▼ 結びついている	【理由】	
目	この事務事業の目的 策体系に結びつくかが結果に結びついて	がは市(町)の政 へ?意図すること	芸術活動の一環であり、写真原	•			
的妥	公共関与の妥	当性	□見直し余地がある【理	由】与	☑ 妥当である 【理	曲】与	
評	なぜこの事業を市がらないのか?税金を する目的か?		写真展の開催は、芸術活動を	推進し、文	化向上につながる。		
価	対象・意図の姿	そ 当性	▼ 見直し余地がある 【理	申】之	□ 適切である 【理	申一之	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		市報及び県内の写真館を対象	ミに、チラシ			
	成果の向上余	地	□ 向上余地がある 【理由		▼ 向上余地がない	【理由】	
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 因で成果向上	写真人口も伸び悩みの感があ	り、開催回	数の割りにマンネリ感が	ある。	
有	廃止・休止の原	以果への影響	▼影響無 【理由】 🕏		□ 影響有 【その内	容] 🤼	
効性評価	事務事業を廃止・休響の有無とその内容	;は?	ほかにも写真展が開催されてる	おり廃止し ⁻	ても、さほど影響がない		
"	類似事業との約 可能性	統廃合·連携の	□ 他に手段がある(具体)	的な手段,	事務事業)		
	目的を達成するには		□ 統廃合できる 🕤 🔽	連携できる	る 🕤 🗌 統廃合で	きない 🕤	□連携できない 与
	以外他に方法はない との統廃合ができる の連携を図ることに、	か?類似事業と	 夏祭り写真展・エアーポート写 	真展・藤ま	つり写真展等との統廃台	à .	
	が期待できるか?	수 ऻ	✓ 他に手段がない【理由✓ 削減余地がある 【理由		☑ 削減余地がない	加山	
	事業員の別域 成果を下げずに事業			11 💠	▼ 削級未退がない	(年田)	₩
効率			文化協会が開催する文化祭等	での写真に	展示を行うことで事業費	の削減がて	ొంకిం
性評	人件費(延べ) 減余地	美務時間)の削	☑ 削減余地がある 【理由	1] 🕏	□ 削減余地がない	【理由】	
	やり方を工夫して延	kを下げずにより や委託でできな	文化協会加盟の写真同好会が	が自主活動	として広〈公募し写真展	を開催する	ることも考えられる。
公平	受益機会·費用 化余地	月負担の適正	□見直し余地がある【理	田] 🕏	☑ 公平・公正である	3 【理由】	₽
性評		いか?受益者	広〈市民に広報し、写真の公身を市民ギャラリーで開催するこ				Nので不公平はない。また、写真展 Nる。
			(次年度計画と予算への反			果長記入	
(1)	1次評価者としての 目的妥当性		(2) 全 ■ 見直し余地あり <u>→</u>	体総括(技	振り返り、反省点)		
	有効性 効率性 公平性	□ 適切□ 適切	☑ 見直し余地あり 🗖 これま	で4回の写 た感がある		ジポイントか	限られてきており、出品者等が特
(3)	今後の事業の方[句性(改革改善	案)···複数選択可	= :::	LL / (1 ++		改革・改善による期待成果
<	□ 廃止□ 休止□ 目的再設定□ 事業統廃合·連持改革改善案 >	▼ 事業の	Dやり方改善(有効性改善) Dやり方改善(効率性改善) Dやり方改善(公平性改善)		伏維持 通りで特に改革改善をし		発止・休止の場合は記入不要)コスト削減 維持 増加点上は (4)
			業との統廃合や経費の削減に多				成維果持低下
(5)	改革、改善を実現	する上で解決す	すべき課題(壁)とその解決領				
写	真愛好家の間で、発	表の機会や撮影	技術の停滞が考えられる。				

No.	1250-020	事	務霧	島美術展開催事						所属		教育部	
	TL 777 /2	事業	10							所属		文化振興	
政策				きあうまちづくり						課長		川原 和	
体系	心 束石	0 3 0 1		ツ、芸術文化の ツ・芸術活動の						所属(電話		芸術文化 42-1111	G
	基 中	会計	款	項目目	事業	事業名			_ A	电前	笛与	42-1111	
3	予算科目	一般			57090	文化振興	費		法令 霧	島美術展開	崔要項		
				方、手順、詳細								事業期	閰
	E住者及び環界 委員会において			見側市町の高校生 完 厚肉の画を	E以上から美術作 オ店等での公募の						l l	単年度のみ	
	·作業)審査				別に 実行委員会	会(精算事務)	, ,	, , ,	TFIX IA	אלאניונ אודי	i ii	鱼年度繰返	
											V	→ 	年度~)
											□其	間限定複数	女年度
											□ >(年度	~ 年度)
	状把握の部(・土面										
	野務事業の目的 段(主な活動		示						活動指標	票(事務事業の	活動量	を表す指標)	
20年	F度実績(20 ^年	F度に	:行った:	主な活動)					7H = 23 1 1 1	名称	/H = 1/1	C-10() 14 (M)	単位
	美術展の開催							ァ	出品点数	h			点
ンヒッ	グセンター市民	モキャフ	n— co)展示及び表彰式	,				шиимх	^			, m
0.17	노후학교 (01)	左 点	- ÷ L == L	ブリスナかご 手	± \			1	出品者数	女			人
第6回	<u>中度計画(21)</u> 美術展の開催	中度I (9 / 1	∟計画し 6~9/2	<mark>/ている主な活</mark> 重 !5までの10日間)。	ル) テーマ部門で	露島の風暑	7						
				也域をテーマとした				ウ					
対	象(誰、何を対	対象に	してい	るのか) *人や	自然資源等				対象指標	票(対象の大きる	きを表す	指標)	
市民·	美術愛好家						_			名称			単位
							\Rightarrow	アイ	霧島市内	勺美術愛好家			人
								ウ					
				象をどう変えるの	のか)					票(対象におけ	る意図の	の達成度を表	
市民の	の美術に対する	関心を	を高める					_	关4:00	<u>名称</u>			単位
							\Rightarrow	1	美術展)	\场白奴			人
								ゥ					
	果(どんな結								上位成果	指標(結果の	達成度	を表す指標)	324 AL
人亦-	・ツや芸術又化	活動に	_奴り紐の	ひきっかけが得ら れ	กร			ア	きっかけ作り	名称 の活動(芸術文化教	室等)に参	新川たのべ人数	<u>単位</u> 人
							\Rightarrow	1	2 2 3 17 17 1		,,,		
(=) (1	. 							ウ		1	1		
(2) 総	事業費·指標 の推		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)			1年度 見込)				
Н	日度士		千円	(天順)	(大順)			(.	元匹)				
車	別一数学点目	支出金	千円										
事業投費	内 地方		千円	220	C4.0	0	25		500				
投費	記 その1	<u>吧</u> 杉原	千円	320 1,500	618 1,191	1,23	05 38		580 1,275				
人 量 —	事業費計	(A)	千円	1,820	1,809	1,84			1,855				
里													
							+						
	ハイエレン	ア	点	322	312		11		320			·	
	活動指標	イウ	人	181	179	18	33		190				
		ア	人	1,300	1,300	1,4(00		1,500		+		
	対象指標	イ		.,	.,	.,			,				
<u></u>		ウ		4.000	700		40		000				
	成果指標	アイ	人	1,300	780	/4	48		900				
	水木]日信	<u>1</u> ウ											
	// P	ア	人	21,441	22,530	20,63	33		23,470				
╽╶┸	:位成果指標	<u>イ</u>					\perp						
(2) a	変事光の理	ウェ	人住民	<u> </u>						J			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等 この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

平成16年に旧国分市制50周年を記念して、市の美術協会を中心として開始された。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

合併に伴い、旧霧島町で開催されていた8号洋画展も合体して開催するようになり、出品者数も増加している。また、回を重ねる毎に作品のレベルが向上して

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 霧島市美術協会及び行政を主体として実行委員会を設置し、美術展の運営を行っているが,行政のみで運営してほしいという意見が強い。

	事務事業名	霧島美術展		所属部	教育部	所属課	文化振興課
2	評価の部(SEE) ⁷ 政策体系との整		価、ただし複数年度事業は ■ 見直し余地がある 【理	は途中評価 ●由】 つ	▼ 結びついている	【理由】	∵
目	この事務事業の目的 策体系に結びつくかが結果に結びついる	、? 意図すること	美術に触れる機会の提供は美	美術に関する	3知識と教養の向上につ	りながる 。	
的妥	公共関与の妥	当性	□見直し余地がある【理	由)之	☑ 妥当である 【理	由】之	
	する目的か?		鑑賞 , 発表する機会の提供は	、文化振興	の向上につながり妥当で	である。	
価	対象・意図の姿	g 当性	■ 見直し余地がある 【理	由)之	☑ 適切である【理	由)之	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		美術に対する関心も高まって	おり、妥当で	゙ ある。		
	成果の向上余	地	□ 向上余地がある 【理日	al →	☑ 向上余地がない	【理由】	₽
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 因で成果向上	成果は十分出ている。				
有	廃止・休止の反	成果への影響	□影響無 【理由】 5		▼ 影響有 【その内	容] 🤼	
効性評	事務事業を廃止・休 響の有無とその内容		美術に対する感動・関心の向	上により地均	或活性化に与える影響に	は大きい。	
価	類似事業との紹 可能性	統廃合·連携の	▼ 他に手段がある(具体	的な手段,	事務事業)		
	目的を達成するには以外他に方法はないとの統廃合ができるの連携を図ることに	1か?類似事業 か?類似事業と	□ 統廃合できる □ □	連携できる	5 🕤 📗 統廃合で	きない 🕤	▶ 連携できない 🕤
	が期待できるか?		☑他に手段がない【理由				
	事業費の削減		▼ 削減余地がある 【理日	則力	□ 削減余地がない	【理由】	→
効率	成果を下げずに事業いか?(仕様や工法の協力など)						ター・パンフレット等の作成につい より事業費の削減は可能である。
性	人件費(延べ) 減余地	美務時間)の削	□ 削減余地がある 【理日	i) 🧈	☑ 削減余地がない	【理由】	₽
価	やり方を工夫して延 減できないか?成果 正職員以外の職員・ いか?(アウトソーシ	kを下げずにより や委託でできな	共催である霧島市美術協会の バーに依頼する作業内容が堆			ルバーにイ	衣頼しているが、今後ますますシル
公平	受益機会·費用 化余地	負担の適正	■ 見直し余地がある 【理	画プ	☑ 公平・公正である	3 【理由】	₽
性評	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	市民を対象に開催されており、	適正である	3.		
3	 評価結果の総括の	と今後の方向性				果長記入	捌】
(1)	1次評価者としての目的妥当性	の評価結果 ▼ 適切	(2) 全 ▼ 見直し余地あり\	全体総括(技	辰り返り、反省点)		
	有効性 効率性	▽ 適切□ 適切	 ■ 見直し余地あり 展示:		ース、審査から展示まで 気から見直す必要がある		銭員の事務量は、これ以上望めない
(3)	公平性		□ 見直し余地あり			(4)	改革・改善による期待成果
< i	「 廃止	■ 事業の ■ 事業の 事業の	0やり方改善(有効性改善) 0やり方改善(効率性改善) 0やり方改善(公平性改善)	□ 現場 (従来)	犬維持 通りで特に改革改善をし	(月	・休止の場合は記入不要)コスト削減 維持 増加向上
	品数を減らすことによ						成維果持低下
			すべき課題(壁)とその解決 き合いと、実行委員の選定につ		ー - る必要がある。		
				17/11/2	_ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~		

		1 /3%	20	十段	7177777	木口三					
No.	1250-030	事事業	務合と	ごも絵画展開催	事業				所属所属		課
	政策名			きあうまちづくり					課		
政策	-	_									
体系	[ルスカ	0 3		ツ、芸術文化の					所属(G
I.L. NJ	基本事業名	0 1	スポー	ツ・芸術活動の	きっかけづくり				電話	番号 42-1111	
	<u>.</u>	会計	款	項丨目	事業	事業名		** ^			
	予算科目	一般			57090	文化振興費	Ī	— 法令 ─ 根拠 ^{こども}	絵画展開	催要項	
車科	事業の概要(目休的	かかり	方、手順、詳細	期間限定複	数年度事業に	t 소 (木像を記述)		事業期	
				ファップ						□ 単年度のみ	-)
				2校に絵画募集の			等// 7 8 查	。 展示·表彰		□ 半十反のの	
1121.2		四次〇			ин ш	-HIXIII E		/及/パーペギ/			
										🔽 単年度繰返	
										┗ (年度~)
										□ 期間限定複数	年度
										┗(年度	
1 ¥	見状把握の部	(DO)								→ \ 11 <u>X</u>	1 12
	事務事業の目		抽								
(') =	手段(主な活動	1/ 17 C 1E	作示					(千禾九十七十四 / 百	1221年光の	(<u>江</u> 新县	
			/二 - <u>+</u> -	ナナバエモ・				/ 白里川1日作宗(号		活動量を表す指標)	単位
	年度実績(20年	丰度に	. 付った:	土な活動)					名称		早江
ことも	た絵画展の開催							ア出品点数			点
								广山吅从奴			ж
							, k				_
04	生电台画 / 0.4 5	工 庄 1-	<u></u> 1 -	ナー・フェナー・シェエモヤ	\			イ 出品者数			人
_ ∠ I ·	牛皮計画(214 6絵画展の開催	十反に	・計画し	ている主な活動)		,				
LCT	が一般の別性							ウ			
文	対象(誰、何を	対象に	している	るのか) *人や	自然資源等			対象指標(対	対象の大きる	さを表す指標)	
園児	·児童·生徒								名称		単位
							\Rightarrow	ア児童・生徒数	汝		人
							7	イ園児数			人
								ウ			
돋	き図(この事業	II to	て かけ	象をどう変えるの	741)				せんにおけ	る意図の達成度を表	オ投煙)
	に対する関心を) ()			/北木1日1示(大	· <u>·················</u> 名称	る思因の圧成反で化	9 10 1点 / 単位
天 1们	になりるほかいで	同め、	剧什思日	1人で回 ひめ			_	ア 絵画展鑑賞			
							\Rightarrow		1日奴		<u> </u>
								イ入賞者数			人
1.	+ m . 18	TT 1- /-		1.7 1.3				ウ	I = = .		
	吉果(どんな結							上世成果指		達成度を表す指標)	227
人亦:	ーツや芸術又化	活動に	_耿リ紐も	ひきっかけが得られ	เอ				名称		単位
							\Rightarrow		助(芸術文化教	室等)に参加したのべ人数	人
							7	1			
								ウ			
(2) 糹	総事業費·指標		単位	18年度	19年度	20年度		21年度			
	の推		<u>+</u> iπ	(実績)	(実績)	(実績)	┸	(見込)			
	財国庫支	出金	千円								
_	2000年10日-	支出金	千円								
a	事源 地方で 地方で そので ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		千円								
₊ , ∮	長り その		千円				1				
投入量	一般則	掠	千円	122	89	3′	ı	52			
습			千円	122	89	3′		52			
重	7-7K-5K-H	(**)		122		U					
	<u> </u>										
	 						1				
	1		 				+			+	
$oldsymbol{oldsymbol{\sqcup}}$		1-	上	050	000			500			
	ンエチャナド・ナボ	ア	点	653	690	554		560			
	活動指標	1	人	653	690	554	+	560			
		ウ									
		ア	人	12,096	12,223	12,136		12,028			
	対象指標	1	人	1,852	1,830	1,764	1	1,760			
L		ウ									
	•	ア	人	1,000	470	470)	340			
	成果指標	1	人	81	37	85		41			
		ġ					1				
		ア	人	21,441	22,530	20,633	3	23,470			
	上位成果指標	7	-	,	,000	_0,000					
	ニュー・ペー・コロイホ	1 0					+				
/2\ <u>=</u>	直発重業の語:		/ / (注 尺:	 辛日华						1	

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

美術展が高校生以上を対象としているため、対象外である児童・生徒のための絵画展として開始された。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 園児及び小学生の作品は多く寄せられるが、中学生の出品は全体的に少ない。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 地区の絵画コンクールとの日程的な兼ね合いがあり、時期的に競合するおそれがある。

	事務事業名	こども絵画展開	見催事業 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	所属部	教育部	所属課	文化振興課
2	評価の部(SEE) · 政策体系との整		位、ただし複数年度事業は □ 見直し余地がある 【理		□ 結びついている	【理由】	₽
	が結果に結びついて)?意図すること	応募校・園が、毎年同じである	•			·
的妥	公共関与の妥		▼ 見直し余地がある 【理	由】 🤝	□ 妥当である 【理	由プ	
性評	する目的か?	が行わなければな そ投入して、達成	他のコンクール・絵画展で、補	充できる。			
価	対象・意図の多	妥当性	□見直し余地がある【理	申】之	☑ 適切である 【理	即之	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか	`?	対象・意図は妥当である。				
	成果の向上余	地	□ 向上余地がある 【理由	1) 🧈	☑ 向上余地がない	【理由】	₹
	成果を向上させる余果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	がき水準との差 原因で成果向上	多数の民間等のコンクール・約	ミ画展が多	すぎて、児童の高学年と	生徒の作	品数が極端に少ない。
有	廃止・休止の原	成果への影響	□影響無【理由】		▼ 影響有 【その内	容] 🤼	
対性評価	事務事業を廃止・休響の有無とその内容		創作意欲は他の絵画展・コンク	ールに向	けられ、創作活動の割合	が減る。	
1Щ	類似事業との領	統廃合・連携の	☑ 他に手段がある(具体	的な手段,	事務事業)		
	目的を達成するには以外他に方法はない		☑ 統廃合できる 🕤 🔽	連携できる	る 5	きない 🕤	□連携できない
	との統廃合ができるの連携を図ることに	か?類似事業と	地区コンクール等との統合を図	3 る。			
	が期待できるか?	5 / <i>10.</i> / 0/11	□他に手段がない【理由	_			
	事業費の削減	余地	■ 削減余地がある 【理由	1] 🕏	▼ 削減余地がない	【理由】	₽
効率	の協力など)		募集・取りまとめ等を学校ごとで	で行い、審査	査も先生達に依頼してい	ప .	
性		業務時間)の削	☑ 削減余地がある 【理由	a) 🌛	□ 削減余地がない	【理由】	₽
	やり方を工夫して延減できないか?成界 正職員以外の職員・	具を下げずにより や委託でできな	他のコンクールや絵画展の開 促す。	崔情報を収	2集し、各園・小・中へ広	報周知し他	也のコンクールや絵画展への参加を
公	受益機会·費戶 化余地	用負担の適正	□見直し余地がある【理	由了	☑ 公平・公正である	3【理由】	₽
評	事業の内容が一部の ていて不公平ではな	いか?受益者	市内の園児・児童・生徒を対象	に開催され	っている。		
	負担が公平・公正に			T# \ /D!	D 749 SIZ #	a = 4-7 \ .	
	評価結果の総括。 1次評価者として		:(次年度計画と予算への反 (2) 全		N) (担当記 振り返り、反省点)	果長記入	
	目的妥当性		▼ 見直し余地あり ■ 園児は	ナテーマに・	そわない作品も多い	名数のコン	ケール等との競合も激しいため、児
	有効性 効率性	=	▼ 見直しま地あり	学年と生行			をずらして開催しても、学校行事等
L	公平性	☑ 適切	見直し余地あり	リ,心奈奴い	の追加は兄匹のない。	Len	
(3)) 今後の事業の方 □ 廃止 □休止		案)・・・複数選択可 Dやり方改善(有効性改善)	□現	 伏維持) 改革·改善による期待成果 発止·休止の場合は記入不要)
	□ 目的再設定 □ 事業統廃合·連	▼ 事業の	つやり方改善(効率性改善) つやり方改善(公平性改善)		通りで特に改革改善をし		
他			v、他の絵画展·コンクールを積	極的に推進	重する 。		向 上
園	· 学校で第1次審査後	を提出しても5つ。					成維果持
							低下
			すべき課題(壁)とその解決? きるよう、絵画展やコンクールの)都度周知し創作意欲の	きっかけ	や選択の幅を広げてあげる。

		3	平成	20	年度	事務事業	業評価シ -	<u>- </u>			
N	lo.	1250-040	事	務しみき	ぞベスケッチ大名	冷開催事業				所属部 教育部	
Ŀ			事業	白						所 属 課 教育振興	
1	策				きあうまちづくり					課長名福永久	
	系系		3		ツ,芸術,文化の					所属G(係) 教育グル	<u>/ープ</u>
-) <u>1</u>		ツ,芸術活動の					電話番号 58-3191	
	子	·算科目 <u>-</u>	会 <u>計</u> 一般	款 1 0		事業 57090	事業名 文化振興費	Ī	 法令 根拠		
事	務	事業の概要(身	体的	りなやり	方、手順、詳細	. 期間限定複	数年度事業	は全	体像を記述)	事業期	間
									等で絵を1点仕上げ		
)、学年(高校・一般 ⁽ 、文化誌「文化みそ	~ ~ ~	
表	紙絵	に採用する。 入	、賞作	品につい	ハては、溝辺ふるさ	と祭りの作品展	示部門に展示	し、そ	の後、溝辺公民館	歴史民 🚩 半牛及緑区	
		室 , 福祉センタ	ーに	一定期間	間展示し、多くの方	に鑑賞してもら	う機会を作る。「	展示網	冬了後、作品は各人		H 1年度~)
9	る。									期間限正復領 り 年度	
1	現	状把握の部([00)							1 - 1 - 1 - 2	1 (2)
(1		務事業の目的		標							
		段(主な活動)		<u>.</u> .	ナムンイチム				活動指標(事	<mark>務事業の活動量を表す指標)</mark>	24 / -
		<mark>・度実績(20年</mark>)年度は、9月7日			土な活動)					<u>名称</u>	単位
		, 小39名, 中3名			合計 58名				ア事業参加者数	数	人
								_			
:	21年	度計画(21年	度に	計画し	ている主な活動)		9	1		
					、スケッチ大会を写				לי		
_		象 (誰、何を対	象に	してい	るのか) * 人や	自然資源等			対象指標(対	象の大きさを表す指標)	24 / 2-
ΠĐ	民							\Rightarrow	ア市民	名称	単位人
								7	1		
									ウ		
\ +					象をどう変えるの	りか)			成果指標(対	象における意図の達成度を表	す指標)
浦	770)自然に触れな <i>!</i>	かり美	しく豊か	な心情を培っ。			_	アスケッチ展を	<u>名称</u> 鑑賞した人数	単位人
								\Rightarrow	1 A 7 9 7 Re C	<u> </u>	
									ウ		
_		果(どんな結果							上位成果指標	票(結果の達成度を表す指標)	W / L
7	示一	ツや芸術活動に	- 4Xリ	組むさつ	かけか待られる				ア きっかけづくりの活動	名称 動(芸術文化教室等)に参加の延べ人数	単位人
								\Rightarrow	イ	(公附文门教主号) [[多加0] [[7]]	
									ウ		
(2) 総	事業費・指標:		単位	18年度	19年度	20年度		21年度		
-		の推 田庫支出		千円	(実績)	(実績)	(実績)	+	(見込)		
	_	W +=		千円							
	事業費	地方債		千円							
投	費	訳 その他		千円	25	24	2.	,	24		
Įλ		ונאגנו	<u>际</u> A)	千円	35 35	34 34	33		31		
量		于水类们(<i>,</i> , ,	113	00	01			0.		
	Ш										
	I		ア	人	64	61	58	3	100		
	;	活動指標	1								
			ウ								
		} 名 比 画	ア	人	127,615	127,773	127,450)	128,383		
		対象指標	イウ					+			
			ア	人	2,000	2,000	2,000)	2,000		
		成果指標	1		,	,	,		,		
L			ウ		21	20	22.22	\perp	00.475		
	⊢ .	位成果指標	アィ	人	21,441	22,530	20,633	3	23,470		
	Т,	业以未 徂信	イウ					+			
(3) 事	務事業の環境	变(L·住民	意見等					I	
	20	の事務事業を	開始	したきっ	かけは何か?し		経緯で開始さ	れた	:のか?		
4	ታ ጀ 1 :	ヰより、美術にタ	193	関心を打	寺ってもらおうと始ん	めた。					
	事	務事業を取り	巻くは	犬況.(対	象者や根拠法会	(等)はどう変	化しているか	、開	始時期あるいは「	5年前と比べてどう変わった	このか?
						ではあるが参加					
そ		により(参加有	の唱	ルのかめる	せのの、グレタフ	このののいるい	白か垣んしさり	こいり	0		
そ	の年									要望が寄せられているか	-

	事務事業名	みぞベスケッテ	チ大会開催事業	所属部	教育部	所属課	教育振興課
2	評価の部(SEE) 政策体系との		平価、ただし複数年度事業は 見直し余地がある 【理		▼ 結びついている	【理由】	्र ि
	この事務事業の目的 策体系に結びつくかが結果に結びついて	りは市(町)の政 か?意図すること	芸術(美術)に触れ合う機会を	•			•
的妥	公共関与の妥	当性	▼ 見直し余地がある 【理	由)之	□ 妥当である 【理	申】之	
当性評			霧島市教育委員会溝辺出張所 で実施する方法ではできないの		会溝辺支部が主催となり	実施してい	1る。実行委員会形式をとり,補助金
価	対象・意図の	妥当性	□見直し余地がある【理	即之	□ 適切である 【理	即之	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		参加者のほとんどが溝辺地区だいる。平成20年度は,幼4名,八				を利用し全市内外に広報を広げて
	成果の向上余	地	▶ 向上余地がある 【理由	I] 🕏	□ 向上余地がない	【理由】	₽
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	へき水準との差 原因で成果向上	参加者増と他地区からの参加: 優秀作品の市報への掲載や溝 審査員の人選を霧島市まで広	辺地区以:	外での展示会の開催。		
有	廃止・休止の原	成果への影響	□影響無【理由】与		▼ 影響有 【その内	容] 🞝	
効性評	事務事業を廃止・休響の有無とその内容		他の旧市町でこの事業を実施	しているとこ	ころはないので,芸術(美	統)に触れ	1合う機会がなくなる
価	類似事業とのの可能性	統廃合·連携	□ 他に手段がある(具体)	的な手段,	事務事業)		
	目的を達成するには 以外他に方法はない の統廃合ができるが 連携を図ることにより	ハか?類似事業と ハ?類似事業との	─ 統廃合できる 与 □	連携できる	る 🕤 📗 統廃合で	きない 🕤	□連携できない 🕤
	期待できるか?	, 成未00円工/J.	● 他に手段がない【理由	1			
	事業費の削減	余地	▽削減余地がある【理由		■ 削減余地がない	【理由】	₽
効率	成果を下げずに事美いか?(仕様や工法の協力など)		実行委員会形式をとり,補助金 指導審査員に係る費用の削減		営する。		
性		業務時間)の削	☑ 削減余地がある 【理由	رک ا	□ 削減余地がない	【理由】	₽
	減余地 やり方を工夫して延 減できないか?成界 正職員以外の職員・ いか?(アウトソーシ	具を下げずにより や委託でできな	実行委員会形式(文化協会溝)	D支部中心 	v)をとり,補助金交付でi	軍営する。	
公平	受益機会·費戶 化余地	用負担の適正	▼ 見直し余地がある 【理	由] 🥏	□ 公平・公正である	る【理由】	₽
性評		いか?受益者	参加料の徴収				
3			(次年度計画と予算への反			課長記入	欄
(1)	1次評価者として 目的妥当性		(2) 全 「見直し余地あり」	本総括(振り返り、反省点)		
	有効性 効率性	適切適切	□ 見直し余地あり □ 自然に □ 見直し余地あり 催。	親しむ機会	会を提供するとともに、芸	術(美術)	に対する意識の向上を図るため開
	公平性		▼ 見直し余地あり				
〈実参参作参審	今後の事業の方 □ 廃止 □ 開設定 □ 目的 再設定 □ 事業統廃合・連 改革改善案 > 行委員会増 加対象地区の拡大 品展示の徴収のあり方 加料の人選	向性(改革改善 事業の 事業の 事業の 事業の 携 マ事業の	(条)・・・複数選択可 のやり方改善(有効性改善) のやり方改善(効率性改善) のやり方改善(公平性改善) のやり方改善(公平性改善) な)をとり、補助金交付で運営する すべき課題(壁)とその解決	3.	伏維持 通りで特に改革改善をし	()	改革・改善による期待成果 発止・休止の場合は記入不要
	化協会溝辺支部の自 尊審査員に係る費用		上(この部分を解決しないと実行 の連携)	ī委員会へ	の改善は図れません)		

		十八人	20	牛皮	尹勿尹?	未計価ン					
No.	1250-050	事事業		主文化事業					所属		±m
	Th 455 47			ミキャミキナベノロ					所属		
政第	英			きあうまちづくり ツ、芸術文化の					課 長		
体系	基本事業名			ツ、芸術文化の		· · / /1			電話		3
		0 1 会計	款		事業	事業名		11	电前	宙与 42-1111	
	予算科目	一般				主文化振興	事業	— 法令 根拠 なし	J		
				方、手順、詳細						事業期	背
				舞台芸術及び演	奏会等の芸術鎖 及びチケット販					□ 単年度のみ	
主な 事業	ナ順 尹耒の: 費の主なもの		業務 委託料					事業費精算 チケット販売	手数料 な	一 岁年度操作	
تخ	20.0.0		~#011			H11 112/			3 22(1)	☑ 単年度繰返 □ (□ (□ (□ (□ (□ (□ (□ (□ (□ (□ (□ (□ (□	年度~)
										□ 期間限定複数	,
										┗(年度	
	見状把握の部(
	事務事業の目的		襟					(千香九十七十五	(声及声光の	ぶも見たままじた	
	F段(主な活動 <mark>年度実績(20年</mark>		行った:	主な活動)				/ 白里川 日代示	(事務事業の 名称	活動量を表す指標)	単位
	島市民音楽の集			<u>エマルゴ</u> の墓~ミュージカル	レ 宝くじまち	の音楽会 ~		コークラー		O 88 /4 *b	
南こ	うせつコンサート							ア舞台演劇	・コンサート	か 用惟 数	回
							\Rightarrow	1			
				<mark>ている主な活動</mark>		-t	7	•			
	アクネステャン・	ノアミリ	ィーコン	サート 清水ミチ	-11-7&71,			ウ			
ð	寸象/誰 何を∜	付金に	してい	るのか) * 人や	白然咨源等			対象指標	(対象の大きる	な表す指標)	
市民		13810	-0 (01		1 然 吳 / 小 七			NI DIN	名称	2 で (大 ヶ)日1示 /	単位
							\Rightarrow	ア 延べ会館	座席数		席
							,	イ ウ			
Ē	音図(この事業	にょっ	て 対!	象をどう変えるの	ን ታለ ነ				(対象におけ	る意図の達成度を表	すお煙 /
				トを鑑賞してもらう。					名称	の心因の足成及とれ	単位
							\Rightarrow	ア延べ入場	者数		人
							,	イ ウ			
4	吉果(どんな結	果に糸	きび付け	tるのか)					指標(結果の	達成度を表す指標)	
				ひきっかけが得られ	าる。				名称		単位
							\Rightarrow	F	D活動(芸術文化教	室等)に参加した延べ人数	人
							7	イ ウ			
(2) ‡	総事業費·指標		単位	18年度	19年度	20年度		21年度			
	の推			(実績)	(実績)	(実績)		(見込)			
	財 国庫支出 都道府県3		千円								
= 1	国源 地方(千円								
投槽	を表現している。 を表現している。 おります。 おります。 おります。 おります。 おります。 おります。 おります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もります。 もりまする。 もりまする。 もりまする。 もりまする。 もりまする。 もりまする。 もりまする。 もりまする。 もりまする。 もりまする。 もりまする。 もりまする。 もりまする。 もりまする。 もりまする。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もりまる。 もり。 もり。 もり。 もり。 もり。 もり。 もり。 もり		千円	3,160	3,640	78	_	3,506			
投 入 量	四又 宗/		千円	5,123	3,950	1,91		1,977			
量-	事業費計	(A)	千円	8,283	7,590	2,69	9	5,483			
							╧				
L											
ļ		ア		3	4		3	2			
	活動指標			3	7						
		イ ウ									
	计争论描	ア	席	3,150	4,650	2,87	0	2,000			
	対象指標	イウ					-				
		ア	人	2,048	2,117	2,15	0	1,800			
	成果指標	1									
		ウア	人	21,441	22,530	20,63	3	23,470		-	
ا	上位成果指標	1		۲۱, 44 ۱	22,000	۷,03	+	20,410			
		ウ									
(2) E	复数車光の理!	ᅔᇒᄼ	/ /	<u> </u>							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等 この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

文化施設を活用した文化事業を展開し、市民に広く芸術文化に触れる機会の充実を図ることを目的に開始した。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 余暇時間の増大や情報化、国際化の進展に伴い、生活スタイルや価値観が変化し、物質的充実から生きがいやゆとりといった精神面の豊かさを求める方向 に変わっている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 自主事業参加者アンケートによると、多様で高度な芸術文化事業を低料金で開催してほしいと言う意見がある。

	事務事業名	自主文化事業		所属部	教育部	所属課	文化振興課
2	評価の部(SEE) っ 政策体系との素		価、ただし複数年度事業は ■ ■ 見直し余地がある 【理	は途中評価	☑ 結びついてい	る「理由」	<u></u>
	この事務事業の目的 策体系に結びつくかが結果に結びついて	りは市(町)の政 へ?意図すること		•			→ との香り高いまちづくりに繋がり妥
的妥	公共関与の妥		■見直し余地がある【理	曲】为	☑ 妥当である	【理由】 🦠	
性評	なぜこの事業を市が らないのか?税金を する目的か?	行わなければな 投入して、達成	市民が心豊かで質の高い生活 賞機会の提供は妥当である	舌と創造性に	二富んだ活力ある地均	或社会を築 <i>〈†</i>	ために、市が優れた舞台芸術の鑑
価	対象・意図の姿	妥当性	▼見直し余地がある【理算	曲】为	□ 適切である	理由】 🦠	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		より多くの市民が優れた舞台:	芸術を自発に	的に鑑賞する機運を	高めてもらう。	
	成果の向上余	地	▼ 向上余地がある 【理】	#J 🕏	□ 向上余地がな	い【理由】	Ð
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 原因で成果向上	自主文化事業の内容を市民 業を実施することで、より多く(り確に捉えた事業の選定を行い事
有	廃止・休止の瓦	は果への影響	□影響無【理由】 🖜		▼ 影響有 【その)内容] 👈	
効性評	事務事業を廃止·休 響の有無とその内容		 文化芸術に関心の高い市民: 問われる。	からは、鑑賞	1機会の提供が望まれ	いると同時に、	文化の香り高い街づくりの整合性が
価	類似事業との紹 可能性	統廃合·連携の	▼ 他に手段がある(具体	的な手段,	事務事業)		
	目的を達成するには		□ 統廃合できる つ	連携できる	3 🕤 🔽 統廃合	できない 🕤	▼連携できない 🥄
	以外他に方法はない との統廃合ができる の連携を図ることに。	か?類似事業と	民間事業は営利が目的であり)、採算性の	取れる事業のみの実	施となり、偏っ	た事業展開となる。
	が期待できるか?	<u> </u>	□他に手段がない【理由			/TE ± 1	
	事業費の削減成果を下げずに事業		▼ 削減余地がある【理	#1 →	□ 削減余地がた	い「埋田」	7
効 率	いか?(仕様や工法 の協力など)	の適正化、住民	企業との連携により、事業PR				
性評	人件費(延べ) 減余地	美務時間)の削	▶ 削減余地がある 【理	則力	□ 削減余地がな	い【理由】	⊅
	やり方を工夫して延 減できないか?成果 正職員以外の職員・ いか?(アウトソーシ	を下げずにより や委託でできな	 公演当日の運営スタッフを市 	民ボランティ	アにお願いする。		
公 平	受益機会·費用 化余地	月負担の適正	▼見直し余地がある【理算	曲〕	□ 公平・公正で	ある 【理由】	⊅
性評	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	採算を優先させると内容が偏 鑑賞ニーズを的確に捉え幅反			計画的に実施	もし、鑑賞者の対象年齢や市民の
			(次年度計画と予算への)			当課長記入	[]
(1)	1次評価者として 目的妥当性	の評価結果 ▼ 適切	(2) <u>≦</u> 「 見直し余地あり	E14総括(引	辰り返り、反省点)		
	有効性 効率性 公平性	適切			:自主事業においては 重目を選定する必要が		握している.事業の選定段階で、より
(3)	今後の事業の方向	句性(改革改善	案)・・・複数選択可	— тех	<u>+</u>		改革・改善による期待成果
<	☐ 廃止☐ 休止☐ 目的再設定☐ 事業統廃合·連打改革改善案 >	▼ 事業の	0やり方改善(有効性改善) 0やり方改:2117 2: 0やり方改善(公平性改善)	□ 現 150 (従来)	大維持 通りで特に改革改善:		発止・休止の場合は記入不要)コスト削減 維持 増加「向」
自	主文化事業を実施し、 民ニーズにあったジャ		≢台芸術の鑑賞機会を提供す。 選定を行う必要があり、アンケ・		- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	を検討	上 成維 持 低 下
(5) ≠	改革、改善を実現	する上で解決	すべき課題(壁)とその解決	策 (2) は今ぎ	的正言数字生 2 四		·마·ㅈ/박 / # H / 바 / 사 나 수 나 보 ^ ^ ^ ^
L١,	また、市民会館の客	席数が1,050席は		を確保するこ	ことは非常に難しい。	今後は、公演	中で催しを開催しなければならな 種目の選定段階で、より集客性の 会場を変更して開催していく。

		十八人	20	十反	+/カサ	未計画ン	— I.				
No.	1250-051	事事業	務霧	島市民音楽祭開	催事業				所属		- -
	政策名			雪きあうまちづくり					<u>所</u> 属 課長		
政策	施策名			ツ、芸術文化の					所属G		
体系	基本事業名	1		ツ、芸術文化活		づくり			電話		
		会計	款		事業	事業名		法令 ;		<u> </u>	
Ť	5算科目	一般	1 0	6 6 1	57010 É	主文化振興	事業	スマ なし	,		
事務	 事業の概要(.	具体的	りなやり	┃	 。期間限定複	数年度事業	は全仏	本像を記述)		事業期	間
霧島国	国際音楽祭開催	崖時期 [こ合わせ	せて、国際音楽祭	参加アーティスト	と市民の参加	する市	5民音楽祭を開		□ 単年度のみ	
)演奏や共演、 より市民に身近			こックを行うなどのる る	え流を図る。 また	、実行委員会	行式	をとり、市民の意	見を取り入	三 坐左座怨写	
·実行	委員会の設置、	、開催	·出淳	g団体を含めたプロ			ァー・チ	ラシ作成など広	報活動	単年度繰返	H 20 年度~)
	祭実施(市民団 務精算]体演	奏、ゲス	ト演奏、市民団体 <i>。</i>	とゲストの共演、	合同演奏)				□ 期間限定複数	
· □ 尹	伤性 异									□ (年度	
	状把握の部(. Jac								
	務事業の目的 段(主な活動		í 標					活動 指煙	(事務事業の)	舌動量を表す指標)	
	F度実績(20年		行った	主な活動)				1月至11月11年	(事初事業07 名称	口到里で仅 月日ホ/	単位
	5民音楽の集1			,				ア音楽祭出	油田休 数		団体
								7 日末示山	/A E I I I XX		四件
04.4	C 由 弘 高 / 0.4 左	工座厂	ᅪᇒᆫ	ブリスナ かごエチャ	١			1			
	F及計画(21年 5民音楽祭	十反に	司四し	ている主な活動)		,				
								ウ			
	象(誰、何を対	対象に	してい	るのか) *人や[自然資源等			対象指標	(対象の大きさ	を表す指標)	
市民							₽	ア市民	名称		<u>単位</u> 人
							7	1			
								ウ			
				<mark>象をどう変えるの</mark> 賞者数を増やす。				成果指標	(対象における 名称	意図の達成度を表	<mark>す指標)</mark> 単位
110 0010	-日末畑貝の18	X A C 1		貝白奴で有にす。			1	ア市民音楽			
							7	イ 霧島国際	音楽祭鑑賞	者数	人
4±	果(どんな結	田口紅	±7 %/ 	+20t)				ウト位成用は	と煙(は田の)	達成度を表す指標)	
				いきっかけが得られ いきっかけが得られ	1る。			上世/兆末]	四点(和来の) 名称	主成反で衣 9 1日信)	単位
							1	· .)活動(芸術文化教室	室等)に参加した延べ人数	人
							7	イ ウ			
(2) 総	事業費·指標	等	単位	18年度	19年度	20年度		21年度			
<u> </u>	の推			(実績)	(実績)	(実績)	_	(見込)			
	財 国庫支出 都道府県 3		千円								
事	源 地方(千円								
投費	いま その1		千円								
入	→ 一般財 事業費計	<u>が</u> (A)	千円	0	0	1,50 1,50		1,620 1,620			
量—	于未具印	(A)	113	U	U	1,00		1,020			
├-		ア	団体				9	6			
	活動指標	1									
		ウ ア	人			127,45	50	128,383			
	対象指標	1				121,40	,,	120,000			
		ウ				_					
	成果指標	ア イ	人			70 10,18	00	770 11,000			
	水木1日信	1 ウ				10,10	1	11,000			
<u> </u>	4.*F.K.	ア	人			20,63	33	23,470			
上	位成果指標	イウ					+				
(3) 事	務事業の環境	境変化	と・住民:	 意見等				<u> </u>		I	<u> </u>
7	の重発重業を	盟始	したきっ	かけは何か?し	ハつほどんか	& 緯で開始さ	sht-	のか?			

霧島国際音楽祭が霧島市で開催され、平成21年度で30回を迎えるにあたり、この音楽祭の市民への周知と盛り上がりを図るため、霧島国際音楽祭参加 アーティスト等と市民参加の音楽祭として開催した。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 霧島市民音楽祭を開催することにより、霧島国際音楽祭への関心が高まるとともに、市民の音楽文化の向上が図られている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 小・中学校並びに一般の音楽団体が一堂に会しての演奏会は、市民の音楽レベルの向上と、音楽文化の発展に大きく寄与している。

	事務事業名	霧島市民音楽	祭開催事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
2	評価の部(SEE) を 政策体系との割		『価、ただし複数年度事業は ■ ■ 見直し余地がある 【理		▼ 結びついている	【理由】 「	
	この事務事業の目的 策体系に結びつくかが結果に結びついて	りは市(町)の政 か?意図すること		よる舞台芸	術活動の発表機会と鑑賞		* 供は、日常生活に生甲斐と潤いを
的妥	公共関与の妥	当性	■見直し余地がある【理	曲)之	▼ 妥当である 【理	由)之	
当性評	なぜこの事業を市からないのか?税金を する目的か?	べ行わなければな 投入して、達成	市民が心豊かで質の高い生活	舌と創造性に	こ富んだ活力ある地域社	会を築くた	こめ、市の関与は妥当である。
価	対象・意図の多	妥当性	□見直し余地がある【理	申プ	☑ 適切である 【理	申プ	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		より多くの市民が優れた舞台書	芸術に触れ	ることにより霧島国際音	楽祭を再認	は能する。
	成果の向上余	地	▼ 向上余地がある 【理日	∄	□ 向上余地がない	【理由】「	₽
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 原因で成果向上	市民が参加する演奏会であり	親しみや	すさが感じられ、積極的	な参加が見	込まれる。
有	廃止・休止の原	成果への影響	□影響無【理由】		▼ 影響有 【その内	容] 🤼	
効 性 評	事務事業を廃止・休 響の有無とその内容		市民が参加する演奏会であり	舞台芸術	活動の発表機会や鑑賞	機会が減	少する。
価	類似事業との紹 可能性	統廃合・連携の	□ 他に手段がある(具体	的な手段,	事務事業)		
	目的を達成するには以外他に方法はないとの統廃合ができる	ハか?類似事業	┌ 統廃合できる 🥄 ┌	連携でき	3 🕤 🗌 統廃合で	きない 🕤	□連携できない 🕤
	の連携を図ることに		類似事業なし				
-	が期待できるか?	全地	✓ 他に手段がない【理由✓ 削減余地がある【理由		■ 削減余地がない	7冊山1	
効率	成果を下げずに事業 いか?(仕様や工法 の協力など)	業費を削減できな		•			•
性	人件費(延べ業	業務時間)の削	▼ 削減余地がある 【理日	₽	□ 削減余地がない	【理由】	₽
	減余地 やり方を工夫して延 減できないか?成果 正職員以外の職員・ いか?(アウトソーシ	具を下げずにより や委託でできな	実行委員会を設置し、職員の	負担軽減を	- 図る。		
公	受益機会・費用	用負担の適正	□見直し余地がある【理	甲)之	☑ 公平・公正である	3 【理由】	₽
平性評	事業の内容が一部の	いか?受益者	市民団体に呼びかけて、開催	するため公	や平である。		
	負担が公平・公正に			· ·-· ·			
	評価結果の総括。 1次評価者として		:(次年度計画と予算への反 (2) 全		N) (担当記 振り返り、反省点)	果長記入	(ii))
	目的妥当性	☑ 適切	見直し余地あり				
	有効性 効率性				島国際音楽祭参加アー より市民に身近な音楽祭		5民参加の音楽祭として、今後も継 「る必要がある。
	公平性	☑ 適切	□ 見直し余地あり				
(3)) 今後の事業の方[□ 廃止 □休止		案)・・・複数選択可 Dやり方改善(有効性改善)	□ 現:	状維持		改革・改善による期待成果 発止・休止の場合は記入不要)
<	□ 目的再設定 □ 事業統廃合·連打 改革改善案 >	▼ 事業の	のやり方改善(効率性改善) のやり方改善(公平性改善)		通りで特に改革改善をし	, ,	**・・・・・・
実	行委員会の充実を図	り、市民音楽祭の)企画立案への参画の推進を図	3 გ.			上 成維 果 低 下
الم		:舞台芸術に触れ	すべき課題(壁)とその解決 ることにより、霧島国際音楽祭?		じ、市民が参加する音楽	 終終として、	広く親しまれるために、市民に広く

平成 20 年度

事務事業評価シート

N	, Ι,	1250-060 를	F	務新	事書初め大会選						所属部 教育	部	
11	0.	- 1	業	10								計振興課	
邗	策一				きあうまちづくり							〈 久治	
	系_				ツ,芸術,文化		•					デグループ	
	垣		1 計	スホー 款	ツ,芸術活動の 項 目	事業 事業	事業名				電話番号 58-3	3191	
	予算	算科目 -	-般			事集 57090	文化振興	費		→法令 根拠 なし			
					方、手順、詳細							業期間	
					:れぞれ課題(審査 :は楷書又は行書							のみ	
は	講辺 坩	也区内各小中学	校	国語担当	i教諭及び、文化t	劦会溝辺支部書	道関係代表都	皆等が	ドあ た	とり、学年(高校・	一般)ご 🗖 畄午度	紀行	
					Eし、賞状を授与す 賞してもらう機会な						OH . A		5 年度~)
01	C, —	企期间成小 ∪3	910	リカに鉱	貝してもりが成去で	で17句。成小絵、	I1友、TFロロAで	ゴ人へ	\ <u>J\\</u> Z	かん め。		定複数年歷	
											L >(年度~	年度)
		大把握の部(D		+==									
(1)		8事業の目的 B(主な活動)	C∤Ē	憬						活動指標(事	務事業の活動量を表す	岩樺)	
2		g実績(20年)	度に	行った	主な活動)					/口 <u>手//</u>]日(示 (丁	名称	J日1ボ /	単位
平月	戎21੬	年1月11日(日)	、霧	島市溝油	ひ公民館研修室で	で、書初め大会を	E実施した。		-	7 事業参加者数			人
参	川 省変	数は小24名,中	3名	, 一般9~	台 計36名					尹未多加日英	2 Χ		<u> </u>
								\Rightarrow	1	•			
					<mark>ている主な活動</mark> 2公民館研修室で		- 今を宝施す	7	F				
る。	JX, Z Z ±	+1/1011(11)	、养药;	型い神ど	2.7.代码训修主(、利食官別のグ	、云で天肥り		ç	7			
	対象	き(誰、何を対:	象に	してい	るのか) * 人や	自然資源等				対象指標(対	象の大きさを表す指標)		
市		· (<i></i>			ı,			名称		単位
	□ T 市民 人												
		, <u>イ</u> ウ											
	意図	(この事業に	よっ	て、対	象をどう変えるの	のか)			_		象における意図の達成の	度を表す指	標)
					書写能力の向上					·	名称		単位
)]		賞した人数		人
								ĺ	1				
		具(どんな結果									票(結果の達成度を表す	指標)	
スプ	ポーツ	/や芸術活動に	取り	組むきっ	かけが得られる				_	7 × 111 - 210 × 17 ×	名称		単位
) 7		助(芸術文化教室等)に参加の延ん	へ入叙	人
								,	7				
(2)	総事	業費·指標等		単位	18年度	19年度	20年度			1年度			
		の推移 対 国庫支出:		千円	(実績)	(実績)	(実績)	-		(見込)			
	事源	都道府県支出		千円									
	事業	5 地刀頂		千円									
投	費訓	ス その他 一般財源	5	千円	20	25	,	25		20			
칱	-	事業費計(月	_	千円	20	25		25		20			
量			ĺ										
	_												
								+					
Н			ア	人	27	28	(36		50			
	活	動指標	1										
<u> </u>			ウア	,	127,615	127,773	127,45	50		128,383			
	र्यत	才象指標	ノイ	人	121,015	121,113	121,4	JU		120,303	+		
L			ウ										
			ア	人	500	500	50	00		500			
	成	限指標	1					-					
\vdash			ウア	人	21,441	22,530	20,63	33		23,470	 		
	上位	ī成果指標	1		-1,111	,000	20,00						
(0)	± 7/	1年半ヶ戸戸	ウ	/ /÷ 🗁	立日								
(3)		8事業の環境 事務事業を問			^{恵見寺} かけは何か?	いつ頃どんか	経緯で開始	さわり	- π	かっ			
昭和		年より、青少年では				いっぱに70分	마소까우 스러지지	C 7 0/	_ 0,	7.5			

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 参加者数が年々減少傾向にあったが,本年度は若干増えた。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 事業の継続

	事務事業名	新春書初め大		所属部		所属課	教育振興課
2	評価の部(SEE) 政策体系との の の の の の の の の の の の の		評価、ただし複数年度事業は ■ ■ 見直し余地がある【理	、途中評価 由】 →	▼ 結びついている	【理由】	₽
1-	この事務事業の目的 策体系に結びつくだ が結果に結びつい)?意図すること	芸術(書道)に触れ合う機会を	是供してい	3		
的妥	公共関与の妥	当性	▼ 見直し余地がある 【理	由)之	□ 妥当である 【理	即之	
評			霧島市教育委員会溝辺出張所で実施する方法ではできないの		会溝辺支部が主催となり	実施してい	1る。実行委員会形式をとり,補助金
価	対象・意図の	妥当性	▼ 見直し余地がある 【理	申)之	□ 適切である【理	即之	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		参加者が溝辺地区からである。 成20年度は,小24名,中3名,			用し全市内	外に広報を広げる必要がある。平
	成果の向上余	地	▼ 向上余地がある 【理由	J 🕏	□ 向上余地がない	【理由】	₽
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	らべき水準との差 原因で成果向上	実施内容(イベント)の工夫を図審査員の人選を霧島市まで広			3.	
有	廃止・休止の原	成果への影響	□影響無 【理由】 🖜		▼ 影響有 【その内	容] 🤼	
効性評	事務事業を廃止・休 響の有無とその内容		他の旧市町でこの事業を実施	しているとこ	ころはないので,芸術(書	道)に触れ	1合う機会がな〈なる
価	類似事業との の可能性	統廃合·連携	□ 他に手段がある(具体)	的な手段,	事務事業)		
	目的を達成するには 以外他に方法はない の統廃合ができるか 連携を図ることにより	ハか?類似事業と ハ?類似事業との	│ 統廃合できる 🕤 📗	連携できる	5 🦜 📗 統廃合で	きない 🕤	■連携できない 🕤
	期待できるか?	× 1505/(457) 3±13	▼他に手段がない【理由	2			
	事業費の削減	i余 地	☑ 削減余地がある 【理由] 2	□ 削減余地がない	【理由】	₽
効率	成果を下げずに事動 いか?(仕様や工法 の協力など)		実行委員会形式(文化協会溝)	D支部中心 	v)をとり,補助金交付でi	軍営する。	
性	人件費(延べ) 減余地	業務時間)の削	▼ 削減余地がある 【理由	1 2	□ 削減余地がない	【理由】	₽
	やり方を工夫して延減できないか?成界 正職員以外の職員・いか?(アウトソーシ	Rを下げずにより や委託でできな	実行委員会形式(文化協会溝道 指導審査員に係る費用の削減	D支部中心 	s)をとり,補助金交付でi	軍営する。	
公平	受益機会·費用 化余地	用負担の適正	□ 見直し余地がある 【理	由)	☑ 公平・公正である	3 【理由】	Ð
性評		いか?受益者	文化協会が主体となり,少ない	予算の中で	で,芸術に触れる機会を	創設してい	13.
	評価結果の総括 1次評価者として		E(次年度計画と予算への反		N) 【担当 振り返り、反省点)	課長記入	欄】
(1)	目的妥当性		(2) ± ☑ 見直し余地あり →		成り返り、及目点)		
	有効性 効率性	✓ 適切✓ 適切	見直し余地あり → 青少年見直し余地あり	の健全育	成と、日本古来の書道に	親しむ機	会を提供するため実施している。
	公平性	☑ 適切	□ 見直し余地あり				
<i 実 参</i 		▼ 事業6 ▼ 事業6 携 事業6 協会溝辺支部中心	案)・・・複数選択可 のやり方改善(有効性改善) のやり方改善(効率性改善) のやり方改善(公平性改善) のやり方改善(公平性改善)	(従来)	伏維持 通りで特に改革改善をし	()	改革・改善による期待成果 発止・休止の場合は記入不要 コスト 削減 維持 増加 向 上 成維 果 持
							低下
文		目主運営能力の向	すべき課題(壁)とその解決 上(この部分を解決しないと実行 の連携)		の改善は図れません)		

No.	1250-070	事	務生	徒芸術鑑賞会事	苯				所具		教育部	
140.		事業	10						所 厚		文化振興	
政策	政策名			きあうまちづくり					課長		川原 和明	
体系		0 3		ツ、芸術文化の					所属(,	芸術文化	G
1173	基本事業名	0 1		ツ、芸術文化活					電話	番号	42-1111	
	予算科目	会計 一般		項 目 0 6 0 6 1	事業 57090	事業名 文化振興	費	—— 法令 根拠 ^{特局}	こなし			
				方、手順、詳細							事業期	間
青少	年に対して優れ	た舞台	计芸術鑑	賞の機会を提供し 生を対象に霧島市	、芸術に対する	興味、関心を	喚起	するとともに、豊			年度のみ	
	の開催希望申記	青内:	定学校	交との調整 実施						☑ 単	年度繰返	11 0 左座)
											□ (I間限定複数	H 8年度~)
										<u> </u>	年度	
	見状把握の部									, ,		
	事務事業の目		標				7	W-71 11/17				
	F段(主な活動 <mark>年度実績(20</mark> 9		シケッカ・	十 />:				古動指標	<mark>(事務事業の</mark> 名称	活動量	を表す指標)	単位
霧島	牛及夫領(201 市民会館におし	干皮に ハて、「 [:]	-1」つに: 吉少年σ	エなけり これの芸術鑑賞	事業」2回公演3	実施。 対						
象:1	9年度実施校を	除〈霧	島市内の	の中学三年生		~		ア公演回数				回
国分	南中学校におい	1て、「:	生徒芸術	所鑑賞会」実施。 対	才象∶全校生徒			1				
21:	年度計画(21年	年度に	計画し	ている主な活動)		\Rightarrow	1				
	市民会館におり 9年度実施校を			対鑑賞事業」2回23	〉演実施予定。	対		ゥ				
					台州次语学			→+	i (+14-0-1++	· + = + +	·K.t.	
	<mark>∜豕(誰、判で)</mark> 市内中学生	刈家に	_0 (61	るのか) * 人や	日然貝까守			XY家怕惊	(対象の大きる 名称	を表り	百儒)	単位
331-0	.,,,,,,,							ア生徒数	H 10			— <u> </u>
							,	1				
	- 10 / 1 の 市 米	- I— L	- +++	タナ じこホラフィ	D 41)			ウーボ田北畑	i / 1 4 - 4 1 	7 11 100 4	*+* * * * *	
				<mark>象をどう変えるの</mark> じ、自発的に優れ		機運を高		以未 拍標	<mark>(対象におけ</mark> 名称	る思凶() 達成度を衣	:9 指標) 単位
				青操の形成がなさ		1/2/22 21-3	\Rightarrow	ア鑑賞生徒				— <u> </u>
							7	1				
4	吉果(どんな結	:田 I-4	± 7 \(\dagger \) /-+ -	+20t)				ウト位は田・	比価/4+円の	`去代在·	t = +++++=\	
スポ・	□未 (⊂ ル 	活動に	に取り組む	りるいか) いきっかけが得られ	າ ລ.			上121以未:	<mark>指標(結果の</mark> 名称	<u></u> 建风度	さ衣り拍標)	単位
			_ ,,,,,,_					ア きっかけづくりの		(室等)に参	加した延べ人数	
							\Rightarrow	1				
(2) <u>\$</u>	総事業費·指標	= 笙		18年度	19年度	20年度		ウ 21年度		1		
(Z) in	の野来貝の打		単位	(実績)	(実績)	(実績)		(見込)				
	財 国庫支	出金	千円	\2	\/	(\·-/				
耳	那 都道府県: 那		千円									
.	事源 地方 大大 地方 である。		千円	293								
投資	川又只	<u>清</u>	千円	358	329	7	15	904				
入 量—	事業費計	(A)	千円	651	329	7	15	904				
	<u>'</u>											
	> イチャナドナ亜	ア	回	1	1		2	2				
	活動指標	イ ウ										
		 	人	860	4,098	4,0	98	3,975				
	対象指標	イ			,	,		,				
		ウ		207	005	A 41	04	070		_		
	成果指標	アイ	人	307	635	1,18	01	970				
L	いかへいコロゴボ	ウ										
	4-2	ア	人	21,441	22,530	20,6	33	23,470				
]]	上位成果指標	イ ウ					\perp			_		
L	= 22 = 2 = 2	ウ										

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

平成8年度から、溝辺地区内中学生の芸術鑑賞事業として開始された。その後、小学生の参加する事業となった。

事務事業を取り巻〈状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 合併により溝辺地区内から、近隣の横川、牧園へも地域を広げた。それに伴い、平成19年度より中学生のみを対象とする事業となっている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 青少年に優れた舞台芸術を鑑賞させることは非常にすばらしいことである。(学校関係者)

	事務事業名	生徒芸術鑑賞	会事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
2	評価の部(SEE) * 政策体系との *** ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		位、ただし複数年度事業は ■ 見直し余地がある 【理	途中評価 曲) 🔽	☑ 結びついている	【理由】「	-
目的	この事務事業の目的 策体系に結びつくかが結果に結びついっ	ヽ?意図すること	生の優れた舞台芸術を鑑賞す れた芸術に触れる機運を高め)情操の形成がなされ、自発的に優 が得られる。
的妥	公共関与の妥	当性	□見直し余地がある【理	曲】与	▼ 妥当である 【理	由】与	
	達成する目的か?		社会教育、学校教育の観点か 意識の向上につながる。	ら必要な事	業であるとともに、芸術	文化の振り	異は地域や学校における芸術文化
価	対象・意図の姿	妥当性	□見直し余地がある【理	曲】之	☑ 適切である 【理	由)之	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		霧島市内の中学生が公平に銀	監賞機会を打	寺つ。		
	成果の向上余	地	□ 向上余地がある 【理由	1 2	☑ 向上余地がない	【理由】	₽
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 見因で成果向上	霧島市内中学校3年生全生徒 生徒を集めることからすると、う			象幅を広け	ずることは、バス借上げにより会場へ
有	廃止・休止の原	以果への影響	□影響無【理由】 🖜		▼ 影響有 【その内	容】 つ	
効性評	事務事業を廃止·休響の有無とその内容		中学生の鑑賞機会が減少し、	芸術文化活	動に新たに取り組むき・	っかけが洞	沙する。
価	類似事業との紹 可能性	統廃合・連携の	□ 他に手段がある(具体	的な手段,	事務事業)		
	目的を達成するには以外他に方法はない		□ 統廃合できる 🕤 🔲	連携できる	、 ▶	きない 🕤	▶ 連携できない ラ
	との統廃合ができる の連携を図ることに、 が期待できるか?	か?類似事業と	類似事業として小学生対象の	青少年劇場	まま施しているが、 事 業	巻の実施対	象が異なる。
-	事業費の削減	余地	■他に手段がない【理由 ■削減余地がある【理由		▼ 削減余地がない	【理由】	<u>5</u>
効率	成果を下げずに事美 いか?(仕様や工法 の協力など)	業費を削減できな		・ 事業を利用			ン の公演を別途契約し2回公演とする
性	人件費(延べ美 減余地	美務時間)の削	□ 削減余地がある 【理由	1) 2 >	☑ 削減余地がない	【理由】	₽
	やり方を工夫して延減できないか?成果 正職員以外の職員・ いか?(アウトソーシ	具を下げずにより や委託でできな	鑑賞会実施までは学校と公演	団体や県と	の調整をする必要最小	限の事務	量である。
公平	受益機会·費用 化余地	月負担の適正	┃ 見直し余地がある 【理	申]之	☑ 公平・公正である	(理由)	₽
性評		いか?受益者	青少年健全育成の面からも霧	島市内中学	生への鑑賞機会提供に	は公平・公	正である。
	評価結果の総括の) 【担当制 最り返り、反省点)	長記入	m)
(1)	1次評価者として 目的妥当性	☑ 適切	□ 見直し余地あり 🛶	. (4) (1)	以处外 及目品)		
	有効性 効率性				Eの舞台芸術の鑑賞機会 るが、今後も継続して実		ることは意義がある。対象校が日
(0)	公平性	☑ 適切	見直し余地あり			Las	
	今後の事業の万[□ 事業 <i>0</i> □ 事業 <i>0</i>	案)・・・複数選択可 のやり方改善(有効性改善) のやり方改善(効率性改善) のやり方改善(公平性改善)	▼ 現 ⁴ (従来i	犬維持 通りで特に改革改善をし	(房	改革・改善による期待成果 選止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加
現: た(状のやり方で進めたし か、一般財源での追加	加しての事業開催	のための芸術鑑賞事業」の採択 が必要であるが、現状の開催が必要であるが、現状の開催が	方法を踏襲		ない	上 成 維 果 抗 低 下
			すべき課題(壁)とその解決! 別整が難航する。 学校の年間行		長段階において、開催日	を明確に何	立置づける。

Ν	0.		事 事業:		少年劇場開催事	業				所属	部 教育部 課 文化振興	≐ 里
			_		きあうまちづくり					課長	名 川原 和明	
政体		施策名 0			ツ、芸術文化の					所属G(1		
体	汆 .	基本事業名 0	1	スポー	ツ、芸術文化活	動のきっかきつ	づくり			電話番		
	-		信	款		事業	事業名		法令 烘点	•	•	
	Ť	·算科目 =	一般	1 0	0 6 0 6 1	57090	文化振興	費	根拠 特になり	J		
事	務事	 ■業の概要(具	体的	りなやり	方、手順、詳細	期間限定複	数年度事業	は全位	体像を記述)		事業期	間
									賞させ、その情操の] 単年度のみ	
					塚を沽用し、霧目 !きるように配分を		を対象に、各	子仪())体育館で実施する。		3 岁左帝操军	
		開催希望申請			学校との調整	実施				Ŀ	☑ 単年度繰返	H 13 年度~)
										r	□ □ 期間限定複数	
										_		
		状把握の部(ロ		læ.								
		務事業の目的 段(主な活動)	と指	標]	"壬ൺ均煙/車部	&車業の活	動量を表す指標)	
		(工体/日勤)	度に	行った:	主な活動)				/口里//1日1示(字4	名称	到里で (スタ1日信)	単位
1 2	校刘	対象(6会場8公)	寅) [向花小、	上小川小、青葉/		P小、持松		ア公演回数			<u> </u>
小/	高	千穂小、中津川	小、E	3当山/	1、中福良小、小浜	专小、小野小			7 公典四数			ഥ
_			_	±.—.	_, _ , _ , , , , , , ,			\Rightarrow	1			
					<mark>ている主な活動</mark> 三体小、万膳小、		シーナノハ	7				
Ü	京小	、木原小、綾南	小、牛	收之原小 收之原小	1、福山小、宮内小	 	, D.O.V		ウ			
	対	象(誰、何を対	象に	してい	るのか) *人や[自然資源等			対象指標(対象	見の大きさを	表す指標)	
霧		内小学生			,					名称		単位
								\Rightarrow	ア児童数			人
									イ ウ			
	意	図(この事業に	よっ	て、対象	象をどう変えるの	つか)					意図の達成度を表	
					発的に優れた芸術 形成がなされる。	桁に触れる機運	を高め、創		フ無ムの労用さ			単位
먇	17/4	作作の様別な	こての	川月採りファ	がルルはっている。			\Rightarrow	ア 舞台鑑賞児童	皇安 X		人
									ن			
		果(どんな結果				- 7			上位成果指標		成度を表す指標)	224 /2-
٨/.	\ <u> </u>	ソヤ芸術又化活	当別に	-以り組の	ごきっかけが得られ	ເວ.		.	アきっかけづくりの活動	名称 (芸術文化教室)	等)に参加した延べ人数	<u>単位</u> 人
								🔿	1	(21),2(10),2	371-220-1-22 7120	
(=)	1.11	= 11/ == 15/1= 6	-				b		ウ			
(2)	総	事業費·指標等 の推利	_	単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)		21年度 (見込)			
	J	n. 国庫支出		千円	(大原)	(大原)		+	(70,42)			
		と おいまかにまし	出金	千円								
	事業費	が内 地方債 その他		千円								
投	費	訳 一般財派		千円	3,071	2,394	2,03	35	2,627			
投入量			A)	千円	3,071	2,394	2,03	35	2,627			
	ŀ							-				
	ŀ											
	-1											
	,	· 千 新 + 比 + 西	ア	回	8	9		8	8			
	7	活動指標	イウ									
			ア	人	8,209	8,125	8,12	26	8,053			
	Ž	対象指標	1									
			ウア	人	3,137	2,436	2,75	50	2,867		 	
	J	 成果指標	1	人	3,137	۷,400	۷,۲۱	,,,	2,007			
			ウ		_	_						
	⊢ 4	位成果指標	アイ	人	21,441	22,530	20,63	33	23,470			
	— 1	业 水 本指标	イウ					-				
(3)	事	務事業の環境		∠·住民	意見等	ı			1			

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

各町村でそれぞれのやり方で開催されていたものを、合併を機に市内のすべての小学校児童に公平に6年間で2回は鑑賞できるように開催するようにした。

事務事業を取り巻〈状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 合併に伴い、対象校並びに鑑賞対象者数が大幅に増加した。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 青少年に優れた芸術を鑑賞させることは創造性を育むために非常に大切である。一学校一

	事務事業名	青少年劇場開	催事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
2	評価の部(SEE) プロングラス 対策体系との整		望価、ただし複数年度事業は ■ 見直し余地がある 【理		✓ 結びついている	【理由】	₽
目	この事務事業の目的 策体系に結びつくか が結果に結びついて	、?意図すること		・ トる喜びを原	 感じ、創造的な精神の醸	成などその	・ D情操の形成がなされ、自発的に優
的妥	公共関与の妥	当性	■見直し余地がある【理	由了	▼ 妥当である 【理	即之	
	達成する目的か?		社会教育、学校教育の観点か 意識の向上につながる。	^ら必要な事	事業であるとともに、芸術:	文化の振り	興、地域や学校における芸術文化
価	対象・意図の妥	妥 当性	■見直し余地がある【理	由)之	☑ 適切である【理	即之	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		霧島市内の全小学生が公平に	こ鑑賞機会	を持つ。		
	成果の向上余	地	□ 向上余地がある 【理日	al 🌛	☑ 向上余地がない	【理由】	₽
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 原因で成果向上	全小学生を対象にしていること	こから、鑑賞	児童数は一定である。		
有	廃止・休止の原	以果への影響	□影響無 【理由】 🖜		▼ 影響有 【その内	容] 🦜	
効性評	事務事業を廃止・休 響の有無とその内容		小学生の鑑賞機会が減少し、	芸術文化活	舌動に新たに取り組むき	っかけが洞	北少する。
価	類似事業との約 可能性	統廃合・連携の	□ 他に手段がある(具体	的な手段,	事務事業)		
	目的を達成するには 以外他に方法はない	1か?類似事業	□ 統廃合できる 🕤 🔲	連携できる	る 🥄 🔽 統廃合で	きない 🕤	□連携できない
	との統廃合ができる。 の連携を図ることに。 が期待できるか?		類似事業として中学生を対象		事業を実施しているが 、	事業の実	施対象が異なる。
-	事業費の削減	余地	■他に手段がない【理由 ■削減余地がある【理日		▼ 削減余地がない	【理由】	<u></u>
効率	成果を下げずに事美 いか?(仕様や工法 の協力など)	養を削減できな		・ 規模の多い	ーー 学校を会場とし、そこへ	近隣の規	模の比較的小さな学校の児童を集
性		美務時間)の削	□ 削減余地がある 【理日	1 7	▶ 削減余地がない	【理由】	₽
	<mark>減余地</mark> やり方を工夫して延 減できないか?成果 正職員以外の職員 ¹ いか?(アウトソーシ	見を下げずにより や委託でできな	開催時は学校側で対応するこ 限の事務量である。	とから、職員	員は開催申請や県や公	演団体と各	ら学校の日程調整をする必要最小
公平	受益機会·費用 化余地	月負担の適正	■見直し余地がある 【理	曲)与	☑ 公平・公正である	3 【理由】	∌
性評	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	青少年健全育成の面からも霧	島市内小学	学生への鑑賞機会提供に	は公平・公	正である。
			(次年度計画と予算への反		N) 【担当記 張り返り、反省点)	果長記入	(m)
(1)	1次評価者としての 目的妥当性	☑ 適切	□ 見直し余地あり - + + +		·	1回の争り	
	有効性 効率性	☑ 適切☑ 適切	見見し赤地のリードに夢と	:感動を与え	えている。		
(-)	公平性	☑ 適切	見直し余地あり	5, U-F-	ンヨノを維持し、児里か		賞できるよう事業を計画したい。
<		□ 事業の □ 事業の 携 □ 事業の	案)・・・複数選択可 Dやり方改善(有効性改善) Dやり方改善(効率性改善) Dやり方改善(公平性改善)	(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	通りで特に改革改善をし	(房	改革・改善による期待成果 発止・休止の場合は記入不要
少		数の変更等が予想	とし、周辺の学校と合同で開催 想されるため、旧市町の地区割 検討をする。				上 成維 果 低 下
	改革、改善を実現 徒の送迎のためのバ		すべき課題(壁)とその解決! な要になる。	策			
		ハロノエリガガル	, <u> </u>				

	半风	20	牛度	事務事業	美評1四ン	<u> </u>						
No. 1250-090	事 事業	務霧	島国際音楽祭運	営支援事業						禹 部	教育部	1+0
		10	きあうまちづくり							禹 課 長 名	文化振興 川原 和	
政策 施策名 (ツ、芸術・文化の							S 石 G(係)	芸術文化	
14 糸	0 1		ツ、芸術活動の							番号	42-1111	
_ : 3 *:: -	分 . 会計			事業	事業名		2+	<u> </u>	145 #4	шЭ	12 11111	
- cc	一般			57090	文化振興	費	—— 法 —— 根	ダ なり	U			
 事務事業の概要(具	具体的	りなやり	 方、手順、詳細。	期間限定複数	数年度事業	は全任	本像を記	己述)			事業期	間
財団法人ジェスク文化	/振興	会に霧	島国際音楽祭の運	営補助金を支出	出している。					□	年度のみ	,,- <u>-</u>
ジェスク文化振興会は している。	、霧	島国際音	f楽ホールを主会 ^は	易として国内外で	で活躍する講問	師陣に	こよる講習	習会と演	属奏会を開催			
期間 7月17日から8月	月3日	(16日間	3)							₩ #	年度繰返	C 55 年帝 \
主催 財団法人ジェス 共催 霧島市 後担			à·財団法人鹿児島 育委員会	場県文化振興財	4					l⊓⊯	□ (引間限定複数	S 55 年度~) 数年度
		5両叩教1	月安貝云							□ ()	年度	
1 現状把握の部(2.13E										
(1) 事務事業の目的 手段(主な活動)		i 標					汪	新岩板	震(事務事業♂	パチ動量	た主オピ煙)	
20年度実績(20年		行った	主な活動)				/ロ	生// 1日 1元	広(尹初尹素) 名称		在1次97日1示)	単位
演奏会の開催:22コン	/サー	٠,					フ油	奏会σ	、同粉			
12クラス + 特別レッス	ン(3:	コース)) 决	安太 V.	四奴			凹
24年度計画/24年	· 🖛 I-	· \$1.551 ·	ブリスナ かにエチャ	١			イ講	習会の	回数			回
21年度計画(21年 演奏会の開催:17コン						,						
8クラス + 特別レッスン			33.03.13.00	3 /			ウ					
対象(誰、何を対	象に	してい	るのか) * 人や自	自然資源等			対	象指標	票(対象の大き	さを表す	指標)	
│市民 【補助金交付先】 財団	まま !	よこご・ファ	7文化振鯛今			\rightarrow	7 +		名称			単位
【補助金対象活動】霧				費		\Rightarrow	ア イ	比				Λ
							ウ					
意図(この事業)				(か)			成	果指標	票(対象におけ		の達成度を表	
務局国际日米宗の鑑	貝白	を増しり	0			\Rightarrow	ア音	楽祭錦	<u>名称</u> 監賞者数(演:			<u>単位</u> 人
						7	イ受	講者数	<u> </u>	,		人
4 年 田 / ビ / ナン4 井 日	B 1- 4	+7 × /+ I-	+7 (D 4)					講者数	え <mark>指標(結果の</mark>	· 法	<i>+</i> = +++++= \	人
結果(どんな結果 スポーツや芸術文化)				ເວ			<u></u>	<u> </u>	<u>拍信(結果)。</u> 名称		を衣り拍信)	単位
						\Rightarrow	アきつ	かけづくり	の活動(芸術文化		別した延べ人数	. <u> </u>
						7	イウ					
(2) 総事業費·指標:	等	光 /논	18年度	19年度	20年度		21年	度				
の推	移	単位	(実績)	(実績)	(実績)	_	(見)	<u>v)</u>				
財園庫支出	北全	千円										
事源 地方信 業内 その他 投費訳 一般財		千円										
表 内 その他		千円										
	<u>源</u>	千円	7,466 7,466	7,466 7,466	7,46 7,46			,466 ,466				
量	(A)	TIJ	7,400	7,400	7,40	00		,400				
	ア		31	36	2	22		17				
活動指標	1			20		15		10				
	ウフ		407.045	107 770	407.45		400	200				
対象指標 対象指標	アイ	人	127,615	127,773	127,45	OU	128	,383				1
WEDINGEN	ウ					▆						
-+ E2 15 1=	ア		10,039	12,019	10,18		13	3,000				
成果指標	イ ウ	人	155 238	169 253	20 24			170 250				
	ア		21,441	22,530	20,63		23	3,470		_		<u> </u>
上位成果指標	1		, i	,	,							
	ウ		音目等									

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

1980年鹿児島県の音楽文化向上のため講習会と演奏会を組み合わせた音楽祭がスタートした。平成6年第15回霧島国際音楽祭から霧島国際音楽ホールを 主会場として開催されている。

事務事業を取り巻〈状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 合併前に旧牧園町及び霧島町から支出していた補助金を新市に引継ぎ同額を補助している。市民の音楽祭への参加のあり方が問われている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

国内外で評価の高い音楽祭であるが、市民の音楽祭に対する関心が低く、演奏会への参加も極端に少ない。今後、演奏会への集客を図るため、市民に親 しまれる演奏会とするための内容検討を求められている。

	事務事業名	霧島国際音楽	祭運営支援事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
2			位、ただし複数年度事業は		'	/Tm -L 1	
	政策体系との整		┃		▼ 結びついている	【理由】	⊅
目	この事務事業の目的 策体系に結びつくかが結果に結びついこ	ヽ? 意図すること	心豊かで質の高い生活を送り きる音楽祭は文化の創造を図				めに、優れた音楽に触れることので る。
的妥	公共関与の妥	当性	■見直し余地がある【理	曲)之	☑ 妥当である 【理	由】之	
当性評	なぜこの事業を市からないのか?税金を する目的か?	で行わなければな ・投入して、達成	市民に優れた芸術の鑑賞機会	会を提供す	ることは、文化の香り高い	1街づくりに	こ必要である。
価	対象・意図の多	妥当性	■ 見直し余地がある 【理	曲)ラ	☑ 適切である 【理	由」与	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		 対象及び意図については現場 	犬維持とする	3.		
	成果の向上余	地	▼ 向上余地がある 【理日	il 🌛	□ 向上余地がない	【理由】	₹
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 見因で成果向上	講習会と演奏会がセットになってある。演奏会の内容を魅力				寅奏会への入場者は横ばいの状況 る。
有	廃止・休止の原	 大果への影響	□影響無【理由】		▼ 影響有 【その内	容 🖜	
効性評	事務事業を廃止・休響の有無とその内容		国内外で評価の高い音楽祭	であり、街つ	うくりにマイナスイメージを	与える。	
価	規以事未との	統廃合・連携の	□ 他に手段がある(具体	的な手段,	事務事業)		
	可能性 目的を達成するには 以外他に方法はない との統廃合ができる	1か?類似事業	★ 統廃合できる	連携でき	る 🕤 🔲 統廃合で	きない 🕤	□連携できない 🕤
	の連携を図ることに、 が期待できるか?		_				
	事業費の削減	全 抽	✓ 他に手段がない【理由✓ 削減余地がある【理目		□ 削減余地がない	加山	
				п, 💠	[] 的观示地方"各位	1/4四1	•
効率	成果を下げずに事勢 いか?(仕様や工法 の協力など)		全体事業費の約1割相当を補 う。	助している	。主催者の経費削減に勢	努力するこ	とにより補助金の減額は可能と思
性	人件費(延べ美 減余地	養務時間)の削	□ 削減余地がある 【理日	即少	☑ 削減余地がない	【理由】	₽
	やり方を工夫して延	具を下げずにより や委託でできな	主催者において必要最小限の	D、人件費 ⁻	で運営されており削減の	可能性はイ	氏い。
公	受益機会・費用	月負担の適正	□見直し余地がある【理	曲プラ	☑ 公平・公正である	3 【理由】	₽
平	心示地						
性評価	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	受講生からは受講料を徴収しく市民に周知しており公平・公			している。氵	寅奏会への入場者が少ないが、広
3 (1)	1次評価者として	の評価結果	· · ·		N) 担当 振り返り、反省点)	果長記入	
	目的妥当性 有効性		□ 見直し余地あり□ 見直し余地あり➡ 開始	시쇼co므+	粉え 国内左数の立む	<u>'</u> ▼ — + == +_	らず、一部の音楽愛好者の音楽祭
	効率性						られる音楽祭にする必要がある。
	公平性	☑ 適切	見直し余地あり				7L++ 7L++ H5//
(3)	今後の事業の方 □ 廃止 □ 休止 □ 目的再設定 □ 事業統廃合・連	□ 事業 <i>0</i> □ 事業 <i>0</i>	案)・・・複数選択可 Dやり方改善(有効性改善) Dやり方改善(効率性改善) Dやり方改善(公平性改善)		状維持 通りで特に改革改善をし	(月	改革・改善による期待成果 発止・休止の場合は記入不要 コスト 削減 維持 増加
演			いるポピュラーな曲目を演奏し		しまれる演奏会とする。		向 上 成維 果 低 下
			すべき課題(壁)とその解決 らむずかしい曲目編成となって		演奏家に理解をして#に	_ .ئ	
'	がルジロ末外のノノ1	13 00 % C 70 CT	うしょ カ しい 一田 日 河川及にな ノ し	ن ها کان کار	/六大分に仕所でひしむ5	· J ₀	

年度) イ 市民会館の会館日数 日 21年度計画(21年度に計画している主な活動) 市民会館の管理委託・市民会館吊物ワイヤー取替え工事 ウ修繕件数 件 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 対象指標(対象の大きさを表す指標) 市民会館音響照明機材数 名称 単位 市民会館延べ床面積 ア市民会館の音響照明等器材数 個 イ 市民会館延べ床面積 m ウ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標 単位 市民会館の施設・設備を最良の状態に保つ。 名称 ア 故障の発生件数 件 イ 市民からの苦情件数 件 ウ 結果(どんな結果に結び付けるのか) 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 単位 スポーツや芸術文化活動を行う環境が整う。 名称_____ ア 芸術文化活動を行う環境整備が整っていると考える市民の割合 % (2) 総事業費·指標等 18年度 19年度 20年度 21年度 単位 (実績) の推移 (実績) (実績) (見込) 国庫支出金 財 都道府県支出金 千円 事 源 地方債 千円 業 内 千円 その他 投 費 訳 千円 51,423 43,647 46,397 42,615 -般財源 事業費計 (A) 千円 51,423 43.647 46.397 42.615 틅 76,593 76,700 76,700 76,700 日 347 活動指標 350 347 347 件 7 3 ア 個 1,042 1,042 1.042 1.042 対象指標 4472.55 4472.55 4472.55 4472.55 1 m ウ 件 10 10 ァ 8 成果指標 件 2 1 1 1 4 ァ % 21 21 24 22 上位成果指標 ゥ

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

市民会館の開館に伴い、維持管理を開始した。

事務事業を取り巻〈状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成11年10月の全面改修後、8年が経過し、施設及び設備の経年劣化が進んでいる。

<mark>この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?</mark> 施設管理委託業者からは、音響設備の経年劣化に伴い音に歪が生じるなど早急に改善を望む声が強く寄せられている。

	事務事業名	霧島市民会館	管理運営事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
2			位、ただし複数年度事業に		'	Irm I I	
	政策体系との割		┃		☑ 結びついている	【理由】	⊅
	この事務事業の目的 策体系に結びつくかが結果に結びついて)?意図すること	市民が芸術文化活動に取り組活用することで、利用者の二-				設を整備し、充実した機材などを が19妥当である。
的妥	公共関与の妥	当性	■見直し余地がある【理	曲)之	☑ 妥当である 【理	由】之	
当性評	なぜこの事業を市からないのか?税金を する目的か?	「行わなければな ・投入して、達成	市が設置いている施設である	0			
価	対象・意図の姿	妥当性	■見直し余地がある【理	曲)る	☑ 適切である 【理	由了	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		 市民会館の利用者(市民)の ³ 	利便性を対	象にしており妥当である。	,	
	成果の向上余	地	▼ 向上余地がある 【理日	申】 う	□ 向上余地がない	【理由】	₹
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 原因で成果向上	計画的な施設整備並びに器権	オのメンテラ	トンス整備が必要である。		
有	廃止・休止の原	t 果への影響	□影響無【理由】 🖜		▼ 影響有 【その内	容] 🤝	
効性評	事務事業を廃止・休響の有無とその内容		文化施設が限られている中で	、中心的な	役割を持つ市民会館の	整備は必	要である。
価	類似事業との紹 可能性	統廃合・連携の	□ 他に手段がある(具体	的な手段,	事務事業)		
	目的を達成するには		除廃合できる つ □	連携でき	る 🕤 🔽 統廃合で	きない 🔽	■連携できない 与
	以外他に方法はない との統廃合ができる の連携を図ることに、	か?類似事業と	 市民会館は独立した施設であ 	り、事業の	統廃合はできない。		
	が期待できるか?	V 11r	▼他に手段がない【理由			/ T	
	事業費の削減		□削減余地がある 【理日	⊞) →)	▼ 削減余地がない	【埋田】	⊅
効率	成果を下げずに事勢 いか?(仕様や工法 の協力など)		施設器材整備については、取せ年次的に計画的に整備する			二伴う故障	が発生する。適切な維持管理と併
性	人件費(延べ業 減余地	美務時間)の削	▼ 削減余地がある 【理日	#] 🕏	□ 削減余地がない	【理由】	₽
	やり方を工夫して延	見を下げずにより や委託でできな	最少の人員での運営をお願い	1している。	(指定管理直接指定)		
公	受益機会·費用 化余地	月負担の適正	■見直し余地がある 【理	画プ	☑ 公平・公正である	[理由]	→
平	10示地						
性評価	事業の内容が一部は ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	文化活動の拠点施設として、	広〈市民に	活用してもらう施設である	,	
3 (1)	評価結果の総括の 1次評価者として		(次年度計画と予算への反		N) 担当記 振り返り、反省点)	果長記入	
(')	目的妥当性	☑ 適切	□ 見直し余地あり 🛶	_ r i ·m∪ J⊟ (.			
	有効性				メンテナンスが必要である りにより整備計画に支障が		理上、計画的な整備が必要である
	効率性 公平性		✓ 見直し余地あり が、う✓ 見直し余地あり	・弁い几区	ハになり正 開口 凹に又厚/	. ті с ∧ I в	' 0
(3)	今後の事業の方	向性(改革改善	案)・・・複数選択可				改革・改善による期待成果
		▼ 事業の 携 ■ 事業の	つやり方改善(有効性改善) つやり方改善(効率性改善) つやり方改善(公平性改善)	(従来	状維持 通りで特に改革改善をし		発止・休止の場合は記入不要)コスト削減 維持 増加向
施	設の官埋においては	、指正官埋者と連	曹携を図り、経費節減に努めな	から官埋連	宮を仃つ。		上 成維 果 低 下
			すべき課題(壁)とその解決	策			
年	次的な整備計画に基	・つく予算配分が必	必要である。				

	3	平成	20	年度	事務事	業評価シ-	-					
No	1250-150	事	務由	少年少女合唱団	133 古書業				所属		教育部	
INC). 1230-130	事業	名	ノキンメロ門回	1连吕尹未				所 扂		文化振興	
政策				きあうまちづくり					課長		川原 和明	
体系	系 肥東石 し			ツ、芸術・文化の	の振興				所属 🤆	, , ,	芸術文化	G
I.T.>	基本事業名(化団体の育成					電話	番号	42-1111	
		会計 一般	款 1 0		事業 57090	事業名 文化振興費	Į	—— 法令 根拠 霧島市	少年少3	女合唱	団要項	
事系	多事業の概要(具	具体的	りなやり	方、手順、詳細	。期間限定複	数年度事業に	は全化	本像を記述)			事業期	間
霧峊	高市少年少女合唱	団にi	運営費の	補助として補助会	の支出と運営の	の支援を行って	いる)	合	二 単	年度のみ	•
	団は市内の小学3年 成果の発表として、							日(午前)を練習日の	としてい			
ව, /	成本の光衣として、	たとノし	,闽宋口'	旧圧血工作のロッ	自示 で地区の人	.心示守に山次	0 0	, 1, ذ		▼ #	年度繰返	11. 0 左座)
										- H	□ (目間限定複数	H 8年度~) h在度
										L #/	年度	
1	現状把握の部([DO)								, (1 2	1,2
	事務事業の目的		標					V-71 16 17				
	手段(主な活動)		/ニュセ	十 />>工ま h)				活動指標(事	務事業の 名称	活動量	を表す指標)	単位
	<mark>)年度実績(20年</mark> 島市民音楽の集い)							
·霧	島市市制3周年記	念事	業記念式	大典フィナーレ	'			ア演奏会の開催	Ĭ			回
· ま?	ちなか音楽会(霧島	昌商工	_会主催)			_	イ 練習回数				
	年度計画(21年						\Rightarrow	1 無百四致				
· 8 F	月9日(土)山鹿少 ^年 月10日(日)山鹿少	年少な	大合唱团	との合宿練習(み	そめ館、交流も	(ンター)		ゥ				
	, , ,				•	5)					III.	
	<mark>対象 (誰、何を対</mark> 唱団員 ·霧島市四							対象指標(対	<u>家の大きる</u> 名称	を表す	指標)	単位
【補」	助金交付先】霧島	市少年	年少女台	1 世紀				ア・児苗教	H131			人
【補」	助対象活動】合唱	練習	及び演奏	奏会等の出演			,	イ 生徒数				人
	幸岡/この事業に		~ \	タナ じこ赤こって	541)			ウ	_	2 22 (m)	0 '# # # # #	
	意図(この事業に 重生徒に文化活動					逐文化水準		成果指標(対	家におけ 名称	る恵図()) 達成度を表	<u>:9 指標)</u> 単位
	上を図る	1000	5 C 12 Z	C-370, 10 E23 16	.H) H),,,CE	ー・ハロハスト	\Rightarrow	ア活動している	団員数			人
							7	1				
	結果(どんな結果	B 1- 4:	± 7 \$ / -	+ 7 (D +\)				ウ 上位成果指標	5/4+田の	法代氏	t = + 15 1= \	
	加来(これな加え ニーツ、芸術文化活				*親睦を図る。			上世界大田特	<u>(編集の</u> 名称	连风反	で衣り拍标)	単位
	ーツ、芸術文化活						\Rightarrow	ア芸術文化団体	本·組織(団体
							4	イ芸術文化団体	本·組織(の会員	数	人
(2)	総事業費·指標	华		18年度	19年度	20年度	1	ウ 21年度		1		
(2)	の推	· 移	単位	(実績)	(実績)	(見込)		(見込)				
	財国庫支出		千円									
1	事源 都道府県支地方債		千円									
	乗りり マネル		千円				-					
投入	費訳を切り	源	千円	162	145	13	8	124				
量	事業費計((A)	千円	162	145	13	8	124				
Ш	•											
	ンチェート・	ア		6	6		8	5				
	活動指標	イウ		29	30	3	U	34				
		ア	人	8,209	8,125	8,12	6	8,053		+		
	対象指標	1	入	4,067	4,098	4,01		3,975				
<u> </u>		ウ		50	40	^	4	40		_		
	成果指標	アイ	人	50	46	3.	4	40				
	がしていた。	ゥ					+			+		
		ア	団体	243	243	24		249				
	F 位成果指標	11	, ,	4 474	4 472	4 18	1	4 433				

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

児童生徒の健全育成を推進するために、旧国分市を中心に結成された。

事務事業を取り巻〈状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 文化活動(音楽)に対して興味を持つ児童生徒の減少に伴い、団員が減少してきている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 公民館教室として、隼人及び横川地区に合唱教室が開設され運営している。今後は、霧島市の合唱団として統合しての運営を検討する必要がある。

	事務事業名	市少年少女合	唱団運営事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
2			価、ただし複数年度事業は			1.m.+1	
	が結果に結びついて	りは市(町)の政 ^?意図すること	□ 見直し余地がある [3] 合唱団の設置により、年間を	•	▼ 結びついている の練習に取り組むことは		•
的妥	公共関与の妥	当性	■見直し余地がある【理	曲)	☑ 妥当である 【理	理由)ラ	
当性評	なぜこの事業を市が らないのか?税金を する目的か?	行わなければな 投入して、達成	青少年の健全育成は、学校教	枚育との両軸	命であり、活動補助金の	支出は妥当	áである 。
価	対象・意図の多	妥当性	□見直し余地がある【理	曲)之	☑ 適切である【ヨ	理由) 🍑	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか	?	団員については、市内一円で				
	成果の向上余	地	▼ 向上余地がある 【理[割 🧈	□ 向上余地がない	1【理由】	⊅
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 原因で成果向上	団員確保により、青少年が異 る。	年齢の集団	の中で活動することは、	、仲間づくり	や青少年の文化向上に期待でき
有	廃止・休止の反	は果への影響	□影響無 【理由】 🖜		▼ 影響有 【その[内容】 🕤	
D 効性評価	事務事業を廃止・休響の有無とその内容		青少年の合唱団活動の停滞	が予想され	პ .		
	類似事業との紹 可能性	統廃合·連携の	□ 他に手段がある(具体 ■	的な手段,	事務事業)		
	目的を達成するには 以外他に方法はない との統廃合ができる の連携を図ることに、 が期待できるか?	いか?類似事業 か?類似事業と	一統廃合できる → ▼ 市内に3つの合唱団が活動し 他の理由により統廃合ができ	ている。2つ ないが、事	の合唱団は公民館活動	•	■連携できない ラ して設置されており、活動内容その
-	事業費の削減	全地	─ 他に手段がない【理由✓ 削減余地がある【理目		□ 削減余地がない	1 【理由】	<u></u>
効率	成果を下げずに事業	養を削減できな		•	_	1 【连四】	•
性		美務時間)の削	☑ 削減余地がある【理	即少	□ 削減余地がない	1【理由】	₽
	正職員以外の職員ないか?(アウトソーシ	を下げずにより や委託でできな ングなど)	合唱団の保護者による保護者	é会の充実	こより、担当職員の事務	8量を削減で	きる。
公	受益機会·費用 化余地	月負担の適正	□見直し余地がある【理	曲プラ	☑ 公平・公正であ	る【理由】	3
	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	市内の全校児童生徒を対象し	こ団員を募	集している。		
3	評価結果の総括の					課長記入	
	1次評価者として。 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	図切図切適切図切図切	見直し余地あり見直し余地あり浸 見直し余地あり浸 見直し余地あり見直し余地あり		振り返り、反省点) 12年を経過している。紅		あり方や運営内容について検討す
< ;	今後の事業の方[□ 廃止 □ 休止 □ 目的再設定 □ 事業統廃合・連排 改革改善案 > 置目的を明確にし、自	□ 事業0 □ 事業0	案)・・・複数選択可 のやり方改善(有効性改善) のやり方改善(効率性改善) のやり方改善(公平性改善) のやり方改善(公平性改善)		状維持 通りで特に改革改善を	()	改革・改善による期待成果 発止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 点 上 成 維 果 持
							低下
(5)	改革、改善を実現	する上で解決す	すべき課題(壁)とその解決	策			
団	員が児童生徒のため	、指導者及び保証	養者による活動の支援が必要 っ	であるが、運	営体制が確立されてい	いない。	

-		半成	20	年度	争纷争。	美評価ン	_ [_			
No.	1250-160	事事業	務溝	辺たかや太鼓保	存会運営支援	賽事業			所属		教育部	: << +L ->- 1- (01 +m
-	Th 255 67			ミキャミナナベノロ					所属			所教育振興課
政策				きあうまちづくり ツ、芸術・文化の					課長		福永 久 教育グル	
体系		_		ツ、芸術・文化の					所属(番号	教育グル 58-3191	, -
-		0 3 会計	款		事業	事業名		1 社会教				青少年への体験
3	₽ 算科目	一般			算录 57090	文化振興	費	一一 広マ にももの) // YD		
									11条第	2項(社		<u> 本への援助)</u>
				方、手順、詳細		数年度事業	は全	体像を記述)		_ = ==	事業期	間
				i助として補助金を 支出するための手		提出、交付決	定。重	€績報告、補助金交·	付)を行	<u></u> □ #	年度のみ	
う。また	た、運営の指導	助言を	行ってい	, 1る。						口单	年度繰返	
								の演奏依頼に応えて		<u> • </u>		S 63 年度~)
近いる		へもの	リ、风人	と活動を共に9つ	ことにより、任会	教育活動の―	ママス (して青少年健全育成	に労め	□期	間限定複数	效年度
溝道	辺たかや太鼓保		は、町具	興し事業の一環と	して発足した団化	体。				□	年度	~ 年度)
	状把握の部(: 1 m									
	務事業の目的 段(主な活動		作					活動指標(事	辞事業の	活動量2	を実すお煙)	
	F度実績(20年		行った	主な活動)				/口到月15(字	名称	//口刬里*	C1X 9 1日1示/	単位
事務署	事業の概要ととも	に、清	講辺夏祭	りにおける太鼓演				フ焼助した団体				田休
る太鼓	技演奏、元旦に む	うける:	太鼓演奏	&、姶良地区おや	じサミットにおけ	る太鼓演奏。		ア 補助した団体	公安义			団体
							\vdash	1				
		度に	計画し	ている主な活動)		\Rightarrow	'				
H 2 0 1	丰度と同様。							ウ				
	会/針 /コナき	+ <i>4</i> 3 1−	1711	マのか) ナーかり	力 战次语学			さまる おき 神 (大)	4 ~ _ + + =	· + = + +	K1#	
	「 <mark>家(誰、何をX</mark> こかや太鼓保存			るのか) * 人や[日然貝까守			対象指標(対	家の大きる 名称	さを表り打	百儒)	単位
補助3	金交付先 > 溝辺	たかり	や太鼓保				\Rightarrow	ア補助対象団体				団体
補助対	対象活動 > 溝辺	たかり	や太鼓保	存会の運営に要	する経費		,	イ 補助対象団体	本の会員	数		人
**			- 11		- (1)			ウ			· >+ -1> -4- 44-	
				象をどう変えるの 営と財政の健全の				成果指標(対	<mark>聚におけ</mark> 名称	る意図∅)達成度を表	<mark>す指標)</mark> 単位
7447227		Z 071	1/H .C.Æ	:ECM MODELI	DCE V		\Rightarrow	ア自主財源率	பாள			<u>*12</u>
							7	1				
/ ₁ -1		D 1- /-	+= */	17.04)				ウ L ケポ B K H	F	\ 		
	<mark>果(どんな結</mark> り -ツ 芸術文化語			「るのか) Nに交流することで	3 組ሔを図る			上位成果指標	<mark>ミ(結果の</mark> 名称	達成度を	を表す指標)	単位
	・ツ、芸術文化活				が、住て口で、		_	ア芸術文化団体		の数		団体
							\Rightarrow	イ 芸術文化団体	本·組織(の会員数		人
(0) 44	生	<u>^</u>		40年度	40年度	20年度		ウの存在		1		
(乙) 統	詠事業費∙指標 の推		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)		21年度 (見込)				
	国庫士山	金出金	千円	(文//文/	(大原)	(大阪)		(76,23)				
車	財制を対象を		千円									
業	ル 内 地方値		千円									
事業投費	訳 その他		千円	180	30	2	30	30				
入 量—	ניא אניו	//示 (A)	千円	180	30		30	30				
里		. ,										
<u> </u>	<u> </u>						+					
\vdash		ア	団体	1	1		1	1				
	活動指標	1										
		ウ					\perp		-			
	対象指標	アイ	団体	1 15	1 15	4	1 5	15				
	刈外旧信	イウ	人	10	10	1	J	10				
		ア	%	12	55	4	19	50				
	成果指標	1										
		ウ	国件	0.40	0.40			0.40				
	位成果指標	アイ	団体人	243 4,474	243 4,472	4,18		249 4,433				
▎┴	. 四.以不.1日信	ュウ		4,414	4,412	4,10	0	4,400				
(3) 事	務事業の環境	竞变化	と・住民	意見等		<u> </u>		I				
٦	の事務事業を	開始	したきっ	かけは何か?し	ハつ頃どんな終	経緯で開始さ	れた	:のか?				

昭和63年8月、旧溝辺町において町興し事業の一環として発足した。太鼓は、旧溝辺町が備品として購入。打ち子は広く町民に呼びかけ、成人男女約30人が応募した。同時に保存会を立ち上げるとともに、活動運営に係る経費助成を図るため補助金を交付を開始した。

事務事業を取り巻〈状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 会員が、当初成人のみであったが、現在は小学生も会員になっている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 活動が知られることにより、出演依頼がある。

	事務事業名	溝辺たかや太	鼓保存会運営支援事	業	所属部	教育部	所属課	溝辺出張所教育振興課
2			平価、ただし複数年度					
	が結果に結びついて	りは市(町)の政 ^?意図すること	■ 見直し余地があ 地域興し、ふるさとづく!		·	☑ 結びついて	いる【理由】「	7)
的妥	公共関与の妥	当性	□見直し余地があ	る【理	由】之	▼ 妥当である	【理由】 🐬	
当 性	なぜこの事業を市(F ばならないのか?税 達成する目的か?		まち興し事業の一環でる青少年の健全育成であ)			
ТЩ	対象・意図の姿	妥当性	▼ 見直し余地があ	る【理	申】之	□ 適切である	【理由】 🖜	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか	?	広(市民に参加(会員)					
	成果の向上余	地	▼ 向上余地がある 保存会会員の加入促進			□ 向上余地が	ない【理由】	⊅
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 同因で成果向上	H20年度 会 員··· 練習日···	15名(- 原則毎 動 7月 11月 1月	-般 8名, 週月曜 20 26日:溝辺 2日:霧息 1日:遙掛	児童・生徒7名) ::00~22:00 みそめ]夏まつりオープニ 島市溝辺ふるさと祭 拝式オープニング &地区おやじサミット	ング り前夜祭での演	
有	廃止・休止の反	戊果への影響	□ 影響無 【理由】		2 2 . X D	▼ 影響有 【そ		
効性評価	事務事業を廃止・休 響の有無とその内容	止した場合の影 な?	保存会の運営に係る経	費を、全	全て保存会	負担とするには無理	里がある	
	類似事業との	統廃合·連携	□ 他に手段がある	(具体的	的な手段,	事務事業)		
	の可能性 目的を達成するには 以外他に方法はない の統廃合ができるか 連携を図ることにより 期待できるか?	いか?類似事業と ?類似事業との	_			□ 統廃	合できない 🕤	運携できない 🦜
-	事業費の削減	全抽	✓ 他に手段がない厂削減余地がある			▼ 削減余地が	かい【理由】	<u>5</u>
効率	成果を下げずに事業	養費を削減できな			1 ♥	▼ 日川東京と	·徐小【注四】	•
性	人件費(延べ勢 減余地	業務時間)の削	☑ 削減余地がある	【理由	1 2	□ 削減余地が	ない 【理由】	₹
	やり方を工夫して延 減できないか?成果 正職員以外の職員もいか?(アウトソーシ	!を下げずにより や委託でできな	保存会の主体的な運営	になっ	<i>t</i> =.			
公平	受益機会·費用 化余地		□見直し余地があ	る【理	甲] 🕏	☑ 公平·公正で	である【理由】	-
一個	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者なっているか?	小学生以上なら会員に		, ,,,,			
	評価結果の総括。 1次評価者として 目的妥当性		上(次年度計画と予算 ・ ■ 見直し余地あり \			N) 【打 限り返り、 反省点	担当課長記入)	欄)
	有効性 効率性	適切適切	見直し余地あり 見直し余地あり	力によ	り継続して		の会員が減少	ち上げたもので設立後、会員の努 」、子供たちに頼っている状況であ
< i 成.	□ 廃止 □ 休止 □ 保止 □ 目的再設定 □ 事業統廃合·連排改革改善案 > 人会員の加入促進を	□ 事業の □ 事業の 馬 □ 事業の 図る。	□ 見直し余地あり (素)・・・複数選択可 のやり方改善(有効性改うのやり方改善(効率性改うのやり方改善(公平性改うのやり方改善)	善) 善)	▽ 現状 (従来)		(4)	改革・改善による期待成果 (水上の場合は記入不要) コスト (利減 (維持 増加)
	人会員の加入促進を 入後21年が経過し、;		部が破けるなど老朽化が	進み、草	革の張り替え	えを要する時期にき	きている。	

		平成	20	年度	事務事	業評価シ	-					
No.	1250-170	事	務 士	文化協会運営支					所属		教育部	
INO.	1250-170	事業	名 ^{'''}	义化励云建吕文	(抜争耒				所属	禹 課	文化振興	課
TL 7/7	政策名	0 4	育み磨	きあうまちづくり					課	長 名	川原 和明	召
政策 体系		0 3	スポー	ツ、芸術文化の	振興				所属(G(係)	芸術文化	G
	基本事業名	0 3	スポー	ツ、芸術文化団ケ	体の育成				電話	番号	42-1111	
		会計			事業	事業名		法令 太				
]	序算科目	一般	1 0	0 6 0 6 1	57090	文化振興	費					
車級]	事業の概要(目体的	なかれ	<u> </u>	期期限完治	粉年帝 重类	1十个				事業期	
要点で	サ素の似女(5文化協会にi	兵 四口 軍営費(りな だり の補助と	して補助金を支出	。 新国政権後 北ていると同時	<u>奴牛及事業</u> に運営の助言	<u>は土</u> まを行	<u> </u>		当	- 尹耒朔 年度のみ	
霧島市	方文化協会は、	市内で	文化活	動を目的とする各	種団体及び同め	子会が相互の	連絡協	協調を図り研さんを			T120707	
				文化協会の傘下						▼ 単	年度繰返	
	内谷1霧局巾2 (隼人・国分)、			島の発行、総会の だよりの作成)開催、文部又1	化協会ことの)	古馴・1	け修会・又化会、プ	ナヤリティ		□ (年度~)
	(+/(//)	~ur~	10122	7200 70711 75%						□期	間限定複数	
4 75		(BO)								₽ (年度	~ 年度)
	状把握の部		計画									
	務事業の目 段(主な活動		扩示				1	活動指標(事務事業の	活動量を	表す指標)	
	F度実績(20 ²		行った	主な活動)				, ロキハ] ロ.i.吹 (,	名称	,日却生で	- レンノコロ1ホ)	単位
	事業の概要と同							ア文化協会に	ートスサル	事業の即	1/22米/5	<u></u>
								アメ化励云に	こよる人化	事業の用	引性致	
							\Rightarrow	イ 文化協会に		事業への)参加団	団体
		年度に	:計画し	ている主な活動)		4	1 体数(延べ	.)			四件
前年度	きと同様							ゥ				
2.1	A /*	11 2 1-	- 1 1 1	704041								
	家(誰、何を 文化協会会員		10.501	るのか) * 人や[目然貿源寺			対象指標(対象の大きる 名称	さを表す指	信標)	単位
	金交付先】霧!		化協会				\Rightarrow	ア人口	口彻			 人
【補助	対象活動〕文化	化協会(の運営に	関する経費。文化	化協会加盟団体	相互の連携	7	イ文化協会会	会員数			
	及び文化の高技							ウ 文化協会の	D加盟団体			団体
				象をどう変えるの	りか)			成果指標(る意図の	達成度を表	す指標)
文化協	協会の活動に関	関心を打	寺ち文化	活動を行う。			_	ア活動してい	名称	ماس الق	11111111111111111111111111111111111111	単位 団体
							\Rightarrow	イ 文化協会へ				団体
								ウ	(0) WI WE'DE	八四件	×x	四件
	果(どんな結							上位成果指	≦標(結果の	達成度を	表す指標)	
スポー	ツ、芸術文化	活動を	通じ互い	いに交流することで	*親睦を図る。				名称			単位
スホー	・ツ、芸術文化	沽動に	取り組む)仲間が増える。				ア 芸術文化団			4	団体
							,	1 云桁又化立	山冲 油 組 (ル云貝笠	X	人
(2) 終	事業費·指標	票等	24 /2	18年度	19年度	20年度		 21年度				
()	のł	隹移	単位	(実績)	(実績)	(実績)		(見込)				
	財国庫支		千円									
事	源。那里的原		千円									
業	内一型		千円	432	332	51	58	490				
投費	一般!		千円	1,345	2,690	2,5		2,241				
入 量—	事業費計		千円	1,777	3,022	3,10		2,731				
里												
										_		
l							_					
H		ア		11	11		10	10				
	活動指標	1	団体	274	263		49	250				
		ウ										
	1 10 10 1m	ア		127,615	127,773	127,4		128,383	-			
	対象指標	1 1	人	4,370	4,370	4,08		4,340				
		ウ ア		240 265	240 263		41 49	243 250				
	成果指標	1		0	10		3	5				
	·-weisth im	ż	<u></u> — /Т	Ĭ	10							
		ア	団体	243	243	24	44	249				

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

上位成果指標

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

4,474

市の合併を契機に平成18年5月に霧島市文化協会が設立され、旧文化協会個別に交付していた補助金を一本化したことにより本事業を開始した。なお、旧 市町の文化協会は地区文化協会として活動を継続している。

4,180

4,433

事務事業を取り巻〈状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 地区によっては、会員の減少に伴い活動が停滞している地区もある。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 市の教育出張所の対応が地区によってばらつきがある。(文化協会役員からの意見)

4,472

	事務事業名	市文化協会運		所属部		所属課	文化振興課			
2	評価の部(SEE) * 政策体系との整		『価、ただし複数年度事業に 見直し余地がある 【理	は途中評価 里由】 ▽			₽			
		か?意図すること	文化協会を核とした文化活動 る。)を日常生活	舌の中に積極的に耳	囚り入れてもらうこ	ことは、芸術文化の振興につなが			
的妥	公共関与の安	当性	■見直し余地がある【理	里由】ラ	☑ 妥当である	理由】与				
評	らないのか?税金を する目的か?		文化協会を核とする文化団体 当である。	҈に市が参₪	画し支援することは 類	霧島市の芸術文	化向上に寄与していることから妥			
価	対象・意図の妥	妥当性	■見直し余地がある【理	理由プラ	☑ 適切である	理由)				
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		文化協会の活動に関心を持て	5文化活動	を行うことは、協会(の組織充実並び	に地域の文化向上に必要である。			
	成果の向上余	地	▼ 向上余地がある 【理日	曲) 🥏	□ 向上余地か	がない 【理由】「	⊅			
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	らべき水準との差 原因で成果向上		図り、積極的	りな文化活動を展開	見することにより、	新たな会員や新規団体の掘り起こ			
有	廃止・休止の成	戊果への影響	□影響無【理由】		☑ 影響有 【そ	その内容】 🦘				
効性評	事務事業を廃止・休 響の有無とその内容		文化活動の停滞や地域の文化	化活動の指	≟い手が減少する。					
価	規以事未との常	統廃合・連携の		いな手段	,事務事業)					
	可能性 目的を達成するには	サ この事務事業	以 ▼ 統廃合できる う	「油推でき	ス 🕤 🥅 統盛	軽合できない う	◯ 連携できない 🕤			
	以外他に方法はない	ハか?類似事業			•	•	プローを ここない ◆ りまま ここない ◆ りまま こことの 統廃合を進め、活動を活性			
	との統廃合ができるの連携を図ることによ		化させる。	C10100 4 5-	HW/HEN CIKING	CV1013 / HHE.				
	が期待できるか?	- A. Dil.	□他に手段がない【理由			**··· ********************************	_			
	事業費の削減		▼削減余地がある【理日本	∄) →	削减余地刀	がない 【理由】	→			
効率	の協力など)	きの適正化、住民	会費の値上げや自主財源の	確保により、 	事業費の削減は可	丁能である。				
性	人件費(延べ業 減余地	業務時間)の削	▼ 削減余地がある 【理日	由】 ラ	□ 削減余地か	がない 【理由】	<u>⊅</u>			
		や委託でできな	文化協会員が認識を改め、会 援を行う事により人件費の削	文化協会員が認識を改め、会員相互の協力により行政に頼らない運営が必要であり、行政側は側面からの 援を行う事により人件費の削減につなげる。						
公	受益機会·費用	月負担の適正	□見直し余地がある【理	里由】→	☑ 公平・公正	である【理由】	→			
公平										
評	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	よいか?受益者	文化祭等、市民を対象に開催	崖されている	。また、それぞれの)会員が文化協会	会費を負担している。			
	評価結果の総括と) 1次評価者として((次年度計画と予算への反		N) (抗 振り返り、 反省点	担当課長記入村				
(1)) 「 次評1両名として(目的妥当性		(2) 3 ■ 見直し余地あり	三件版可口(1	旅り巡り、 区目 ホ	()				
	有効性						動を展開している。全体的に文化			
	効率性 公平性	_	✓ 見直し余地あり 協会!✓ 見直し余地あり	貝か同断に	,し、右午僧の参加,	プグないため、/白	動がマンネリ化している。			
(3)	今後の事業の方向	向性(改革改善	案)・・・複数選択可				改革・改善による期待成果			
 	□ 廃止 □ 休止□ 目的再設定□ 事業統廃合・連携改革改善案 >	▼ 事業の	のやり方改善(有効性改善) のやり方改善(効率性改善) のやり方改:10		状維持 通りで特に改革改訂		※止・休止の場合は記入不要)コスト削減 維持 増加向			
文	化協会各支部の部門		め、活動の活性化を図り、多種 *の魅力ある文化活動を模索す]を積極的に展開す	-べきであ	上 成雑 持 低 下			
			すべき課題(壁)とその解決		・サヤナッだけの	ヘニャクハため	- リゼカルゆみの運営に関			
			会員の高齢化が問題である。ま とめ、役員を含め今後のあり方を			会員も多いため、	一人一人が文化協会の運営に関			

S		活動指標	票(事務事業の活	動量を表す指標)	
Н			名称		単位
	ア	神楽振興	具会の公演回数		回
\Rightarrow	1	神楽の網	習延べ日数		日
	ウ				
		対象指標	票(対象の大きさを	表す指標)	
			名称		単位
	ア	人口			人
,	1	神楽振興	具会会員数		人
	ウ				
		成果指標	票(対象における意	意図の達成度を表	す指標)
			名称		単位
	ア	活動して	いる神楽振興会	会の会員数(実)	人
,	1	神楽振興	具会への新規加	入者数(実)	人
	ウ				
		上位成果	指標(結果の達)	成度を表す指標)	
			名称		単位
\vdash	ア		っている団体数		団体
7	1	郷土芸能	もに関わる人数([団体登録者]	人
	ウ			-	
		1年度			

(2)	総	事	業費·指標等		単位	18年度	19年度	20年度	21年度		
			の推移			(実績)	(実績)	(実績)	(見込)		
		財	国庫支出:		千円						
	車	酒	都道府県支出	金	千円						
投	尹坐	山	地方債		千円						
投	木書	訳	その他		千円	1,084	116	521	366		
λ	ᆽ		一般財源		千円	660	530	530	477		
量		号	事業費計 (<i>F</i>	\)	千円	1,744	646	1,051	843		
Ш											
		\=		ア		11	6	25	24		
		沽	動指標	1	日	21	16	28	28		
				ウ		107.015	107.071	400.400	400.000		
		<u>م</u> يد	Z-TN-TI	ア	<u>수</u>	127,615	127,871	128,128	128,383		
		प्रगृ≸	象指標	1	人	42	43	46	46		
-				ウ		0.5	00	0.7	07		
			#P +PC +##	ア	<u> </u>	35	36	37	37		
		ひとう	果指標	イウ	人	1	1	1	1		
-					田体	4.4	40	4.4	4.4		
	_	<i>/</i> ⊹. c	+ 田 + 2 + 1 = 1	ア	団体	2.450	43	44	44		
	工	J7712	成果指標	1	人	2,450	2,432	2,644	2,450		
L.	_			ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

平成8年5月に旧霧島町内の民家で270年前の古文書が発見され、約80年前まで霧島神楽が現存していた記述があり、教育委員会が町民の関心を高めよ うと波野村の「中江岩戸神楽」を体育祭に招待したのがきっかけで、町民の意識が高まり神楽復活への動きとなった。

事務事業を取り巻〈状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

発足当時は数十名いた会員も高齢化や職場の異動(役場職員もかなり居た)により、少しずつ遠退いてゆき、今では30名ほどで活動している。しかし、近年、 新規会員の加入もあり、やや活気付いてきていることも事実である。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

伝統芸能を保存・伝承してゆかねばならないことは、多くの方々にご理解いただいているが、それらが、会員の増加や予算の確保等に実質結びついていないのが現状である。

	事務事業名	霧島神楽振興	会運営支援事業	所属部	教育費	所属課	霧島教育振興課	
2	評価の部(SEE) > 政策体系との整		価、ただし複数年度事業は ■ ■ 見直し余地がある 【理		▼ 結びついている	【理由】	<u></u>	
目	この事務事業の目的 策体系に結びつくかが結果に結びついて	りは市(町)の政 ハ?意図すること	霧島チャレンジャー(神楽体験環境づくりを形成すると共に神	i) や霧島神	· 楽公民館講座での指導	‡を通じてī	市民に対する伝統文化を学ぶ	
的妥	公共関与の妥	当性	■見直し余地がある【理	曲】	☑ 妥当である 【理	申プ		
評	ばならないのか?税 達成する目的か?	町)が行わなけれ 記金を投入して、		詳細は不明]だが、少なくとも霧島市	政策体系	援、人的支援)で行ってゆくかの に「保存団体への支援」が謳われて \。	
価	対象・意図の変	妥当性	■見直し余地がある【理	曲】	☑ 適切である 【理	申プ		
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		現在行っている活動対象につ また、対象の拡充により意図も			な充して行	くべきであると考える。	
	成果の向上余	地	▼ 向上余地がある 【理由	<u> </u>	□ 向上余地がない	【理由】	₹	
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 見因で成果向上	伝承活動も10年を経過し、温 新霧島神楽への脱皮も図って				-な「座」の創設も視野に入れながら 考えます。	
有	廃止・休止の反	以果への影響	□影響無 【理由】 🕤		▼ 影響有 【その内	容] 🦜		
効性評	事務事業を廃止・休響の有無とその内容		事務事業を廃止された場合、 う政策体系が崩壊する可能性		けとなる財源的なものの)確保が困	難となり、伝統芸能の保存伝承とい	
価	類似事業との約 可能性	統廃合・連携の	□ 他に手段がある(具体	的な手段,	事務事業)			
	目的を達成するには 以外他に方法はない		□ 統廃合できる 🕤 🔲		•	•	•	
	との統廃合ができるの連携を図ることに	か?類似事業と					〈、連携は出来ても統廃合は困難で 『携の)可能性は薄い者と考える。	
	が期待できるか?		▼他に手段がない 【理由					
効率	事業費の削減 成果を下げずに事業 いか?(仕様や工法 の協力など)	業費を削減できな	合H30予算ではH18予算対比	・ 1予算はH と約 80%	になります。こうなると政	5り、このま 策体系の	→ まの推移を維持すると仮定した場 事務事業に記載のある「伝統文化 を再検討しなくてはならないのでは	
性	人件費(延べ) 減余地	養務時間)の削	☑ 削減余地がある 【理由	1) 🕏	□ 削減余地がない	【理由】	₽	
	やり方を工夫して延 減できないか?成果 正職員以外の職員・ いか?(アウトソーシ	具を下げずにより や委託でできな	発足当時の経緯から行政としての移譲は、今後、充分検討した				すが、ご指摘のとおり各種団体事務 〕ます。	
公	受益機会·費用 化余地	月負担の適正	■ 見直し余地がある 【理	(由) 🤣	☑ 公平・公正である	3【理由】	₽	
平性評価		いか?受益者	り、あえて言うならば公演時の	観客であり、 的な行事等	公演の依頼者であると 等への参加も多く、そこま	考えます。 きで踏み込	体の構成員でない事は明白であ 本来であれば公演時の公演料を定 めていないのも実情であります。	
3	評価結果の総括と 1次評価者として		(次年度計画と予算への反		l) 【担当記 辰り返り、反省点)	果長記入		
	目的妥当性 有効性 効率性 公平性	図切適切適切図切図切	□ 見直し余地あり□ 見直し余地あり□ 見直し余地あり□ 見直し余地あり□ 見直し余地あり	なもの(神楽	版り返り、及自点) 終師確保、座創設)への D民間への移譲が不完全	E(創設時	の経緯による)	
<		▼ 事業の ▼ 事業の	案)・・・複数選択可 のやり方改善(有効性改善) のやり方改善(効率性改善) のやり方改善(効率性改善) のやり方改善(公平性改善) 意識を向上させ、現状の打破を	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	犬維持 通りで特に改革改善をし	(月	改革・改善による期待成果 発止・休止の場合は記入不要 コスト	
	公民館講座を通じ、新座を構成員全員で 組織運営の移譲	新たな神楽師の募 「創設できるよう研	募集・育成を行う					
(5)	事務局員になるべき。 改革、改善を実現	構成員を育成する で解決で	る。 すべき課題(壁)とその解決3					
・亲	f座の創設には相応の	の経費と時間の増	大が見込まれるが、その確保を	どうするか	?・・・現状の財源では年	F間活動を	しながらの新座創設は困難である	

・新座の創設には相応の経費と時間の増大が見込まれるが、その確保をどうするか?・・・現状の財源では年間活動をしながらの新座創設は困難であるため、半年~1年間の活動を新座創設のみとする必要がある。

・新たな神楽師の育成をどうするか? ・・・神楽 = 熟年者というイメージがあるが現代神楽の多くは若年者層が中心となって伝承している所が多く見受けられることから、中学・高校等でのイベントに出演し市内に現存する伝統芸能を少しずつでも若者に興味をもって貰うことも一つの方法だと考える。・・組織運営の移譲・・・最大の課題は、事務局員の選任であり出来うる限り年度を区切っての移譲を行いたい。

			平月	戓	20	年度	事務事	業評価シ	' —					
N	^	1250-200	事	į	務立	化財保護啓発	丰				所属		教育部	
IN	υ.	1230-200	事	業:	名	1.的体设合光	尹未				所属	萬 課	文化振興	課
πh	#	政策名	0			きあうまちづく					課		川原利	口 昭
政体		施策名	0	4	伝統文	【化の保存・継え	承				所属((係)	文化財G	
P45	7](基本事業名				化を学ぶ環境					電話	番号	45-5111	
	Ŧ	⁵ 算科目	会		款 1 0	項 目 0 6 0 7 c	事業 158090	事業名文化財保		—— 法令 根拠 特に	こなし			
事	務	事業の概要(. 具亿	泊本	なやり	方、手順、詳細	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	复数年度事業	全は	体像を記述)			事業期	間
地均	或信	民に市内の	文化	材を	・広く紹?	介することで郷土	:の歴史を正しく	(理解し、文化		切にする心を育	むため、「霧	□ 単	年度のみ	
島を	文市文	化財に関する 報に「郷土史 化財保護強訓	。パン への 周週間	フl 扉」 引の	レットの作 を掲載)周知	文化財保護啓 下成 神社による防火	文化財の調査 全国史跡整備		会等へ	の加盟			単年度繰返 □ (日間限定複数	H 17 年度~) 数年度
	出	前講座による	歴史	講								□ >(年度	~ 年度
		状把握の部			135									
		務事業の目 段(主な活動		指	標					汽车 打5件	(事務事業の	(千計)	た主さと挿り	
		段 (王は)百里 - 度実績 (20:		1-	行った:	主か活動)				/白里川1日代示	(事務事業の 名称	が山野里	で衣り拍信)	単位
広軸	设。 设証	文化財防火ラ	デー。 ヽの扉	ੂੋ ਹੁ ਫ਼ਿ	島津義 E掲載。	久関係パンフレ 出前講座による	歴史講座の実	施。		ア 広報活動・情報発信の数				件
2	文化財保護強調週間の周知化。加盟協議会等への参加。 21年度計画(21年度に計画している主な活動)								\Rightarrow	イ文化財防	i火訓練の実	:施		回
広幸	報。文化財防火デー。「ぐる!)霧島 歴史探索の道」パンフの増刷。 報誌に「郷土史への扉」を掲載。 文化財保護強調週間の周知化。									ウ パンフレッ	ル・文化財訓	■査物の	D刊行部数	₩
			対象	きに	してい	るのか) * 人や	自然資源等			対象指標	(対象の大き	きを表す	指標)	W (1
		E民(市民))文化財								— 141+ / + 0	名称_			単位
ШЬ	^J ∪.	又化則								ア 地域(市目 インマンドライン 文化財の				人 件
										ウスル類の	ZX.			IT
	意	図(この事業		こつ	て、対象	象をどう変える	のか)				(対象におけ	る意図の	の達成度を表	す指標)
地均	或σ.)伝統文化(史	2跡・2	文化	と財等)を	を学び地域を知				, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	名称			単位
文化	七則	すに関心を持ち	5、大	切	にする心	いを持ってもらう。				ア文化財に関	心を持ち、イ	ベントの参	参加した人数	人
									'	イ ウ				
	幺±	果(どんな結	: 甲 1:	- 生	± 7 13 / 1−	ナスのか)					指標(結果の	達成度:	た主オピ煙)	
		未(C/Vはた) 伝統文化を								上世/以未1	1 <u>11宗(紀未り)</u> 名称	连 风反	で衣り1日信)	単位
	-20 0.	IAMONTOC		w					\Rightarrow	ア伝統文化イ		る市民の	の割合	%
(2)	松	事業費·指標	画笙	-		18年度	19年度	20年度	:	ウ 21年度				
(2)	和它	の担保	准移	,	単位 千円	(実績)	(実績)	(実績)	·	(見込)				
	<u>_</u>	別一数等应目			千円			+						
	事	脚 地方	債		千円									
投	未費	訳その	他		千円									
入		一般照 事業費計	<u>77次</u>	١	千円 千円	2,894 2,894	3,907 3,907		745 745	1,789 1,789				
量.		尹未貝司	(A)	ТП	2,094	3,907	1,7	45	1,709				
Ш					1tL	10			10	10				
		活動指標		ア イ	件回	10	10		10	12				
		/口里川]日代示	-	1		7,000	7,000		-	2,000		_		
				ラア	人	127,615	127,773			128,383		+		
対象指標 イ 件 664 665 6					667	890								
j				.07	40.000									
ア 人 未把握 14,497 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15,50 15					007	16,000		-						
		以木徂信	ŀ	イウ				+						
				ヺ	%	67.0	71.5		80	72		+		

上位成果指標

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

平成17年合併して霧島市となり、新しい町の歴史や文化財を地域住民の方々にまず知ってもらい、文化財に関心を持ち、大切にする気持ちを育むことを目 的として文化財啓発事業を開始した。

事務事業を取り巻〈状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

合併に伴い、霧島市は数多くの文化財を有するまちとなった。これまではそれぞれの市町の文化財や歴史は学んでいたが、新しいまちのことについては知らない状況である。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

市民が合併をきっかけとして、霧島市の歴史や文化に対して関心が高まってきており、学ぼうとする市民も増加の傾向でパンフレットなどの資料請求などの要望が多く寄せられている。

	事務事業名	文化財保護啓	発事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
2	評価の部(SEE) · 政策体系との整		『価、ただし複数年度事業は ■ ■ 見直し余地がある 【理		▼ 結びついている	【理由】	₽
	この事務事業の目的 策体系に結びつくかが結果に結びついて	い?意図すること	霧島市の文化財を市民に紹介	することで	、郷土の歴史・文化を正	しく理解し	、文化財を大切にする心を持つこ 京文化の保存・継承」に結びつく。
的妥		·当性	■見直し余地がある【理	曲】与	☑ 妥当である 【理	由」与	
評	らないのか?税金を する目的か?		霧島市の文化財を市民に紹介	トし、文化駅	すの保護について理解を	深めてもら	うことは市の役割である。
価	対象・意図の多	妥当性	■見直し余地がある【理	曲)之	☑ 適切である 【理	即之	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		文化財保護の啓発と愛護思想 である。	の高揚を達	生めていくためには、文イ	化財に対す	「る市民の意識を高めることが重要
	成果の向上余	地	▼ 向上余地がある 【理由		□ 向上余地がない	【理由】	₽
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	らべき水準との差 原因で成果向上	て、さらには近世に至るまで産	業・経済の	中心地として栄えてきた	。このよう	説、古代からは大隅国の中心地とし こ新市霧島には多くの文化財が点 成果を向上させる余地は十分にある
有	廃止・休止の原	成果への影響	□影響無【理由】		▼ 影響有 【その内	容] 🦜	
効性評	事務事業を廃止・休響の有無とその内容		文化財の周知や文化財を大り 事、方言などが途絶えることが			財の消失や	b郷土芸能や風習、さらには年中行
価	類似事業との行	統廃合・連携の				_ + +:ռ	罢したりして 海嫌を図っ
	目的を達成するには		■ 夏祭りや福祉大会な▼ 統廃合できる				
	以外他に方法はないとの統廃合ができる		他の事業や地域住民と連携し	て市内の対	て化財を紹介することで、	より郷土の	D歴史·文化を正し〈理解し、文化
	の連携を図ることにが期待できるか?		財を大切にする心を持つことが		具が上げられる。		
	事業費の削減	余地	一他に手段がない【理由✓削減余地がある【理由		□ 削減余地がない	【理由】	<u>5</u> .
効率	成果を下げずに事動 いか?(仕様や工法 の協力など)	業費を削減できな	文化財の広報活動について	・ は、市報†	ー >HPなどを駆使すること	により、より	
性	人件費(延べ業	業務時間)の削	▼ 削減余地がある 【理由	a) 🕏	□ 削減余地がない	【理由】	₽
	減余地 やり方を工夫して延 減できないか?成界 正職員以外の職員・ いか?(アウトソーシ	具を下げずにより や委託でできな	史跡めぐりコースパンフレットの 削減することができる。)作成につ	いては、印刷前にできる	だけデーク	ター化することにより、印刷製本費を
公	受益機会·費戶 化余地	用負担の適正	■ 見直し余地がある 【理	曲プ	☑ 公平・公正である	3 【理由】	₽
評	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	よいか?受益者	市報やHPなどを活用したりする も有償としたので、本事業は公			することが	できる。 また、 ガイドブックに ついて
_			(次年度計画と予算への反			果長記入	
(1)	1次評価者として 目的妥当性		(2) 至 「 見直し余地あり	体総括()	振り返り、反省点)		
	有効性	適切	▼ 見直し余地あり → 他の事				り、郷土の歴史・文化を正しく理解
	効率性 公平性	□ 適切☑ 適切	✓ 見直し余地あり✓ 見直し余地あり	化財を大り	川に9る変護忠忠を育む	ことか ぐさ	るよう事業を展開していきたい。
(3)	今後の事業の方	向性(改革改善	案)・・・複数選択可				改革・改善による期待成果
	□ 廃止□ 休止□ 目的再設定		Dやり方改善(有効性改善) Dやり方改善(効率性改善)		伏維持 通りで特に改革改善をし		隆止·休止の場合は記入不要) スト コスト
			のやり方改善(公平性改善)	,			削減 維持 増加
	市民が霧島市の文化		環境をつくり、郷土の歴史・文化	どを正しく理	2解してもらう。		向 上 上
			オを紹介するコーナーを設置。 などの事業を奨励する。				成維果持
							低
/=		コナフ しっかかと		-/-			F /
			すべき課題(壁)とその解決! は、歴史・文化に関する情報を				
市	役所の他の部局との	連携を密にし、各	主催事業の中に市内の文化財 認識していただき、史跡めぐりな	を紹介する		はう工夫して	Cl14.
				_ 3 3.26			

		平成	20	年度	事務事業	業評価シ	<u> </u>				
No.	1250-210	事	務 郷-	土芸能保存団体	:	¥				部教育部	
140.		事業	白							課文化振興	
Th 22	政策名	0 4	育み磨	きあうまちづくり					課長	名 川原利	口昭
政策体系		0 4	伝統文	【化の保存・継承	<u> </u>				所属G(係	文化財G	
冲力	基本事業名	0 2	保存団	体への支援					電話番	号 42-1111	
	1	会計	款		事業	事業名		法令 霧島市福	助金等理念		
	予算科目	一般			58090	文化財保護	費	スマ 霧島市神	助金等交付	規則	
								務回リル	制金等の種	類及び補助率に	
				方、手順、詳細。					1.04	事業期	間
		きた郷	土芸能を	を絶やさないために	こ、郷土芸能保存	存団体に対し	て活動	カ補助をする。また、ヒ	出演の	単年度のみ	
	の提供を行う。 業務の内容										
	素研の内容 俗芸能保存活動	動事業	費補助金	(運営補助)					~	単年度繰返	- .
	ベント等への出			2 (22 1111 1111 1111 1111 1111 1111 111						,	S 50 年度~)
										」期間限定複数	
4 7		(0.0)							L	▶ (年度	~ 年度)
	見状把握の部		· +##								
	事務事業の目 F段(主な活動		惊					(千ま) 十七十四 / 古 文	タ声光の江ミ	カー・キャナセー・	
	F段(エは/百里 <mark>年度実績(20</mark> 9		/テった:	士か千番か				/白野/日代示(争)	労争乗の心里 名称	加量を表す指標)	単位
霧島	十尺天線(20) 市補助金等の利	年短10	バ補助落	エは内野) 図に関する要綱に征	だい それぞれの	の団体に運		」 運営補助して		能促方合の	
	助を行った。	土大八人、	O 1803-		XVI(C10 C10	の四件に定		ア数型	いる加工五	形体行去の	団体
	イベント等へ出	演の機	会の提供	共を行った。			,	×A			
24	午度計画/24名	生産に	<u>-</u> - ⇒ 1 -	ている主な活動	١		\Rightarrow	1			
				<mark>でいる土な/店割</mark> 図に関する要綱に		の団体に演	,				
	助を行う。出演の				XVI(C10 C10	の四件に定		ウ			
				るのか) * 人や[与研咨语学			対象指標(対象	カルナキャナラ	= 士 + 比 + 画 \	
市民		刈氷に	-0 (61	ののか, 人 い	日然貝瓜守			X1多K1日代示(X1多	名称	マ9 1日1宗)	単位
	団体の構成員						\Rightarrow	ア人口	1010		人
<補貝	加金交付先∶郷:						7	イ 運営補助して	いる保存会	会員の数	Ž
<補助	カ対象活動∶郷ニ	土芸能	を継承す	るための運営補助	カ>			ウ			
趸	意図(この事業	によっ	て、対象	象をどう変えるの	つか)			成果指標(対象	象における意	図の達成度を表	す指標)
	芸能が保存・継								名称		単位
伝統	文化にふれる機	幾会を持	まつ。					ア発表の機会			回
							,	1			
L	+ EE / ビノ ナヽル+	- FEI 1- 4	± 7 5 /-+ 1-	ナスのかり				ウト分式田杉博	/#田の法は	· c 	
	<mark>吉果(どんな結</mark> 文化を継承し、			(MW6(上位成果指標	(結果の達成 名称	(度を衣り指標)	単位
IZANO	入口で飛び	MUC	000,				_ \	ア郷土芸能に関		可体登録者)	人
							\neg	イ 発表を行って			団体
							,	ウ			
(2) 糹	総事業費·指標		単位	18年度	19年度	20年度		21年度			
L.		<u> </u>		(実績)	(実績)	(実績)		(見込)			
	財国庫支		千円								
事	事源		千円								
当	製内 地方		千円				-				
投聲	制 一般!	北源	千円	815	496	51	0	618			
ᇫ	事業費計	(A)	十円	815	496	51		618			
量一		` /									
\coprod											
	ンエチャナド・ナエ	ア	団体	23	14	1	6	16			
	活動指標	イウ					-				
		ウマ	1	127,615	127,773	127,45		128,383			
	対象指標	アイ	人	508	396	127,45		400			
	∧130/13 TA	<u>1</u> ウ		300	390	34		700			
		 プ ア		22	32	.3	6	36			
	成果指標	1					1				
		ㅎ									
		ア	人	2,450	2,432	2,45	0	2,450			
	-位成果指標	1	団体	44	43	4	4	44			
		ウ				-					
	事務事業の環				1-1718	7 / h					
7	の 里 経 里 業 7	5 開加	したきっ	かけは何か?し	1つけらどんたん	メダラブ目がつう	n t-	(1) th 2			

郷土に受け継がれてきた伝統芸能を後世に残すため。また、後継者を育成するために始められた。

運営補助としては、昭和50年代から実施している。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

生活文化の多様化や急速な社会変化により地域の連帯感が薄れ、地域の伝統文化などを継承する社会力が低下している。

保存会会員の高齢化が進むことで、郷土芸能保存会を継承する人が少なくなっている。(平成18年度:34団体中2団体が活動休止) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

地域による伝統文化の継承活動に要する経費(補助金)についてはこれまでどおり継続してほしいと、市民や保存会からの声が多い。 市民やイベント関係者等から民俗芸能を披露してもらいたいとの要望が寄せられている。

	事務事業名	郷土芸能保存	団体運営支援事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
2	評価の部(SEE) * 政策体系との 数		価、ただし複数年度事業 見直し余地がある		☑ 結びついてい	る【理由】	7
目於		い?意図すること	郷土芸能保存団体支援 より、市民に対しても披露す				P後継者育成に積極的になることに が図られる。
的妥	公共関与の女		□見直し余地がある	【理由】 🥏	☑ 妥当である	【理由】 🧈	
評	なぜこの事業を市からないのか?税金を する目的か?	ヾ行わなければな ・投入して、達成	文化財の保護と活用は、 への支援は市が行わなけれ			務と規定されて	おり、郷土芸能(無形民俗文化財)
個	対象・意図の多	妥当性	□見直し余地がある	【理由】 🦠	☑ 適切である	【理由】 🖜	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		郷土芸能保存会へ支援で対象・意図とも妥当である。	することにより、	円滑な運営と後継者	者の育成、市民	への披露などが充実することから、
	成果の向上余		▼ 向上余地がある 【3	理由」	□ 向上余地がた	ない【理由】	
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 原因で成果向上	地域の行事や運動会、文 行っていきたい。	(化祭、市主催	€の行事など、これま ⁻	で以上に各保	存団体が出演する機会の提供を
有	廃止・休止の反	成果への影響	□影響無 【理由】 5	,	▼ 影響有 【そ	の内容】 🖜	
対性評	事務事業を廃止・休響の有無とその内容		無形民俗文化財(郷土芸なことから、本事業を継続す			これを再び復	活するには非常に難しい。このよう
個	類似事業との紹 可能性	統廃合・連携の	▼ 他に手段がある(具			*ヘナ=ハルフ	
	目的を達成するには		● 夏祭りなどの各種 ■ 統廃合できる ラ				■連携できない 🕤
	以外他に方法はない との統廃合ができる	か?類似事業と	郷土芸能等を後世に残し 事業)と連携していくことも。		本事務事業を継続し	ていくとともに、	他の事業(郷土芸能を披露できる
	の連携を図ることに。 が期待できるか?	より、成果の向上	■他に手段がない【理				
	事業費の削減	余地	□削減余地がある【		▼ 削減余地が	ない【理由】	₽
效率	成果を下げずに事勢 いか?(仕様や工法 の協力など)		本来郷土芸能は、それぞ 組む体制が必要である。そ				呆存継承ではなく地域全体が取り 厳しい状況である。
性		業務時間)の削	■ 削減余地がある 【3	理申】 🥏	☑ 削減余地が	ない【理由】	₽
	やり方を工夫して延	見を下げずにより や委託でできな					を実施しており、保存会の活性化を の業務はこれまで以上に増える可
公平	受益機会·費用 化余地	用負担の適正	□見直し余地がある	【理由】 🤝	✓ 公平・公正で	ある【理由】	₽
性評	事業の内容が一部(ていて不公平ではた	いか?受益者	本来、文化財は国民共有 のことを考慮すると、保存会				乳土を色濃く残すものである。 これら ごある。
╙	負担が公平・公正に					\/.+===+= \ .	
	評価結果の総括。 1次評価者として		:(次年度計画と予算への (2)		N) (担 振り返り、反省点)	当課長記入	
	目的妥当性 有効性	☑ 適切፴ 適切	□ 見直し余地あり□ 見直し余地あり□ え	⊢ → / / / / → + + 4	rit 7 to 7°to 10 141+	L + 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	Dマキリ 但ち人のこの但を似るで
	効率性	☑ 適切			で取り組む体制が必!		かであり、保存会のみの保存継承で
(2	公平性	~ ~	□ 見直し余地あり 案)・・・複数選択可			1(4)	改革・改善による期待成果
<	☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 保止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合·連打改革改善案 >	▼ 事業の ■ 事業の 携 ■ 事業の	つやり方改善(有効性改善) つやり方改善(効率性改善) つやり方改善(公平性改善)	(従来	状維持 通りで特に改革改善	をしない)	大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学
こ。芸	とから、保存会のみの	保存継承ではな	など)が一度途絶え、これを (地域全体が取り組む体制/ 郷土芸能の素晴らしさを周タ	が必要である。	さらには、これまで以	人上に郷土	成 維 果 低 下
			すべき課題(壁)とその解		世時が禁むっさっこ	7 1420 + -	7.0 th t
す	る人が少なくなること	が懸念される。	が進むことで、本米地域に係		市恩か溥れ(きてい	る状況 である。	その中にあって、郷土芸能を継承

		1 13%	20	T1X	710777	木口川川ノ	- 1					
No.	1250-240	事	務緊	急埋蔵文化財発	· 					所属		
		事業	10								式 課 文化振	
政策	政策名			きあうまちづくり								和昭
体系	加 東石	0 4		化の保存・継承	ξ					所属(
	基本事業名			する 日 日 日	市	古兴夕				電話	番号 42-111	11
3	予算科目	会計 一般		0 6 0 7 1		事業名 藏文化財発掘調查 藏文化財発掘調查		間分)	法令 根拠	化財保護法、	霧島市文化財	保護条例
事務	事業の概要(具体的	かなやり	方、手順、詳細	。期間限定複				を記述)		事業	期間
				において開発行為		れる埋蔵文化	財を事	前に	発掘調査	し、その成果	□ 単年度のる	}
を報言	音音にまとめ、語	心球1末1	子として	遺跡を後世に残す	0						一 岁左帝缇》	=
											┃ ☑ 単年度繰〕	^区 (H 17 年度~)
											□ 期間限定補	
												度~ 年度)
	!状把握の部										`	
	務事業の目		標				1		ンイチムナビュ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		.
	段(主な活動 <mark>F度実績(20</mark> 3		行った:	土か活動)					活 動指標	<mark>景(事務事業の</mark> 名称	活動量を表す指	隱) 単位
				エ <mark>な/ロシリ</mark> 埋蔵文化財発掘i	調査を実施した							
アノ	ใ−ト建設に伴	う発掘	調査					ア	緊急埋產	成文化財発掘	盛調査の数	件
準/	人駅東口土地!	× 画整1	イ 事業に	に伴う発掘調査			_	1				
				ている主な活動			\Rightarrow	1				
- 0. 0.	閉発及び公共₹ 対応であり、見∶			埋蔵文化財発掘	調査を実施する	0		ゥ				
				<u> </u>	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			-	***	T () () = = =		
	家(誰、何を の埋蔵文化!			るのか) * 人や	日然資源寺				刈家指 僚	票 <mark>(対象の大きる</mark> 名称	さを表す指標)	単位
	発行為によって							ア	周知の均	型蔵文化財包 関域文化財包	見蔵地の数	ヶ所
							7	1		成文化財発掘		件
37	四/- 6 吉米	L	- 11	タナ バンボニック	241)			ウ		T (21 / 2 / 2 / 1		
				象をどう変えるの 調査の成果を公開		歴史・文化へ			 风米拍抗	<u> </u>	る意図の達成度を	≥表9指標) 単位
	解を深める。	124 IV I J	0, 870	阿豆の水木で公 り	10 C 33 EU 15 02 II		\Rightarrow	ア	緊急埋菌	或文化財発掘	配調査の数	件
							7	1		全報告書の数		m
<i>L</i> -1	· 田 / ば / +\&+	· III 1 - 4	+ 7 1 / 1	17 O 41)				ウ	上人士田	比無少は田の	`*********	
	<mark>課(どんな結</mark> オをを適切に係								上世成朱	<u>:指標(結果の</u> 名称	達成度を表す指	票) 単位
710	,,	(1) O()	, L 10/	~			_	ア	保存され	ている文化則	材の数	件
							4	1				
(2) 44	事業費·指標	五 华		18年度	19年度	20年度	1	ウ	年度	1	1	
(Z) Mi		s 可 佳移	単位	(実績)	(実績)	(実績)			4.反 2込)			
	_时 国庫支	出金	千円	(20130)	(50,50)	(2011)		(2.	<u> </u>			
事	都道府県		千円	20,700	5,000	2,6	18					
業	源 地方 その		千円	763	7,400	E	99		9,000			
投費	訳		千円	703	4,778	6,14	_		2,050			
人 量	事業費計		千円	21,463	17,178	9,36			11,050			
=												
							_					
	<u> </u>											
"		ア	件	3	1		8		1			
	活動指標	1										
		ウ ア	ヶ所	516	516	5.	18		518			
	対象指標	7	件	3	1	<u> </u>	3		2			
		ウ										
	+ m + × + = -	ア	件	3	1		8		2			
1	成果指標	イウ	m		300	30	00		300			
		ア	件	664	665	60	37		807			
上	位成果指標	1										
(C) =		ウ	, ,; -	* - X								
	務事業の環の事務事業			意見等 かけけ何か?	いつほどんかり	又给で問かっ	t to t-	のか	\ 7			

昭和25年文化財保護法の制定に伴い、埋蔵文化財の保護について取組んできた。霧島市においても平成17年度(合併当初)から緊急な発掘調査に対応 するため予算を計上している。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 緊急に発掘調査を実施するケースが増えてきている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 民間開発に伴う発掘調査については、民間業者の意見として早急な対応をしてほしい。

	事務事業名	緊急埋蔵文化	財発掘調査事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
2	評価の部(SEE) 政策体系との		望価、ただし複数年度事業は ■ 見直し余地がある 【理		☑ 結びついている	【理由】	₹
目	この事務事業の目的 策体系に結びつくが が結果に結びつい	か?意図すること	開発と文化財の調整を図る上	で事業の推	t進に結びつき, 妥当でる	ある。	
的妥	公共関与の妥	当性	■見直し余地がある 【理	曲プ	▼ 妥当である 【理	申」之	
	する目的か?		事前の調査は開発部局が経動 もらうため市負担の経費は軽く		ることが上部機関の指導	である。本	調査については原因者に負担して
価	対象・意図の多	妥当性	■見直し余地がある 【理	曲)之	☑ 適切である 【理	申プ	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		 調査された遺跡・遺物につい [*] 		あり,対象・意図ともに変	える必要し	はない。
	成果の向上余	:地	▼ 向上余地がある 【理印	<u> </u>	□ 向上余地がない	【理由】	₽
	成果を向上させる分果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	るべき水準との差 原因で成果向上	整理工程の見直し,民間業者	の活用など	「によって効率的な作業が	が可能であ	58.
有	廃止・休止の原	成果への影響	□影響無 【理由】 🖜		▼ 影響有 【その内	容] 🦜	
効性評	事務事業を廃止・休響の有無とその内容		文化財保護法に則って実施す	⁻ る事業で	あり,廃止・休止することに	はできない	0
価	類似事業との 可能性	統廃合・連携の	▼ 他に手段がある(具体		事務事業)		
	目的を達成するには		→ 研究機関による調査 □ 統廃合できる ¬ ▼		る 🕤 📗 統廃合で	きない 🕤	□連携できない 🤝
	以外他に方法はないとの統廃合ができる	か?類似事業と	外部調査機関等に委託するこ	とにより市だ	が実施する必要がなくな	る。	
	の連携を図ることに が期待できるか?	より、 成未の 円上	┃) (
	事業費の削減	余地	□削減余地がある【理日		☑ 削減余地がない	【理由】	₽
効率	成果を下げずに事態 いか?(仕様や工法の協力など)		 事業費については,作業に必 削減は不可能である。 	要な最低隊	艮の消耗品費 , 光熱費 , [:]	手数料,保	R険料,委託料しかなく,これ以上の
性評	人件費(延べ) 減余地	業務時間)の削	□ 削減余地がある 【理日		☑ 削減余地がない	【理由】	₽
	やり方を工夫して延減できないか?成り 正職員以外の職員 いか?(アウトソーシ	果を下げずにより や委託でできな	常勤職員は別事業との兼務か減できる。但し,原因者の経費				委託することによって業務時間を削
公平	受益機会·費戶 化余地	用負担の適正	■ 見直し余地がある 【理	曲)力	▼ 公平・公正である	【理由】	₽
性評		ないか?受益者	文化財保護法に則って実施す	る事業では	ҕӈ,公平性は保たれてい	1る。	
	評価結果の総括の2012年1次評価者として				N 【担当記 張り返り、反省点)	果長記入	ii)
(')	目的妥当性	☑ 適切	□ 見直し余地あり 📥	ן דונטאידין -	从 () 起 八 (人 日 州)		
	有効性 効率性				める上でも委託等による 費の増加が見込まれるの		の活用を図る必要がある。しかし, 要する。
L	公平性	☑ 適切	□ 見直し余地あり				
(3)	今後の事業の方原止 □ 休止目的再設定事業統廃合・連	■ 事業 <i>0</i> ■ 事業 <i>0</i>	案)・・・複数選択可 うやり方改善(有効性改善) うやり方改善(効率性改善) うやり方改善(公平性改善)		伏維持 通りで特に改革改善をし	(房	改革・改善による期待成果 発止・休止の場合は記入不要) ・・・・
作	改革改善案 > 業従事者の専門性の	ー D向上を図り, 現地	調査の迅速化を行う。業務の-		に委託して効率化を図る	5.	向上 成維 果 低 下
			すべき課題(壁)とその解決: 苦慮している。文化財包蔵地の		底し, 長期的な計画を組	み立てられ	れるように図る。

		平成	20	年度		事務	8事業評価シ	-										
No.	1250-250	事	務 -	 方内遺跡	木石空 章刃 章	丰業						所	属		教育部			
INO.		事業	Á									所	属		文化抗			
政策	政策名			磨きある								課	長		川原			
体系	施策名			文化の										(係)			ループ	
1173	基本事業名			財の保			VIV	電話番号 42-1111(11(5	201.52	02)		
子	·算科目	会計 一般	款 1	項 0 0 6	目 0 7	事業 158010	事業名 文化財整備											
	事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業														事業	ξ期Γ	晢	
	大隅国分寺跡、大隅正八幡関連遺跡(社家館跡等)の範囲や遺構の確認、さら 得るため、発掘調査(確認調査)を行う。									構のた と	めの基礎	資料を	: [二 単	単年度の	み		
					発行 為 (こ対応するた	めの緊急埋蔵文化	財発堀	餌さ	を宇が	すする			_ "	, 			
	国分寺跡及る							#J 7€3/ŒI	叩上	1 C 大川	B9 Ø₀			V \$	4年度繰			- + \
	正八幡(鹿児													□ #	間限定		H 11年7年度	- [及~)
緊急	埋蔵文化財	発掘 調1	1 (国)	車補助す	1心分)(の実施。								<u>L</u> , #		下度 xx F度 ·		年度)
1 現	状把握の部	(DO)											_			1,20		1 12
(1)事	務事業の目	的と指	標															
	段(主な活動									活動	指標(事			舌動量	を表す指	標)		
	度実績(20:		行った	と主な流	5動)							名	邭					位
	3分寺跡発掘 5八幡宮関連3		勝寺	氏館跡):	発掘調:	杏⋅報告書作	¬ ₺		ア	範囲	確認調	査の数	(整	理作	業含む)		1	牛
	部レーダー技					才発掘調査	~~	\ \ \										
21年	度計画(21:	午度に	計画	1.7112	土から	壬重九 /			1	緊急	埋蔵文作	化財発	掘	周査の)数		1	牛
	分寺跡発掘						·	,										
	蔵文化財発								ウ									
	象(誰、何を						等			対象:	指標(対	象の大	きさ	を表す	指標)			
	分寺跡、大阪				家館跡	等)						名			- 100	- 1111		位
うりの	ある周知の均	匿威乂化	別包												る遺跡の)数		牛 i所
									イウ		の埋蔵に	又化规	민	蚁心.	グダン		卢	I <i>Р</i> Л
音	図(この事業	によっ	7 . ♦	付象をと	う変え	るのか)		1	.,		指標(対	象にお	ける	音図の	の達成度	を表	す指標)	
							範囲や遺物・遺構			13.6.7K.		名			沙庄以及	275		位
の残存	の残存状況を把握する。調査成果をもとに、史跡整備を図る。										の埋蔵に							所
								,	1		遺跡調	查(緊)	急対	l応)σ)数		1	牛
<i>u</i> +	田 / じ / ナヘルナ	- FI I - 4-1	-71/-	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	41)			-	ウ		# FEE +15 +1	西 / / + =	<u>ا م ن</u>	* - + - +	<i>+</i> = + + +	+# /		
結果(どんな結果に結び付けるのか) 適切に保存し、後世に残す。										<u>工1</u> 以力	从未括例			主队皮	を表す指	(宗)	1	位
12 V) IC	適切に保存し、後世に残す。									名称 マスタンカテいる文化財の数					i 6fc			

								_	🗼 ア 保仔され	ている文化財の数	固所
								_	┩ イ		
									ウ		
(2)	総	事	業費·指標等		単位	18年度	19年度	20年度	21年度		
'			の推移	3	平四	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)		
		財	国庫支出金	金	千円	3,300	4,500	3,250	3,500		
	毒	別	都道府県支出	金	千円	660	700	650	700		
	争	源	地方債		千円						
+л.	耒	源内訳	その他		千円						
坟	筫	汃	一般財源	į	千円	2,644	3,800	2,600	2,810		
量		事	事業費計 (A		千円	6,604	9,000	6,500	7,010		
里							·				
				ア	件	3	2	2	2		
		活重	肋指標	1	件	5	3	2	3		
				ウ							
				ア	件	2	2	2	2		
		対象	食指標	1	箇所	516	516	518	518		
				ウ							
				ア	箇所	3	2	2	2		
		成月		1	件	5	3	2	3		
				ウ							
				ア	箇所	664	665	667	807		
	上	位反	艾果指標	1							
				ウ							
(3)	車	終日	1業の環境2	亦化	′ 住民	音目笙		<u> </u>		•	-

|(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

大隅国分寺跡の整備を図るための範囲等確認を平成11年から国庫補助を導入し開始した。また、大隅正八幡(鹿児島神宮)の範囲確認調査も平成12年度 から補助事業を導入し実施している。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? -時期に比べ、開発行為(特に個人住宅)が増えてきており、確認調査の件数も増加傾向である。

範囲確認調査や緊急発掘調査の実施により多くの遺跡に関する調査結果が得られた。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

国(文化庁)や県の担当者並びに大学教授等の専門家から高い評価を受け、詳細な調査や遺跡保存の必要性の指摘を受けている。 一方、開発行為者(事業者)からは迅速な対応を求められている。

	事務事業名	市内遺跡確認	事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
2	評価の部(SEE) 政策体系との		価、ただし複数年度事業は ■ 見直し余地がある【理		☑ 結びついてい	る【理由】	₹
目		い?意図すること					はを保存・整備することにより、市民が深まるとともに、文化財を大切に
的妥	公共関与の女		□見直し余地がある【理	曲)る	☑ 妥当である【	理由】 🕏	
性評	なぜこの事業を市からないのか?税金をする目的か?	「行わなければな ・投入して、達成	文化財の保護と活用は、地方 の保護・整備は市が行わなけ			也方公共団体	なの責務と規定されており、文化財
価	対象・意図の多	妥当性	□見直し余地がある【理	曲)之	☑ 適切である 【	理由】 🕤	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		大隅国分寺跡、大隅正八幡間 いるところであるので、早急な			化が進む中	で、遺跡の破壊・消失が懸念されて
	成果の向上余	地	▼ 向上余地がある 【理日	⋣] →	□ 向上余地がな	い【理由】	⊅
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 原因で成果向上	発掘調査に光学機器やコンと し、機器類の導入には費用も		を導入して、発掘調査	至の精度や対	7率を上げることが可能である。 但
有	廃止・休止の原	成果への影響	□影響無 【理由】 🖜		▼ 影響有 【その	内容】 🕤	
効性評	事務事業を廃止・休響の有無とその内容		 両遺跡とも市街地にあり都市位	化が進んで	きている。このままのお	忧態でおくと、	遺跡の破壊・消失が懸念される。
価	類以事業との	統廃合·連携の	□ 他に手段がある(具体	的な手段,	事務事業)		
	可能性 目的を達成するには	は、この事務事業	│	連携できる	る 🕤 に 統廃合	できない 🕤	■連携できない ラ
	以外他に方法はない との統廃合ができる の連携を図ることに、	かっ類似事業と	本事業は文化庁の「市内遺跡業は他にはない。	· 発掘調査」	を導入しており、費用	で 6割が国∵	
	が期待できるか?	△ +₩	✓他に手段がない【理由			I. ITBd.	
	事業費の削減成果を下げずに事業		□ 削減余地がある 【理日	•	☑ 削減余地がな		•
効率	いか?(仕様や工法 の協力など)	の適正化、住民	導入も難しいので、作業効率	も悪く、事業	り、また現地は市街地 費削減は厳しい。	で住宅等に	囲まれた場所が多く、大型機械の
性評	人件費(延べ業 減余地	業務時間)の削	☑ 削減余地がある 【理日	∄] →	□ 削減余地がな	い【理由】	₽
	やり方を工夫して延 減できないか?成果 正職員以外の職員・ いか?(アウトソーシ	見を下げずにより や委託でできな	測量機器の導入、石器・土器 託などに伴う費用は必要となる	などの遺物 る。	実測の委託など、職員	負の事務量の	軽減を図ることができる。 但し、委
公平	受益機会·費用 化余地	用負担の適正	■見直し余地がある 【理	曲)。	☑ 公平・公正であ	5る【理由】	7
性評	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者		文化財保	護法で地方公共団体の		色濃く残すものである。文化財の保 どされており、これらのことを考慮す
	評価結果の総括の 1次評価者として		(次年度計画と予算への反		(担当 ほり返り、反省点)	á課長記入	(m)
(1,)「八計画音として 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	適切適切適切	□ 見直し余地あり□ 見直し余地あり● 発掘	調査におけ	る精密機器の導入や		製図等の業務委託の推進により、 I査を実施するように検討していく。
) 今後の事業の方[▼ 事業 <i>0</i> ▼ 事業 <i>0</i>	案)・・・複数選択可 のやり方改善(有効性改善) のやり方改善(効率性改善) のやり方改善(公平性改善)		伏維持 通りで特に改革改善を	(月	改革・改善による期待成果 発止・休止の場合は記入不要
調か討	査の精度、特に測量 、機器類を持っていて	て、単なる測量技術	吏用しているため、精度が落ち 桁だけではなく、埋蔵文化財専 入するか、委託を推進するかは	門の測量員	がいる業者に委託す	るか検	上 成維 果 析 低 下
機委	器の購入には大きな 託業務の場合は、測	費用負担を要する 量、遺物実測、測	すべき課題(壁)とその解決 3。また、機器を使用するのは 3。まで、機器を使用するのは 量・実測図の製図等まで一括 を実施した場合、職員の人件	戦員であるた してできるた	め、職員の事務量は		らない。 長期的に考えると費用はかかるが、

意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

単位

千円

千円

千円

千円

千円

千円

件

件

件

件

ァ

1

ウ

ァ

1

ア

ゥ

対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等

18年度

(実績)

2,539

2.539

0

0

0

0

0

0

664

19年度

(実績)

5,304

5.304

3,630

12,890

0

0

400

665

0

実測・接合し時代別に整理する

文化財

結果(どんな結果に結び付けるのか)

の推移

国庫支出金

都道府県支出金

地方債

その他

<u>│ 一般財源</u> 事業費計 (A)

適切に保存し、後世に残す。

(2) 総事業費·指標等

活動指標

対象指標

成果指標

上位成果指標

財

事源

業内

投費訳

틅

				ź	3称			単位				
		ア	発掘の面	積				m²				
	\	1	調査する	文化財	の数			件				
		ウ										
			対象指標	票(対象の	大きさを	表す指標)						
				술	3称			単位				
	<u>→</u>	ア	発掘され	た遺物の	D数			点				
	7	1	調査した	文化財	D数			点件				
		ゥ										
			成果指標	更(対象に	まを表	す指標)						
			PAZICION.	(人) (人) (人) (人) (人) (人) (人) (人) (人) (人) 	2 6 70	単位						
_	1	ァ	整理した			点						
_	┥	イ	調査した			件						
		÷	門旦した	✓ 10,710	7 8 8			11				
		•	上位成里	指煙(丝	里の達用	成度を表す指	に押し					
			工业水本	<u> </u>	来の足/ 3称	現安で1891	日1 示 /	単位				
		マ	保存され	アルスヤ	<u> 11か</u> 7化財か) 坐灯		件				
	>	イ	MITCIO	((10)	(10#JV.	/ XX		П				
	,	コウ										
1			年度									
			テルス 見込)									
8			5,608									
8			5,608									

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

合併前に福山・隼人地区において開発行為に伴う埋蔵文化財発掘調査を実施した。調査は終了したが整理作業をを行い、報告書を作成する必要がある。 また、確認調査で発掘された資料を公開するため、年次的にその成果をまとめた資料が必要である。

20年度

(実績)

5,338

5,338

6,000

2,500

0

0

500

667

0

6,000

2,500

0

0

500

807

0

事務事業を取り巻〈状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 開発行為に伴う発掘が増えている。

|埋蔵文化財担当職員の他部署への異動や仕事量の増加によって、発掘調査を単年度で完了できなくなってきている。

<u>この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?</u> 公共工事・民間開発行為者から、迅速な対応をして欲しいとの要望がある。

	事務事業名	埋蔵文化財発	掘調査事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
2	評価の部(SEE) プ 政策体系との整		位、ただし複数年度事業は ■ 見直し余地がある 【理	途中評価 由】 ⋝		「いる【理由】「	₽
目	この事務事業の目的 策体系に結びつくか が結果に結びついて	、? 意図すること	文化財保護法に則した事業で	あり妥当で	ある。		
的妥	公共関与の妥	当性	□見直し余地がある【理	申】之	☑ 妥当である	3【理由】 🞝	
	する目的か?		開発に伴う発掘調査で得られる。 る。	た資料を公	表する記録保存に	は文化財保護法	こ則って行う必要があり,義務であ
価	対象・意図の妥	以 当性	■見直し余地がある【理	甲】之	☑ 適切である	[理由] 🤼	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		調査された遺跡・遺物について	ての実施で	あり, 対象・意図と	もに変える必要に	はない。
	成果の向上余	地	▼ 向上余地がある 【理由	1] 🕏	□ 向上余地 カ	がない【理由】「	⊅
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 原因で成果向上	整理工程の見直し,民間業者	の活用など	によって効率的な	作業が可能であ	ెం.
有	廃止・休止の原	以果への影響	□影響無【理由】 🖜		☑ 影響有【-	その内容】 🕠	
効性評	事務事業を廃止·休響の有無とその内容		文化財保護法に則って実施す	⁻ る事業であ	5り,廃止・休止す	ることはできない。	,
価	類似事業との約 可能性	統廃合·連携の	▼ 他に手段がある(具体				
	目的を達成するには 以外他に方法はない		緊急埋蔵文化財発技☑ 統廃合できる ☑ 統廃合できる			を合できない 🕤	■連携できない 🕤
	との統廃合ができる。 の連携を図ることに。	か?類似事業と	現地調査時に単年度で終了す	「るように経	費・人員等の適正	こな配置を行うこと	によって本事業は不要となる。
	が期待できるか?	수 배	□他に手段がない【理由 □削減余地がある【理由		口 削減会地	がない 【理由】	<u> </u>
効	が果を下げずに事業 いか?(仕様や工法の協力など)	 養費を削減できな		・ 要な最低限			◆ 遺,手数料,保険料,委託料しかな
率性	人件費(延べ業	美務時間)の削	▼ 削減余地がある【理由	1] 3	□ 削減余地点	がない【理由】	₽
	減余地 やり方を工夫して延 減できないか?成果 正職員以外の職員・ いか?(アウトソーシ	具を下げずにより や委託でできな	常勤職員は別事業との兼務が できる。	多く,厳い	ハ状況であるが , ӭ	業務の一部を委託	そすることによって業務時間を削減
公	受益機会·費用 化余地	月負担の適正	□見直し余地がある【理	申プ	☑ 公平·公正	である【理由】	₽
評	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	文化財保護法に則って実施す	⁻ る事業であ	5り, 公平性は保た	たれている。	
	評価結果の総括と1次評価者としての				l) (: 辰り返り、 反省点	担当課長記入村	
(')	目的妥当性	☑ 適切	□ 見直し余地あり 🛶	. r+∵w∪J□ (1.	成分险头 以目示	N J	
	有効性 効率性				める上でも委託等 費の増加が見込ま		D活用を図る必要がある。しかし, 要する。
	公平性	☑ 適切	見直し余地あり				,
< i		■ 事業の ■ 事業の	案)・・・複数選択可 のやり方改善(有効性改善) のやり方改善(効率性改善) のやり方改善(公平性改善)	(従来)	犬維持 通りで特に改革改	(房 善をし ない)	改革・改善による期待成果 <u>関止・休止の場合は記入不要</u>) コスト 削減 維持 増加
すってす	る。現地調査時おいる 効率化を図る。	て単年度で終了す	配置を行い,効率的な事業を行 たるように経費・人員等の適正な	配置を行う			上 成維 果持 低 下
			すべき課題(壁)とその解決貸 苦慮し,合併効果が活かされてし				

		איו ו	20	T1X		大口三					
No	. 1250-270	事	務文化	化財整備事業					所属		
		事業	Ti I						所属		
政領	政策名			きあうまちづくり						長名 川原禾	<u> </u>
体系	1 他來名			化の保存・継承	ζ				所属(
	基本事業名			の保存・整備	= **	= * 4			電話	番号 42-1111	
	予算科目	会計 一般	款 1 0		事業 58090	事業名 文化財保護	費	—— 法令 —— 根拠 ^霧	島市文化財化	保護条例	
事務	事業の概要		りなやり	方、手順、詳細	。期間限定複	数年度事業	は全	体像を記述)		事業期	間
市内	の文化財を後	世に残る	すため、フ	文化財の修復、復	元、養生、整備	や文化財周辺	┚の環	境整備を行う。	また、文化財	□ 単年度のみ	
の由	来などを記した	:説明板	を設置す	する事により、見学	者に対して文化	ど財を正しく理	解して	こもらう。			
	環境整備とは	文化則	才整備を	終えた文化財の約	注持管理のことを	El 15。				☑ 単年度繰返	0 左座)
										□ 期間限定複数 □ 期間限定複数	S 62 年度~)
										│ 期间限足後数 │ 年度	
1 3	見状把握の部	(DO)								→ (+ <i>i</i> &	十 <i>i</i> 又)
(1)	事務事業の目	的と指	標								
	手段(主な活動							活動指標)活動量を表す指標)	W / L
20	年度実績(20 指定[喜麻神社	牛皮に	行った	<mark>王な沽動)</mark> ガシ枝木剪定	県指定「旧田	中家则职, 雨			名称_		単位
漏修				カクヤスボタル 主 文化財説に		霧島神宮		ア 整備した	文化財の数		件
	修復事業						\ \				
21	年度計画(21	年度に	計画し	ている主な活動)		\Rightarrow	イ設置した	文化財説明	板・標柱の数	ヵ所
	·							ウ 環境整備	備を実施する:	文化財の数	件
		* /2 -		= - t. \	+ h1 \m \T hh						11
	<mark>付家(誰、何を</mark> ○の文化財	対象に	こしてい	るのか) * 人や	目然貿源等			对家指标	票 <mark>(対象の大きる</mark> 名称	さを表す指標)	単位
1 12 12 3							\Rightarrow	ア市内文化			カ所
							7		量を実施する:	文化財の数	件
								ウ			
				象をどう変えるの				成果指植		る意図の達成度を表	
	.財の登禰(又16 .財について解語			元、養生や文化財 服を提供する。	向辺の登備)を	ചടം		ア整備した	<u>名称</u> :文化財の数		<u>単位</u> 件
	1,701 C 2 V . C 10+1	,,,, O (III	ты оли	K C JÆ J () U			\Rightarrow			板・標柱の数	ヵ所
								ウ環境整体	備を実施した?	文化財の数	ケ
4	結果(どんな結	果に終	詰び付け	けるのか)				上位成果		達成度を表す指標)	W/4-
又化	財を適切に保る	仔し、後	世に残る	7 .				フ促方され	<u>名称</u> にいる文化則	はの粉	単位 件
								7 体行で1	I C V 10 X 10 H	N O X	IT
							,	ن			
(2)	総事業費·指標		単位	18年度	19年度	20年度		21年度			
-	日佳士	性移	千円	(実績)	(実績)	(実績)		(見込)			
₋	別一歩		千円			9:	20				
4	^事	i債	千円								
投聲	書訳 その	他	千円	0.47	388	4.0	0	0			
λ	一般原 事業費計		千円	817 817	1,764 2,152	1,98 2,90		2,204 2,204			
量-	于未具川	(A)	113	017	2,102	2,0	J-T	2,204			
₽₽		ア	件	4	3		4	2			
	活動指標	7	力所	25	24		20	12			
	VII.2007.101	ġ	件	43	45		46	45			
	114 15 1 4	ア	カ所	664	665		67	807			
	対象指標	イ ウ	件	43	45	•	46	45			
-		- ア	件	4	3		4	2			
	成果指標	1	力所	25	24		20	12			
<u></u>		ウ	ケ	43	45		46	45			
	上位成果指標	ア	件	664	665	6	67	807			
-	1. 1.1以末111保	<u> イ</u> ウ					+				
(3)	事務事業の環		と·住民:	意見等					I	1	1

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

見学者のために、文化財周辺を含めた環境整備や文化財の正確な情報を提供する目的で説明板を設置した。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

風水害等による破損や、老朽化による取替えが毎年発生している。 草払い等を実施することにより、ゴミの放置が少なくなった。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

文化財の経緯等が、説明板でわかったという声が寄せられている。 草払い等掃除することにより、きれいになったという声が寄せられている。

	事務事業名	文化財整備事	業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
2	評価の部(SEE) を 政策体系との割		望価、ただし複数年度事業 ■ ■ 見直し余地がある 【			いる【理由】	₽
	この事務事業の目的 策体系に結びつくかが結果に結びついて	い?意図すること	文化財の修復、復元、養生は、文化財を適切に保存し、		境整備も含む)を図		* 引着板で見学者へ情報提供すること
的妥	公共関与の妥		□見直し余地がある【	理由)之	▼ 妥当である	」(理由) 🖜	
評	なぜこの事業を市からないのか? 税金をする目的か?	が行わなければな 投入して、達成	文化財は、長い歴史の中で、 備し、広〈市民へ知らしめ、私				重な財産である。当市の財産を整
価	対象・意図の多	妥当性	■見直し余地がある【	理由】 🦜	☑ 適切である	」(理由) 🖜	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		市全域の文化財を対象として し、市民へ情報発信し、後世	に伝える必	要があることから意	図も適切である。	
	成果の向上余	地	▼ 向上余地がある 【理	由」	□ 向上余地か	がない 【理由】	⊅
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 原因で成果向上	文化財への認識が薄く、関心 かを認識してもらい、文化財				文化財がいかに貴重なものである 図られる。
有	廃止・休止の原	成果への影響	□影響無【理由】		☑ 影響有【名	その内容] 🤼	
効性評	事務事業を廃止·休響の有無とその内容		文化財が滅失や損傷の危機 想の低下につながる。	にさらされる	ことはもちろん、見	.学者への情報扱	是供もされず、市民の文化財愛護思
価		統廃合・連携の	□ 他に手段がある(具体	本的な手段	事務事業)		
	可能性 目的を達成するには 以外他に方法はない		□ 統廃合できる つ □	連携でき	る 🕤 🗌 統廃	そ合できない 🕤	□連携できない
	との統廃合ができる の連携を図ることに	か?類似事業と	他事務事業及び類似事業か	ない。			
	が期待できるか?	今 ₩	▼他に手段がない【理			<u> </u>	
			■削減余地がある【理	田) 🍑	▶ 削减未地人	がない 【理由】	→
効率性	成果を下げずに事業 いか?(仕様や工法 の協力など)	の適正化、住民	現在、文化財の保存のため 備対象を増やしていく必要が		れ以上の削減余均	也はない。	後、文化財活用の面から考えて整
評	減余地		┃	•		がない【理由】	·
1四 	やり方を工夫して延減できないか?成果 正職員以外の職員 ² いか?(アウトソーシ	や委託でできな	本事業は概ね委託により実施定、契約事務、検査を行って	色している。 おり、節減・	事業に関する人件! 節約はできない。	費については、タ	少人数で仕様書作成、委託先選
公 平	受益機会·費用 化余地	用負担の適正	□見直し余地がある【	理由) 🥕	✓ 公平·公正	である【理由】	Ð
性評	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	文化財は国民共有の財産で	あり、受益者	背は広⟨市民となる <i>†</i>	ため、公平・公正	- : である。
			(次年度計画と予算への)			担当課長記入	
(1)	1次評価者として 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	■ 適切■ 適切■ 適切	□ 見直し余地あり → 文化	財の現状、 性の確保と		財を的確に捉え	ながら、事業の内容等を工夫し、 わせて市民への普及の方法も検討
(3)	□ 廃止 □休止	▼ 事業の	案)・・・複数選択可 Dやり方改善(有効性改善)		状維持	(改革・改善による期待成果 隆止・休止の場合は記入不要) 「、
< i	■ 目的再設定 事業統廃合·連接 改革改善案 >		Dやり方改善(効率性改善) Dやり方改善(公平性改善)	(1止米	通りで特に改革改	音でしない)	**・・・
を打	巴握し、必要な対策を	を講じる。	と財巡回指導員や地域住民				成維
X.	化財 説明 有板で標的	Eを設直すべき場	所、取替えが必要な場所等を	世 怪 し、 優	七順位をつけ、対応	30 C () (.	果 <u>持</u> 低 下
台	虱や自然災害等によ	り被害を受ける文			見られた職員で確認	!することは難し!	ハ。日頃から地域住民が文化財に
対	して関心を持つような	:意識作りが必要:	である。				

		平成	20	年度		事務	事	業評価シ	-	•								
No	. 1250-290	事	務埋	蔵文化	(財保護事										属部			
		事業	<u> </u>												属課	文化振		1
政領		0 4			まちづく! 保存・継承										長 名 G(係)	川 原 文化財		<u> </u>
体系	基本事業名				^{末1子・終月} 字·整備	-\									话番号			
	坐个手来口	会計		垣		事業		事業名			法令	₹/				72 111	<u>'</u>	
	予算科目														、 保護条	:何		
事系	 	具体的	的なやじ	】 〕方、手		」。期間限第	定複	数年度事業	は全	体修	_				1	事業	期間	
霧峊	市に点在する、	埋蔵ゞ	文化財(周	引知の均	里蔵文化財	包蔵地)を	後世	に残すため、	民間	開発	業者や	公共(i 🗍	単年度のみ		
と埋え	蔵文化財の保護	と事業	美の推進	を図るた	とめ、早期(の段階で調	整を	行い、できうる	限り	遺跡	を守るた	:めの	措置を	を行	_ ,	¥ /= 	_	
٥,															✓	単年度繰返 □_		7 年度~)
																明間限定補		
															□ (·····································	~ 年度
	現状把握の部		S+==															
	事務事業の目 手段(主な活動		日信								活動	指標	事務	事業(の活動量	を表す指標	票)	
20	年度実績(19年	手度に												名称	7			単位
	埋蔵文化財発掘]発部局·民間開				ī					7				或文化	と財の種	無につい	١	件
171.		170 7K 1	当 C V が り	Æ							て確認	必し /6	二安义					
21	年度計画(20年	王度に	計画し	ている	主な活動	1)			5	1	開発	則と協	協議し	た数				件
t1	里蔵文化財発掘	調査の	の手引き	の配布		, ,			,		1 問 ※ 1	- /半 :	発振	油本	を実施	1. #= 米/1		件
	発部局·民間開					± 51.272.00	h-h-											IT
	<mark>付象 (誰、何を</mark> だ 知の埋蔵文化則				') *人や	目然資源 [®]	寺				对家?	省標	(対象	<u>の大き</u> 名称	さを表す	指標)		単位
	発中において新) T	周知(の埋え	蔵文伯		卫蔵地(D数		箇所
									,	1								
7	意図(この事業	17.上。	って対	象をど	う変えるの	カか)				כי		岩煙	(対象	におけ	†ス音図	の達成度を	表す指	
坘	!蔵文化財を保護						変更な	などを事前に						名称	ζ.	0万足10人1又已	. 10 7 10	単位
協議	する。 の協議を実施し	ても破	は壊される	る遺跡に	ついては	発掘調査を	: 彳亍 L . \	記録保存と	5	' -	7 開発(7 発掘							件件
して	遺跡を後世に残		X 40X C 1 0 6		- 201016	元川明旦で	. 1 J V 1		,	7		问 直	と夫月	也した	žχ			1+
	結果(どんな結				か)							以果 扌	旨標(を表す指標	(
文化	が財を適切に保存	字し、後	食世に残っ	す。						-	7	t th 7	71 \ Z	名称	r 財の数			<u>単位</u> 件
									=	7		2100	C 1 10	XIU	H/J V/ 4X			IT
(0)	W=## 1618	II	Ī	1 40	左座	40Æ	-	00左座		Ċ								
(2)	総事業費・指標 の推	詩	単位		3年度 実績)	19年度 (実績)		20年度 (実績)			1年度 (見込)							
П	田 国庫支	出金	千円	,		(> < 11.52)		15-6000)		,	,							
I	事源		千円															
投賃	まり その	他	千円															
入	一万又只		千円		450		0		0			0						
量-	事業費計	(A)	千円		450		0		0			0						
-									_			-						
H		ア	件		235	1	175	34	10		20	00						
	活動指標	1	件		15		10	1	16		,	15						
		ウア			5 516	Į.	5 516	51	8		5	6 19						
	対象指標	1	•		310		,,,,											
-		ウ	1		4.5		10		6			10						
	成果指標	アイ			15 5		10 5	1	8			10 5						
		ウ	1															
	上位成果指標	アイ			664	(665	69	95		80)7					-	
1 -	上山水木徂伝	11		i											1		1	

ウ (3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

開発に伴う埋蔵文化財の無秩序な破壊が進む中、文化財保護法の規定が整備され、当地域においても昭和50年代から発掘調査のニーズが高まり、昭和6 0年から専門職員を配備し埋蔵文化財保護に努め、現在にいたっている。

事務事業を取り巻〈状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

霧島市は宅地造成など開発が多く、そのため年間をとおして埋蔵文化財の有無の問い合わせや試掘調査・確認調査の依頼が多い。年間数件の試掘調査・確認調査・本調査を実施している。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

郷土の歴史や文化、とりわけ考古学についての関心は高い。当該地域は県下でも開発行為が多い地域であり、民間開発業者においても埋蔵文化財の有無についての関心は高い。

	事務事業名	埋蔵文化財保	護事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
2	評価の部(SEE) ⁷ 政策体系との整		位、ただし複数年度事業は □ 見直し余地がある 【理		☑ 結びついている	【理由】 「	<u>⊅</u>
	この事務事業の目的 策体系に結びつくかが結果に結びついて	りは市(町)の政 \?意図すること	埋蔵文化財を保護するため、 埋蔵文化財を保護するため、「	・ 開発行為の	ーー 一部見直しや一部計画	i変更などる	▼ を事前に協議し、協議しても破壊さ で、文化財の適切な保存に結びつ
的妥	公共関与の妥	当性	■見直し余地がある【理	曲)	▼ 妥当である 【理	由」	
評	らないのか?税金を する目的か?	行わなければな 投入して、達成		すの保護に	ついては、開発部局や	民間の開発	で定められているので、市が実施 Ě業者との調整だけでは費用はか っていく。
価	対象・意図の姿	妥当性	□見直し余地がある【理	曲)之	☑ 適切である 【理	申プ	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		周知の埋蔵文化財包蔵地にあるないので、件数は年度ごとに				って遺跡の有無を確認しなければな 更はない。
	成果の向上余	地	□ 向上余地がある 【理由		▼ 向上余地がない	【理由】	₽
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 原因で成果向上		まうため、「			明であるため、件数の多い年度、少 かない。個々の件に関して、それぞ
有	廃止・休止の原	以果への影響	□影響無【理由】		▼ 影響有 【その内	容] 🦜	
対性評価	事務事業を廃止・休 響の有無とその内容		埋蔵文化財や包蔵地内での関 しなければならないものであり、				とは、文化財保護部局としては当然 §止・休止することはできない。
ПЩ	類似事業との紹 可能性	統廃合·連携の	□ 他に手段がある(具体	的な手段,	事務事業)		
	目的を達成するには以外他に方法はないとの統廃合ができる	1か?類似事業	□ 統廃合できる 🕤 🔲	連携できる	3 🦜 □ 統廃合で	きない 🕤	□連携できない 🕤
	の連携を図ることに		類似事業はない。				
-	が期待できるか?	수배	✓ 他に手段がない【理由✓ 削減余地がある 【理由		▼ 削減余地がない	加出	
効率	成果を下げずに事業 いか?(仕様や工法 の協力など)	 養費を削減できな		11 🕕	✔ 削減赤地がない	(连田)	₹.
性	人件費(延べ業	美務時間)の削	□ 削減余地がある 【理由	3 5	☑ 削減余地がない	【理由】	₹
	<mark>減余地</mark> やり方を工夫して延 減できないか?成果 正職員以外の職員 いか?(アウトソーシ	見を下げずにより や委託でできな	地方公共団体等の場合は、開 対応するしかないので、削減す			合は不透明	月であるため、現在いる職員の中で
公	受益機会·費用 化余地	月負担の適正	□見直し余地がある【理	画	☑ 公平・公正である	[理由]	₽
評	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	埋蔵文化財の手引きに関して 方面に行き渡っている。公平・			部等でも配	布していただいているので、様々な
3	評価結果の総括の	と今後の方向性	 			果長記入	
(1)) 1次評価者として(目的妥当性	の評価結果 ☑ 適切	(2) 全 「見直し余地あり	:体総括(技	振り返り、反省点)		
	有効性 効率性 公平性	▼ 適切 ▼ 適切 ▼ 適切	見直し余地あり 一民間界	な業務を持		うな協議の	急を要する件がほとんどである。ス D業務が必要になる。また、冊子を らうことができる。
(3)) 今後の事業の方[句性(改革改善	案)···複数選択可	= 10.	11544.14		改革・改善による期待成果
<	☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合·連打 改革改善案 >	事業の	Dやり方改善(有効性改善) Dやり方改善(効率性改善) Dやり方改善(公平性改善)		伏維持 通りで特に改革改善をし		※止・休止の場合は記入不要)コスト前減 維持 増加点成 維
							果持低下
(5))改革、改善を実現	する上で解決す	すべき課題(壁)とその解決	策			

また、それぞれの郷土館が持つ資料などを活用して、特別展・企画展・郷土館収蔵品展等を実施する。併せて、市内 の5つの郷土館等施設や文化財等のネットワークを図り、スタンプラリーを行い、市内の特色ある歴史・文化に触れ、 郷土への造詣を深めることを目的とし、郷土館等施設の入館者の増加に努める。

単年度のみ

単年度繰返

┗ (S 54 年度~)

期間限定複数年度

年度~ 年度)

1 現状把握の部(DO

(1) 事務事業の目的と指標

手段(主な活動)

20年度実績(20年度に行った主な活動)

企画展「島津家の歴史をたどる」

郷土館収蔵品展「国分寺瓦が語る郷土の歴史」「まちの移り変わり

体験活動「ミニ門松づくり」 スタンプラリー「きりしまっ子!発見の旅」

21年度計画(21年度に計画している主な活動)

企画展「国分郷土館リニューアル展」 郷土館収蔵品展「活火山と遺跡展」

クイズラリーの実施 体験活動「ミニ門松づくり」

対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等

霧鳥市民

市民以外の人

意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

郷土の歴史・文化を学ぶ場の提供。

結果(どんな結果に結び付けるのか)

文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する。

		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
		名称	単位
	ア	開館日数	日
\Rightarrow	イ	特別展、企画展、収蔵品展等の開催回数	回
	ウ		
		115 1615	

対象指標(対象の大きさを表す指標) 単位 名称 ア 霧島市民の数

ウ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標

単位 名称 ア入館者数 イ スタンプラリーに参加した人数 ウ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

単位 名称 ア|郷土の歴史を学んだ市民の数

(2	2) 総	事美	養・指標等 の推移	2	単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)		
		財	国庫支出	金	千円						
	重	泊	都道府県支出	岀	千円						
	娄	源内訳	地方債		千円						
挖	一条	章日	その他		千円	115	106	86	93		
13,			一般財源		千円	5,191	4,441	4,675	4,529		
 	<u> </u>	事	「業費計(/	۹)	千円	5,306	4,547	4,761	4,622		
1=	-										
				ィ	田	314	311	315	313		
		沽 動	指標	1		6	5	6	4		
				ウ							
			11212	<u>ا</u>	人	127,615	127,773	128,128	128,383		
		对著	沒指標	1							
L				ウ		2.227	0.714	4.004	0.000		
			71K1=	ア	ᄉ	3,907	3,714	1,231	2,000		
		风果	!指標	1	人	107	222	123	240		
L				ウ		0.004	0.750	0.054	0.400		
		<i>/</i>	- m +k +#	ア	人	8,884	8,753	9,254	9,400		
	上	1 <u>小</u> 力	t果指標	1							
				ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

|昭和54年、国分の歴史·文化を正しく理解するとともに、郷土の貴重な資料を収集し後世に残すことを目的として、国分郷土館を建設した。

事務事業を取り巻〈状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 郷土館の主催事業として、企画展、郷土館収蔵品展(2回)、体験学習、スタンプラリーなどを積極的に実施しているが、入館者数は3500人~4000人と低迷 している。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

国分郷土館は城山公園(山頂部)の一角にあり、気軽に行ける場所ではない。

霧島市には同類の施設が5館あり、今後統廃合を含めた総合的な見直しが必要である。(平成20年3月に方針決定)

	事務事業名	国分郷土館管	理運営事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
2	評価の部(SEE) 政策体系との		「価、ただし複数年度事業」		•	加出	<u> </u>
目	この事務事業の目的 策体系に結びつくかが結果に結びついっ	りは市(町)の政 か?意図すること	■ 見直し余地がある [3 郷土の歴史・文化を学ぶ最長 理解することにつながる。 また、児童生徒の社会教育が	▼ 見の場所を提		化財への道	造詣が深まり、郷土の歴史を正しく
的妥	公共関与の妥	·当性	■見直し余地がある【3	理由】 与	▼ 妥当である 【理	由了	
当性評	なぜこの事業を市からないのか?税金を する目的か?	ヾ行わなければな ₹投入して、達成	地域の伝統・歴史について市 市が実施する必要がある。	5民に知る機	ᢤ会や学ぶ場を提供し、テ	市民の伝統	で文化に対する理解を深めることは
価	対象・意図の多	妥当性	■見直し余地がある【3	理由)プ	☑ 適切である 【理	由了	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		 霧島市民及び霧島市の歴史 	・文化を学び	びたい人を対象としてお!)、対象·意	[図ともに適切である。
	成果の向上余	地	▼ 向上余地がある 【理	由】 🧇	□ 向上余地がない	【理由】	₹
		がき水準との差 原因で成果向上	人々の興味をひく企画展や。 によって、来館者の増加が期		殳展示品の入れ替え等 を	そ行うこと、	またその広報活動に力を入れること
有	廃止・休止の原	成果への影響	□影響無 【理由】 🖜		▼ 影響有 【その内	容] 🤝	
効性評	事務事業を廃止・休響の有無とその内容		郷土の歴史・文化を学ぶ場だが滅失や損傷の危機にさらる				響する。また、収蔵されている文化財 D低下にもつながる。
価	類以事業との	統廃合・連携の			事務事業)		
	可能性 目的を達成するには 以外他に方法はない との統廃合ができる の連携を図ることに、 が期待できるか?	ハか?類似事業 か?類似事業と	られる。 また、隼人歴史民俗資料館、	連携できる 品展、スタン 隼人塚史跡	プラリー等の主催事業を	充実させる	ることによって、入館者の増加が図
	事業費の削減	余地	□他に手段がない【理E □削減余地がある【理		▼ 削減余地がない	(理由)	<u>5</u>
効率	成果を下げずに事績	業費を削減できな	_	・ 含するために	必要な最低限の賃金、欠	然料代、光	熱水費、修繕料、通信運搬費、手
性		業務時間)の削	□ 削減余地がある【理	由〕 🥏	☑ 削減余地がない	【理由】	⊅
	減余地やり方を工夫して延減できないか?成果正職員以外の職員・いか?(アウトソーシー)	具を下げずにより や委託でできな	郷土館管理運営は非常勤職	員と委託で	実施している。これ以上の	の削減はオ	「可能である。
公	受益機会·費用	用負担の適正	■見直し余地がある【3	理申] 🎝	☑ 公平・公正である	[理由]	₽
平	心赤地						
	事業の内容が一部は ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	霧島市民はも53ん、霧島市 る。	「の歴史・文∕	化を字ひたい人は誰でも	同じ料金	で入館でき、公平性は保たれてい
3	評価結果の総括の1次評価者として		(次年度計画と予算へのほ		N) (担当記 振り返り、反省点)	果長記入	
(1)	目的妥当性	- >			よる雨漏りで、資料の被	実が縣念さ	*h.3.
	有効性		☑ 見直し余地あり ┛ 人々	が歴史や文	化について今興味を持	っているこ	とや社会情勢を考慮し、企画展やイ
	効率性 公平性	✓ 適切✓ 適切	□ 見直し余地あり 「ベン」する。□ 見直し余地あり 「する。		、例の内谷で于段を上大	ソる。八割	官者の増加につながる方策を検討
(3)	今後の事業の方	向性(改革改善	案)・・・複数選択可				改革・改善による期待成果
	廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連 改革改善案 > 根の雨漏り修繕が必	□ 事業の 携 □ 事業の	0やり方改善(有効性改善) 0やり方改善(効率性改善) 0やり方改善(公平性改善)		状維持 通りで特に改革改善をし		発止・休止の場合は記入不要)コスト削減 維持 増加
霧地で常	島市内に郷土館等旅 域の特色を活かしたこ いる資料の発掘を行 設展示物資料の入れ	転設が5つあり、今 企画展やイベント う。また、各種イベ い替えを行い、わか	後、統廃合を含めた総合的な を実施するために、郷土館に ントについての広報周知を図 ハリやすい解説文をつけて展え ゕけ作りの事業を展開する。	収蔵している る。		三眠っ	成維果持低下
(5)	改革、改善を実現	見する上で解決す	すべき課題(壁)とその解決				
雨: 5 T	漏りは屋根全体に浸	透しており、全面作 見直しについてに	り、公共交通機関が整備され 多繕が必要であるため多額の は、各地域住民(郷土館等あり)	予算が必要		もの(文化	財保護審議会委員)の意見を徴集

			十八人	20	十反	尹仍尹	未計価ン	— I`				
No).	1250-320	事事業		川郷土館管理道	三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三				所 属		钽
	-	ひなり			きあうまちづくり	1				課長		
政策	策┡	政策名										
体	系上	施策名	0 4		て化の保存・継承					所属G		ルーノ
	ž	基本事業名	0 4		の活用	± W/	± W 5			電話	番号 42-1111	
	予算	算科目	会計 一般			事業 56010	事業名 郷土館管理	事業	—— 法令 —— 根拠 <mark>霧</mark>	島市立郷土館	官等の設置及び管	理に関する条例
事系	各事	業の概要の	具体的	内なやり	方、手順、詳細	。期間限定複	数年度事業	は全	体像を記述)		事業期	間
横川	地	域の歴史・民	俗資料	神の調査、	、整理、収蔵及び	資料の公開を行	い、郷土の歴	<u>・</u>	正しく理解する	とともに、故郷		,
に対	すし途	造詣を深める。)									
											🔽 単年度繰返	
											□ (S 63 年度~)
											□ 期間限定複数	
											┗(年度	~ 年度)
		犬把握の部		. I TT								
		多事業の目		i 標				1	ンエモホナビナ	= / 声观声光の	ぶも見とませれた	
		殳(主な活動 <mark>度実績(20年</mark>		そった	十 <i>ナ</i> パチ重九				/ 古里川 1日代	京(事務事業の 名称	活動量を表す指標)	単位
展示	・谷岩	支美線 (201 料の充実	十反に	-1 J J /C.	工体/白乳/							
		プラリー (国分類	郷土館	主催)					ア開館日数	攵		日
								١ ١				
2	1年	度計画(215	王度に	計画し	ている主な活動	1)		\Rightarrow	1			
		料の充実	1 /2 10	-пі — о	CV. G G/G	· /		,	_			
クイ	ズラ	リー							ウ			
	対象	象(誰、何を対	対象に	こしてい	るのか) * 人や	自然資源等			対象指標	票(対象の大きさ	を表す指標)	
		市民								名称		単位
₹	ī民l	以外の人						\Rightarrow	ア霧島市民	その数		人
								,	イ ウ			
	音区	別にの重業	I	って 対:	象をどう変えるの	D#\)				亜(対象におけ	る意図の達成度を表	すお煙)
		歴史・文化を				,			7-22/53017	名称		単位
									ア入館者数	攵		人
								,	1			
	4± E	艮(どんな結	m 1-4	士ァド/-+ !-	+2 O W)				ウト位は用		達成度を表す指標)	
		を学び郷土の							上世ル木	:JB1宗(紀末の 名称	<u> 達成反で衣り拍標)</u>	単位
- < 1		-, -,						_	ア郷土の歴	<u> </u>	市民の数	7
								\Rightarrow	1			
(a)	=	= 1K == 1K 1E	E 66	1					ウ	T.		
(2)	総制	事業費·指標 の推		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)		21年度 (見込)			
	В	国庫支		千円	(20132)	(> </th <th>(2 (1131)</th> <th></th> <th>(22/2)</th> <th></th> <th></th> <th></th>	(2 (1131)		(22/2)			
	事引	40° ¥ 0° 10 -	支出玄	千円			-		_			
	事業産費	内 地方の	<u></u>	千円		12			27			
投入量	費詰	沢 一般財	<u>他</u> お頂	千円	2,719	2,078	2,19	8	1,363			
싵		事業費計	(A)	千円	2,727	2,090	2,20		1,390			
重	丁											
-								_				
Щ.			ーフ	日	308	314	3′	11	310			
	浔	5動指標	1	П	300	314	<u> </u>	'	310			
	,,	1201110	j									
			ア	人	127,615	127,773	128,12	28	128,383			
	Ż	寸象指標	1									
			ウア	ı	178	239	28	26	263			
	ы	 以果指標	7	人	170	239		JU	203			
	137	~ ハンコロコル	<u> </u>									
			ア	人	8,884	8,753	9,25	54	9,400			
	上位	立成果指標	1									
			ウ									

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

昭和63年、横川の歴史・文化を正しく理解するとともに、郷土の貴重な資料を収集し後世に残すことを目的として、横川郷土館を建設した。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 入館者数が平成13年度225人で、5年間で約20%減少している。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 展示品や史跡の説明ができる人の配置が必要。

	事務事業名	横川郷土館管	理運営事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
2	評価の部(SEE) プ 政策体系との整		価、ただし複数年度事業 ■ 見直し余地がある □			ている【理由】	₽
目	が結果に結びついて	、? 意図すること	郷土の歴史・文化を学ぶ最 理解することにつながる。 また、児童生徒の社会教育				造詣が深まり、郷土の歴史を正しく
的妥	公共関与の女		□見直し余地がある	理由】 🕏	☑ 妥当であ	る【理由】 🕤	
哲	なぜこの事業を市が らないのか?税金を する目的か?	行わなければな 投入して、達成	地域の伝統・歴史について 市が実施する必要がある。	市民に知る機	その学ぶ場を提	供し、市民の伝統	を文化に対する理解を深めることは
個	対象・意図の妥	妥当性	■見直し余地がある	理由】 🦜	☑ 適切であ	る【理由】 🖜	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		霧島市民及び霧島市の歴気	史·文化を学び	びたい人を対象と	しており、対象・意	[図ともに適切である。
	成果の向上余	地	▼ 向上余地がある 【理	を は	□ 向上余地	がない【理由】	₹
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 原因で成果向上	人々の興味をひく企画展や によって、来館者の増加が		殳展示品の入れ を	替え等を行うこと、:	またその広報活動に力を入れること
有	廃止・休止の成	以果への影響	■影響無【理由】 🖜		▼ 影響有	【その内容】 🖜	
效 性 評	事務事業を廃止・休 響の有無とその内容		郷土の歴史・文化を学ぶ場 が滅失や損傷の危機にさら				響する。また、収蔵されている文化財 D低下にもつながる。
個	類似事業との希	統廃合・連携の	E 101-0 14110 17 - (21		事務事業)		
	可能性 目的を達成するには 以外他に方法はない との統廃合ができる。 の連携を図ることに	1か?類似事業 か?類似事業と	郷土館等主催事 続廃合できる 横川郷土館の企画展、国分 図られる。 また、関連施設との調整を図	▼ 連携できる 郷土館主催	のスタンプラリー 領	等の事業を充実さ	▶ ■連携できない ラ せることによって、入館者の増加が
	が期待できるか?	全地	□他に手段がない【理 □削減余地がある【理		□ 30点会址	がない【理由】	
效	成果を下げずに事業いか?(仕様や工法の協力など)	 養費を削減できな		・ 営するために	_		、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
率 性 評	人件費(延べ業 減余地	美務時間)の削	 ■ 削減余地がある 【理	曲】与	☑ 削減余地	がない【理由】	₹
		や委託でできな	郷土館管理運営は年間105 ただし、関連施設との調整が	日の委託契約 ができるのでも	約で実施している 5れば、削減余地	。これ以上の削減 はある。	は不可能である。
公平	受益機会·費用 化余地	月負担の適正	■見直し余地がある	理由)「つ	✓ 公平·公	Eである 【理由】	₽
性評	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	霧島市民はもちろん、霧島でる。	市の歴史・文作	化を学びたい人に	は誰でも同じ料金	で入館でき、公平性は保たれてい
	評価結果の総括と) 1次評価者として((次年度計画と予算への		N) 振り返り、 反省:	担当課長記入	(F)
(1)・八評価値として 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	☑ 適切	□ 見直し余地あり → 入食 □ 見声し余地あり → 入食	館者数に対し なが歴史や文	て、維持費が大き 化について今興	い。必要最低限の 味を持っているこ	の維持費用で削減の余地がない。 とや社会情勢を考慮し、企画展やイ 官者の増加につながる方策を検討。
<		▼ 事業の ■ 事業の	案)・・・複数選択可 のやり方改善(有効性改善) のやり方改善(効率性改善) のやり方改善(公平性改善)	(従来	状維持 通りで特に改革改	()	改革・改善による期待成果
地常	域の特色を活かした1 設展示物資料の入れ	企画展やイベント 替えを行い、わた	後、統廃合を含めた総合的なの実施と、その広報周知を図 いりやすい解説文をつけて展	る。 示する。	女(のる。		成維果持低下
5 -		見直しについては	すべき課題(壁)とその解 は、各地域住民(郷土館等あり)声や専門知識を	有するもの(文化	財保護審議会委員)の意見を徴集

		平成	20) 年	度			事	務	事業	評価	シー	- -											
No.	1250-330	事	務	雭皀凮	 萩史	足俗:	咨料	·館管理	軍	台車 当	Ě							属	部		育部			
110.	1200 000	事業	白							п Т л								属	課		化振			
政策	政策名	0 4	育₹	⊁磨き	あう	まちこ	づくり									į	課	長	名	JI	原	和昭	3	
体系	施策名	0 4	伝統	充文化	公の保	禄存∵	継承									}	所属	G (係)	文	化財	グルー	- プ	
N-171	基本事業名	0 4	文化	と財の	活用	1										ē	電言	舌霍	号	42	2-111	1		
		会計	款		項	且		事業			事業				法令 霧	島市立	郷土	ト館:	等の	設置	及7,1	管理に	- 関で	する条
رً	序算科目	一般	1	0 0	6	0 5	1:	56015	Į.	楚史氏	俗資	料管理	里事	業	根拠例、				., .,	*^=	.,,,	ш-т.	-12,	, 0,,,
車殺!	重業の概要(目休的	なかも	かり方	<u> </u>	順	子 织	期間的	很完	2複数:	午 度 重	[業日	소	k像	を記述)					3	事業:	田間		
	務事業の概要(具体的なやり方、 手順、 詳細。 期間限定複数年度事業は全体像を記述) 事業期間 島地域の歴史・民俗資料の調査、 整理、 収蔵及び資料の公開を行い、 郷土の歴史を正しく理解するとともに、 故郷 単年度のみ																							
に対し	/造詣を深める	0																				•		
																			È	单年月	度繰返	<u> </u>		
																						•		度~)
																				期間四		製年.	度	
4 75		(BO)			_				_				_	_			_		<u>₽</u> (年	度 ~	_	年度
	状把握の部 務事業の目		十五																					
	·段(主な活動		小示												活動指標	重(重発重	重業	のほ	新量	まま	す指標	= \		
	F度実績(20 ²		行っ	た主力	な活	動)									/H = 11 11 11	, (2- 37) -	名和	尔	12/12		7 JH 1/2	J.)	単	位
企画展	展「篤姫と島津	氏」「昭	和の	相撲史		,								7	日日全立 厂 米九	,							-	7
スタン	プラリー (国会	分郷土的	馆主作	崔))'	開館日数	(ţ	3
													\vdash	1										
	F度計画(21				,1る	主な流	舌動)					\Rightarrow	.1										
スタン	プラリー (国会	分郷土的	館主作	崔)																				

意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 郷土の歴史・文化を学ぶ場の提供。

対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等

結果(どんな結果に結び付けるのか) 文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する。

島津義久パネル展

市民以外の人

霧鳥市民

対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 単位 ア霧島市民の数 人 イウ 成果指標(対象における音図の速球度を表す状態)

 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

 名称
 単位

 ア 入館者数
 人

 イ
 ウ

 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

 名称
 単位

 ア郷土の歴史を学んだ市民の数
 人

 イ

(2)	総	事	業費·指標等 の推移	3	単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)		
		財	国庫支出:	金	千円						
	事	に	都道府県支出	金	千円						
	尹	源内訳	地方債		千円						
投	未	함	その他		千円	11	9	13	10		
λ 1X	貝		川又 5/1 //3	į	千円	981	1,221	981	857		
量		IIII.	事業費計 (A	١)	千円	992	1,230	994	867		
墨											
	•			ア	日	308	308	308	306		
		活	動指標	1							
				ウ							
			6 IL IT	ア	人	127,615	127,773	127,450	128,383		
		对!	象指標	1							
				ウ							
		_12.1	D 15 1=	ア	人	574	287	550	600		
		版:	果指標	1							
\vdash				ウ		0.004	0.750	0.054	0.400		
1		<u>بر</u>	++ co +k+=	ア	人	8,884	8,753	9,254	9,400		
1	上	1立/	成果指標	1							
L			= 半。一下	ウ		÷ = **					

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

昭和54年、霧島の歴史·文化を正しく理解するとともに、郷土の貴重な資料を収集し後世に残すことを目的として、霧島歴史民俗資料館を建設した。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 年間の来館者は延べ200人程度であり、土曜、日曜、祭日、に管理してもらうシルバーの方の経費もまかなえない。

<mark>この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?</mark> 霧島市には同類の施設が5館あり、今後統廃合含めた総合的な見直しが必要である。

	事務事業名	霧島歴史民俗	資料館管理運営事業	所属	寓部 勃	教育部	所属課	文化振興課
2	評価の部(SEE) * 政策体系との整		価、ただし複数年度事 ■ 見直し余地がある			☑ 結びついている	る【理由】	
目	が結果に結びついて	?意図すること	郷土の歴史・文化を学ぶ 理解することにつながる。 また、児童生徒の社会教					き詣が深まり、郷土の歴史を正しく
的妥	公共関与の女		□見直し余地がある	【理由】	₽	☑ 妥当である【	理由】 🖜	
哲	なぜこの事業を市が らないのか?税金を する目的か?	行わなければな 投入して、達成	地域の伝統・歴史につい 市が実施する必要がある		印る機会	会や学ぶ場を提供し、	市民の伝統	文化に対する理解を深めることは
個	対象・意図の妥	当性	□見直し余地がある	、【理由】	₽	☑ 適切である 【	理由】 🖜	
	対象を限定・追加する限定・拡充すべきか		霧島市民及び霧島市の	楚史·文化:	を学び	たい人を対象としても	おり、対象・意	図ともに適切である。
	成果の向上余り	地	▼ 向上余地がある	【理由】	₽	□ 向上余地がな	い【理由】	₹
	成果を向上させる余 果の現状水準とある。 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 因で成果向上	人々の興味をひ〈企画展 によって、来館者の増加			展示品の入れ替え等	手を行うこと、;	またその広報活動に力を入れること
有	廃止・休止の成	果への影響	□影響無 【理由】	₽		▼ 影響有 【その	内容】 🖜	
対性評	事務事業を廃止・休 響の有無とその内容		郷土の歴史・文化を学ぶが滅失や損傷の危機にな					『する。また、収蔵されている文化財 ○低下にもつながる。
個	類似事業との常	充廃合·連携の			手段,	事務事業)		
	可能性 目的を達成するには 以外他に方法はない との統廃合ができるか の連携を図ることによ が期待できるか?	いか?類似事業 か?類似事業と	の増加が図られる。 また、霧島公民館との連	□ 連携 企画展、国 携を図り、で	分郷土 有効活	館主催のスタンプラ	リー等の事業	を充実させることによって、入館者
H	事業費の削減	余地	■ 他に手段がない ■ 削減余地がある			▼ 削減余地がな	い【理由】	7
效率	成果を下げずに事業 いか?(仕様や工法 の協力など)		事業費については、館を 料、委託料しかなく、これ				品費、光熱力	、 《費、通信運搬費、手数料、保険
性	人件費(延べ業 減余地	(務時間)の削	□ 削減余地がある	【理由】 5)	☑ 削減余地がな	い【理由】	₽
		⊳委託でできな	郷土館管理運営は年間 ただし、霧島公民館との	105日の委託 連携ができ	託契約 ·るので	で実施している。これ あれば、削減余地は	ι以上の削減 ある。	は不可能である。
公平	受益機会·費用 化余地	負担の適正	□見直し余地がある	。【理由】	Đ	☑ 公平・公正であ	5る【理由】	
性評	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	:いか?受益者	霧島市民はもちろん、霧る。	島市の歴史	史·文化	を学びたい人は誰で	でも同じ料金・	で入館でき、公平性は保たれてい
	評価結果の総括と) 1次評価者としての		(次年度計画と予算へ) 【担当 むり返り、反省点)	i課長記入	
(1)「八評価省として 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	☑ 適切	□ 見直し余地あり ➡ 見直し余地あり ➡	人館者数に 人々が歴史	ニ対して 2 や文 化	、維持費が大きい。! とについて今興味を!	持っているこ	の維持費用で削減の余地がない。 とや社会情勢を考慮し、企画展やイ 官者の増加につながる方策を検討。
<) 今後の事業の方向 □ 廃止 □ 休止 □ 目的再設定 □ 事業統廃合・連携 □ 本本に無常と	■ 事業の)やり方改善(有効性改善)やり方改善(効率性改善)やり方改善(公平性改善)	╊) (別で特に改革改善を	(厚	改革・改善による期待成果 <u>軽止・休止の場合は記入不要)</u> コスト 削減 維持 増加 向
地常	域の特色を活かした① 設展示物資料の入れ	E画展やイベント 替えを行い、わた	後、統廃合を含めた総合 の実施と、その広報周知ない。 いりやすい解説文をつけて	E図る。 展示する。		် (成維果持低下
5 -		見直しについては	すべき課題(壁)とその(は、各地域住民(郷土館等		- (会)の)	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -		財保護審議会委員)の意見を徴集

			平月	泧	20	年度	事務事	業評価シ	<u>-ŀ</u>					
	Ю.	1250-340	事		務焦	· 人歴史民俗資料	給祭理運営	車業			所	属部		
	NO.	1230-340	事	業	名 🖹	(证义CIT)	作品日生建品	学 未			所	属課	文化振興	課
π,	***	政策名	0	4	育み磨	きあうまちづくり					課	長 名	川原禾	ロ 昭
	策系	施策名	0	4	伝統文	化の保存・継承	Ý				所属	属G(係)	文化財G	
14	`T	基本事業名	0	4	文化財	の活用					電	話番号	42-1111	
			会	計	款		事業	事業名		法今 雾	10000000000000000000000000000000000000	上館等の	設置及75管	理に関する条
	子	5 算科目	<u>—</u> f	役			56010	郷土館管理	事業	↓□ +hn /7	心施行規則		以旦入し日	子に戻りるが
-	マタョ	世帯で簡単(Łή	1 0	0 <u>1</u> 1 方、手順、詳細	56015 歴9	史民俗資料館	官埋制	未	3, 10,13,700	,	事業期	88
						<u>刀、ナ順、評細</u> こり、保存したり、記					に資料館のi	海 一 È	- 尹耒 期 単年度のみ	旧
		理運営する。	VILIP	2 ጥግ	(C#0)		MENIZION.	/ ID DOICHEDIT	J1C7 5	, s. conco			半十反のの	
ŧ	た、1	隼人にゆかり(のある	5浜	下りや年	三中行事である灯	ろう祭りなどを	文化財少年団:	を組織	して伝統的体	験学習を行	<u>نا</u> التا	単年度繰返	
う。												14		S 56 年度~)
													期間限定複数	
												(`	年度	
1	現	状把握の部	(DC))								ì		
(1		務事業の目		指	標				_					
		段(主な活動			<i>,</i>					活動指			量を表す指標)	32 /1
次	20年	度実績(203	牛皮		行った	王な沽動) 段展、特別展「われ	以字の字物品				名	ગુા		単位
		の官理連合、 オ少年団の実施		44)	《朱、吊記	対機、特別機 70%	小多の玉物展.			ア開館日	数			日
		プラリー(国分類		館	主催)									
,	<u> ۲</u>	· 安弘高/04/	左曲	:1-	함프 L -	ナー・フーナー ナッミエチャ	1		\Rightarrow	イ文化財	少年団等の	参加者数	汝	人
						<mark>ている主な活動</mark> g展、特別展、文作		カイズラリー	,					
ຸ	ተተ ፔ	の日生ほら、	具个	T4)	(* , m.	X/IX (17/J)J/IX X	心别少千四、	71279		ウ				
	31	免(鉄 何を	},† ⊈	- 1-	してい	3のか) * 人や	白就咨洒笙			分免坛	標(対象の大	キャを主す	- + lo +亜 /	
		家(証、円で) 計市民	スリヨケ	(IC	. 0 (6 1 1		日然貝瓜守			XJ多K1日	信(X)家の人 名詞		打日 作示)	単位
		の児童・生徒	Ē							ア霧島市		·J.		人
	月市	₿以外の人							7	イ 児童·生	E徒の数			人
										ウ				
_						象をどう変えるの	りか)			成果指			の達成度を表	
		R俗資料に触れる。 8個十の歴史				。 逸を防ぎ、後世へ	/= > z			→ \ &÷±	名			単位
貝	里心	「郷土の歴史」	比旧	貝	イキリノ 月 又 2	をを切る、後世へ	はんる。			ア入館者	数 少年団等に	会加した	- 人 米h	<u> </u>
										り	グキ団寺に	多加した	- 八 女X	
	結	果(どんな結	果は	- 幺	きび付け	るのか)					果指標(結果	の達成度	を表す指標)	
文		を学び郷土の									名			単位
									\vdash	ア郷土の	歴史を学ん	だ市民の)数	人
									\Rightarrow	1				
<u></u>		丰	正 ^ /~			40/F G	40左座	1 00左座		ウ				
(2) 総	事業費・指標	宗寺 生移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)		21年度 (見込)				
-		国庫士			千円	(大限)	(大限)	(大限)	+	(无处)	1			
		別報告店			千円				\dashv					
	事業	脚 地方			千円									
扣	業費	おおっての			千円	96	89		95	139				
投 入		川又只	<u> </u>	,	千円	3,904	3,901			3,588				
量	Ш	事業費計	(A)	千円	4,000	3,990	3,5	03	3,727				
									+		1			
		<u> </u>									1			
				ア	日	308	308	3	06	306				
		活動指標		イ	人	270	289	3	16	200				
				ウ										
		计在北海		ア	人	127,615	127,773			128,393				
		対象指標	-	イウ	人	12,096	12,223	121,1	00	12,028				
\vdash				ア	人	1,876	1,921	2,2	57	2,100				
		成果指標		ノ	$\hat{\lambda}$	270	289		16	200				
				ㅎ		5		1	_					
				ア	人	8,884	8,753	9,2	54	9,400				
	上	位成果指標		1										
				7								I		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 昭和56年に開館した。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 入館者は横ばい傾向にある。一般入館者の他、小学生の郷土の学習、歴史愛好団体の活動の場として利用されているが、ここ数年は大学の博物館実習や中学生の職場体験実習の場としても利用されている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 入館者の増加対策。費用対効果に関する指摘。郷土の歴史について知ることが出来良かった(常設展,特別展)。文化財少年団や郷土館等活用他意見学習を通して、郷土の歴史・文化・風俗などが良く分るようになった。との意見が寄せられている。単年度で終了することなく継続してほしい。

	事務事業名	隼人歴史民俗	資料館管理運営事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
2	評価の部(SEE) ³ 政策体系との熱		価、ただし複数年度事業は ■ 見直し余地がある 「理		▼ 結びついている	(理由)	<u></u>
目	この事務事業の目的 策体系に結びつくかが結果に結びつい	りは市(町)の政 か?意図すること		の場所を提	供することによって、文	化財への過	昔詣が深まり、郷土の歴史を正しく
的妥	公共関与の妥	当性	┃ 見直し余地がある 【理	曲)る	☑ 妥当である 【理	曲)	
当性評	なぜこの事業を市からないのか?税金を する目的か?	「行わなければな ・投入して、達成	地域の伝統・歴史について市 市が実施する必要がある。	民に知る機	会や学ぶ場を提供し、	市民の伝統	で文化に対する理解を深めることは
個	対象・意図の姿	妥当性	■ 見直し余地がある 【理	曲プ	☑ 適切である 【理	曲)	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		霧島市民及び霧島市の歴史・	文化を学び	がたい人を対象にしてお	り、対象・意	意図ともに適切である。
	成果の向上余	地	▼ 向上余地がある 【理印		□ 向上余地がない	1【理由】	¬
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 原因で成果向上	魅力的な特別展やイベントなる 加が期待できる。	どの実施、ス	tームページを作成す?	るなど情報で	を発信することによって来館者の増
有	廃止・休止の原	 、 は果への影響	□影響無 【理由】 👽		▼ 影響有 【その月	内容】 🕤	
效性評	事務事業を廃止・休響の有無とその内容		郷土の歴史・文化を学ぶ場が や滅失や損傷の危機にさらさ				響する。また、収蔵されている文化財 D低下にもつながる。
佃	類似事業との紹 可能性	統廃合・連携の	✓ 他に手段がある(具体→ 郷土館等主催事業		事務事業)		
	目的を達成するには		□ 統廃合できる 5 🔽		5 🕤 統廃合で	ぎきない 🕤	◯連携できない 🥄
	以外他に方法はない との統廃合ができる の連携を図ることに、 が期待できるか?	か?類似事業と	巡回の特別展などを実施する また、国分郷土館、隼人塚史記	跡館と連携			い、入館者の増加が図られる。
-	事業費の削減	余地	■ 他に手段がない【理由 間減余地がある【理印		▼ 削減余地がない	1【理由】	
效率			事業費については、館運営になく、これ以上の削減は不可能		― 低限の消耗品費、光熱弱	遺、通信運掘	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
性		養務時間)の削	□ 削減余地がある 【理日	11 →	▼ 削減余地がない	1【理由】	₽
	がなった。 やり方を工夫して延 減できないか?成果 正職員以外の職員 いか?(アウトソーシ	具を下げずにより や委託でできな	資料館管理運営は非常勤職員	員と委託で	実施している。これ以上	の削減は不	「可能である。
公	受益機会·費用 化余地	用負担の適正	■見直し余地がある 【理	申プ	☑ 公平・公正であ	る【理由】	₽
計	事業の内容が一部は ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	霧島市民はもちろん、霧島市(る。	の歴史・文化	とを学びたい人は誰で	も同じ料金	で入館でき、公平性は保たれてい
			(次年度計画と予算への反			課長記入	
(1) 1次評価者として 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	🔽 適切	□ 見直し余地あり ➡ 県内で	でも重要ならい。今後に			こいるが、これらの情報が発信されいつ発信の場(特別展等)を設ける必
) 今後の事業の方[☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☑ 事業統廃合·連	句性(改革改善 ▼ 事業0 ■ 事業0	案)・・・複数選択可 つやり方改善(有効性改善) つやり方改善(効率性改善) つやり方改善(公平性改善)		犬維持 通りで特に改革改善を	(月	改革・改善による期待成果 発止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加
霧たつ	企画展やイベントの実 けて展示する。 収蔵資	ミ施と、その広報局 資料の地道な調査	後、統廃合を含めた総合的な身別を図る。常設展示物資料の整理を行い、情報を発信する。	入れ替える			向 上 成維 果 低 下
			すべき課題(壁)とその解決: め、その存在が知られていない		案内看板の設置や神	宮との連携	によって参拝者を館の入館者として
導 5つ	くことが可能である。	見直しについては					財保護審議会委員)の意見を徴集

			17%	20	T/X	デルデ	木口三型ノ					
No	. 1250-35	0 1	事業	務集	人塚史跡館管理	運営事業				所属部		≐ 里
			_		ミキホシキナベノハ					課長名		
政領	=				きあうまちづくり							
体系		0			化の保存・継承	•				所属G(係)		
11.2	҈ҍ本事業	名 0	4	文化財	か活用					電話番号	子 42-1111	
	•	É	信	款	項目	事業	事業名		はへ 愛良古	立郷土命等(トミル学 ひょくぐ	理に関する条
	予算科目	_	一般	1 0	0 6 0 5 1	56020 隼人均	冢史跡館管理:	運営	事業 根拠 例,施行		の成旦及び日	住に 関する木
										」从只归		
					方、手順、詳細				本像を記述)		事業期	間
					集人塚やハヤト						単年度のみ	
隼人	、塚、ハヤトに	関係(のある	資料を	集めて保存・調査	したり紹介するだ	とめに、史跡館	官の施	設を管理運営する。			
										✓	単年度繰返	
												H 13 年度~)
											期間限定複数	
1 3	現状把握の	如(几)()								十尺	十段)
	事務事業の			抽								
	事物事業の 手段(主な活		CJH	135					活動指標(事	数車業の活動	皇太主オピ煙)	
	テロ(エは) <mark>年度実績(</mark>		中に	/ニュた・	十 <i>十</i> %千番h \				/口里川1日1示(字)	名称	里で仅り1日信)	単位
					エは/白野/) 者への隼人塚・ハ	カトの紹介 前	OR .			口彻		丰 世
					すべの辛人塚・ハ 『人塚とうろう祭。	、ドドリスペロノト、古兀	- /7.		ア開館日数			日
الح)	吻公园) 羊人	八 トゥ	л	可り、牛	:人塚とりつり宗。				7 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17			
									1			
21	年度計画(2	21年/	度に	計画し	ている主な活動)		7				
	、塚来訪者へ								4			
(史記	跡公園)隼人	浜下り	立ち	寄り、隼	人塚とうろうのタイ	' '.			ウ			
3	対象(誰、何	を対	象に	してい	るのか) * 人や[自然資源等			対象指標(対	象の大きさを表す	す指標)	
	島市民		-311-			- , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			7.3.5.3.E (a. (7.3.	名称	> 3H 130 /	単位
市	民以外の人							\Rightarrow	ア霧島市民の数	女		人
								,	1			
									ウ			
Ţ	意図(この事	業に	よっ	て、対象	象をどう変えるの	つか)			成果指標(対	象における意図	図の達成度を表	
隼人	、塚やハヤトに	こつい	て学	び、関心	♪や理解を深めて [:]	もらう。				名称		単位
								\Rightarrow	ア入館者数			人
								,	1			
									ウ			
	結果(どんな								上位成果指標		度を表す指標)	
文化	(財を学び郷:	土の歴	をと	正しく理	単解する。					名称	- 10	単位
								\Rightarrow	ア郷土の歴史を	学んだ市民の	の数	人
								\neg	1			
(0)	<u> </u>	K1#4	~ I		40/T PR	10/T P	20/5		ウ			
(2)	総事業費·技			単位	18年度	19年度	20年度		21年度			
		の推利			(実績)	(実績)	(実績)		(見込)			
	9/1	支出		千円								
1	事源をお			千円				-				
Ì	業内	方債 の他		千円	150	164	47		24.4			
投賃	事源が地できる。地震の表現では、地震の表現である。	の他段財派	百	千円	159 3,850	164 3,667	17 3,76		214 3,462			
λ	事業費			千円	4,009	3,831	3,70		3,676			
量-	于未具	AI (4	Λ)	IIJ	7,000	3,031	0,90	0	3,070			
								-				
								十		<u> </u>		
_			ア	日	308	308	31	5	310	+		
	活動指標		1				<u> </u>					
			÷									
			ア	人	127,615	127,773	128,12	8	128,383			
	対象指標		1		,	.,	·,· -		-,			
			ġ									
			ア	人	2,458	2,172	2,25	7	2,389	 		
	成果指標		1	- (_,	_,	_,_0		_,,,,,			
	いっくいしょう		b					\top		+		
			ア	人	8,884	8,753	9,25	4	9,400	<u> </u>		
	上位成果指	標	1	- \	3,331	5,. 55	3,20		-,			
-	H		Ė									
(3)]	重殺重業の	理培		/ . 仕足	<u> </u>					<u> </u>		

(d) 事務事業の場場を10 に以来を この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

国指定史跡隼人塚の発掘調査・修復整備事業の一環として、平成13年度開館。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 開館当初よりは入館者は減少傾向にある。県外からの利用も多い。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 隼人塚の歴史やハヤトについてわかった。

	事務事業名	隼人塚史跡館	管理運営事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
2	評価の部(SEE) * 政策体系との整		位、ただし複数年度事業に ■ 見直し余地がある 【理		▼ 結びついている	【理由】	<u>5</u> .
	この事務事業の目的 策体系に結びつくか が結果に結びついて]は市(町)の政 \?意図すること		・ いて学ぶ最 結びつ〈。	良の場所を提供すること	によって、	関心や理解を深めてもらい、郷土
的妥	公共関与の妥	当性	■見直し余地がある【理	曲)之	▼ 妥当である 【理	申】之	
当性評	なぜこの事業を市が らないのか?税金を する目的か?	行わなければな 投入して、達成	集人塚は国指定史跡であり る。	、隼人塚史	跡館はそのガイダンス施	設としての)役割を担っているため必要であ
価	対象・意図の妥	长当性	■見直し余地がある【理	曲)之	☑ 適切である 【理	申】之	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		集人塚やハヤトの歴史につ		い人は、誰でも隼人塚虫	ご跡館を利	用できるので適切である。
	成果の向上余	地	▼ 向上余地がある 【理日		□ 向上余地がない	【理由】	₽
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 因で成果向上	企画展や特別展を企画運営	することに	より、入館者数を増やす	0	
有	廃止・休止の成	成果への影響	□影響無【理由】与		▼ 影響有 【その内	容] 🤼	
効性評	事務事業を廃止・休 響の有無とその内容		平成13年度に開館しており郷土の歴史・文化を学ぶ場財が滅失や損傷の危機にさら	がなくなり、	学校教育や子どもたちの	学習に影	響する。また、収蔵されている文化
価	類似事業との終 可能性	充廃合·連携の	✓ 他に手段がある(具体✓ 郷土館等主催事業		事務事業)		
	目的を達成するには		→ 郷土語寺主催事業 □ 統廃合できる ¬ ✓		る 🦘 📗 統廃合で	きない 🕤	■連携できない ラ
	以外他に方法はないとの統廃合ができる						テい、入館者の増加が図られる。
	の連携を図ることに。 が期待できるか?	より、成果の向上	また、国分郷土館、隼人歴史		官と連携し、有効沽用でき	ないか検	<u>র</u> া ক ১,
H	事業費の削減	余地	■他に手段がない【理由 ■削減余地がある【理日		▼ 削減余地がない	【理由】	3
効率			事業費のほとんどは、文化!! 熱水費等であり、現時点にお		 員1名分の人件費と、館		要する各種の保守管理委託料と光
性		養務時間)の削	□削減余地がある【理日	#] 🌛	☑ 削減余地がない	【理由】	₽
	やり方を工夫して延っ減できないか?成果 正職員以外の職員もいか?(アウトソーシ	!を下げずにより や委託でできな	史跡館管理運営は非常勤職者への説明対応を行っており	(、材センターへの委託により、来館 である。
公	受益機会・費用	負担の適正	□見直し余地がある【理	画力	☑ 公平・公正である	3 【理由】	₽
平	也赤地	11 - 11 - 12	 霧島市民はもちろん、霧島፣	市の歴・文化	化を学びたい人は誰でも	同じ料金で	で入館でき、公平性は保たれてい
計	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	る。 また、霧島市内の他の郷土館	等施設と <i>入</i>	、館料を統一しており、公	・平・公正で	ె. దర్శా
	評価結果の総括と 1次評価者としての		(次年度計画と予算への反		N) 担当記 振り返り、反省点)	果長記入	
(1)	目的妥当性		<u>(2) ∃</u> 見直し余地あり <u></u>	三 中心3口()	派り込り、及自忠)		
	有効性						:、費用負担等全体的には適切と評 こつながる方策を検討する。
	効率性 公平性	✓ 適切✓ 適切	□ 見直し余地あり 値する□ 見直し余地あり	011. \ \ [E]			- フながる刀米で1天67 y る。
(3)			案)・・・複数選択可	— тв	√77 04. +∓	` '	改革・改善による期待成果
<		事業の	Dやり方改善(有効性改善) Dやり方改善(効率性改善) Dやり方改善(公平性改善)		状維持 通りで特に改革改善をし		発止・休止の場合は記入不要)
要	である。		≢人塚史跡館としての特色を活 今後、統廃合を含めた総合的な			他が必	上
/F	小艺 小羊≠虫虫	オ フレ ながた。	ナベキ細師 / 竪\しっ ヘダパト	<u>~~</u>			低下
5	 小・中学校とも連携を図	図り、歴史学習や)見直しについて	すべき課題(壁)とその解決 遠足等における行程に入れて は、各地域住民(郷土館等あり	もらうよう働		るもの(文化	と財保護審議会委員)の意見を徴集
		•					

<u> </u>	成	20	年度	事務事業	<u> 簑評価シ</u>	<u>- </u>					
No. 1250-370 事		务	ア野金山ウォー:	キング大会問	催 重業			所属		教育部	
	業名	á ·			庄 尹 太			所属		文化振	
			きあうまちづくり						長 名		和昭
休系			化の保存・継承	(所属(グループ
	4 X 計	文化財 款	の活用 項 目	事業	事業名		<u> </u>	電話	番号	42-111	1
				丁未 58090	文化財保護	賃費	— 法令 根拠 特にな	U			
事務事業の概要(具体										事業	
山ヶ野金山史跡めぐりと キングを楽しんでいただ		フォーキ	・ング大会を実施す	することにより、st	金山史跡とふ	るさとの	り香りを味わいながら	らウォー	<u>□</u> \$	単年度のる	}
山ケ野金山のウォーキ 地元地区民による湯 平成20年度全体事業	キング 茶の打 費 1	妾待	中学生による 郷土芸能の扩 円 (補助金600	皮露						間限定	(H 14 年度~)
1 現状把握の部(DC (1) 事務事業の目的と		<u> </u>									
手段(主な活動)							活動指標(事	務事業の	活動量	を表す指	票)
20年度実績(20年度	きに行	うった	<mark>主な活動)</mark>					名称			単位
平成21年3月1日、旧横 実施。参加者285人。	〔八	山ヶ野	'地区を中心に史	砂めくリワォーキ	ンク大会を		アウォーキング	参加者			人
21年度計画(21年度	まに言	十画し	ている主な活動)		\Rightarrow	イ 地元ボランテ	ィア			人
20年度と同様の予定							ウ				
対象(誰、何を対象	象にし	している	るのか) * 人や[自然資源等			対象指標(対		さを表す	指標)	57 / 7
霧島市民 市民以外の人						\Rightarrow	ア霧島市民	名称			単位人
						7	イ 市民以外の人				-
		_ \ \ \ \					ウ				
意図(この事業に。 山ケ野金山について歴	よって	て、対象	家をどう変えるの こして理解するとと)か) キに ウォーキン	がた通して		成果指標(対	<u>象におけ</u> 名称	る意図の	の達成度を	E表す指標) 単位
地域住民の融和並びに				UIC, JA TJ	ノを通じて	\Rightarrow	アウォーキング				
						7	1				
結果(どんな結果)	一女士:	7 ぶんけ 1 十	ころか)				ウ上位成果指標	(姓甲の	李战帝	たますじが	西)
文化財を学び郷土の歴								名称			単位
						\Rightarrow	ア郷土の歴史を	学んだ	市民の	数	人
						7	イ ウ				
(2) 総事業費·指標等		単位	18年度	19年度	20年度		21年度				9
の推移	,		(実績)	(実績)	(実績)		(見込)				
財 国庫支出会		千円									
事源 地方債 米内 その他 サカ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		千円									
投費訳の他		千円	000	200	-		5 40				
大		千円	600 600	600 600		00	540 540				
量	• /	117	000	000	- 00		0-10				
	+					_					+
-'	ア	人	249	295	28	35	300		-		+
活動指標	1	人	230	266		60	250				
	ウア	,	127,615	127,773	128,12	28	128,383		_		
対象指標	7	人	0	0	120,12	0	0				
. 3.0.00 100	ウ		-				Ţ				
公田七 播	ア	人	249	295	28	35	300				
成果指標	イ ウ					-					
	ア	人	8,884	8,753	9,25	54	9,400				
上位成果指標	<u>ا</u>										
 (3) 事務事業の環境3	ウ 変化・	·住民									
マルカン 大学	始し	たきっ	ssたす かけは何か?し	ハつ頃どんな約	¥緯で開始さ	* h.t-	ወ か?				

山ケ野金山を活かした地域起こしの一貫として14年度から実施している。

事務事業を取り巻〈状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

参加者の申込が年々多くなってきている。

地域住民参加者(ボランティア)の高齢化が進んでいる。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 地域の方々のもてなしや中学生による案内説明など、ウォーキング参加者に大変喜ばれている。

	事務事業名	山ケ野金山ウ	ォーキング大会開催	事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
2	評価の部(SEE) プロングラス 対策体系との整		『価、ただし複数年度 ■ 見直し余地があ				いる【理由】	
	この事務事業の目的 策体系に結びつくか が結果に結びついて	、? 意図すること		グに参加	・ 加することで	፟҈∵郷土の歴史・文・	化を正しく理解し	、 し、文化財を大切にする愛護思想を
的妥		当性	■見直し余地があ	る【理	曲)之	☑ 妥当である	【理由】 🤼	
評	らないのか?税金を する目的か?		霧島市の文化財(山ケリ、地域の活性化を図				し、文化財の保	存・伝承について理解を深めてた
価	対象・意図の妥	妥当性	□見直し余地があ	る【理	曲】 🎝	☑ 適切である	【理由】 🕏	
	限定・拡充すべきか	?	3 .					が重要であることから、妥当であ
	成果の向上余		□□向上余地がある	【理由	∄	☑ 向上余地か	がない 【理由】 「	₽
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 原因で成果向上		上げる	ため実行す			也区住民の協力、中学生による案では地域住民でできることを含め最
有	廃止・休止の原	は果への影響	□影響無【理由】	₽		☑ 影響有【そ	その内容】 🕤	
効 性 評	事務事業を廃止・休 響の有無とその内容							と、次第に文化財の消失や郷土芸 地域の活性化が後退する。
価	類似事業との約 可能性	統廃合·連携の	□ 他に手段がある	る(具体	的な手段,	事務事業)		
	目的を達成するには 以外他に方法はない	1か?類似事業	□ 統廃合できる 5			• —	合できない 🤊	_
	との統廃合ができる。 の連携を図ることに。		山ケ野金山の保存・活 	用、山久	ア野地区の	活性化を図るには	、本事務事業が	最適である。
	が期待できるか?	A 111.	✓他に手段がない			- No. 15 A 14 A	31 FTT 1.1	
	事業費の削減		■削減余地がある	5 【埋日	∃) 	▶ 削減余地力	がない 【理由】	→
効率	07 (M) 7 3 7 C)	の適正化、住民	地域住民(中学生~局 総事業費の半額を参加	口費が占	あており 、	歳出についても極	力削減に努めて	ะเาอ.
性	人件費(延べ業 減余地	美務時間)の削	□削減余地がある	5 【理由		☑ 削減余地か	がない 【理由】	₽
	やり方を工夫して延	見を下げずにより や委託でできな	約266名のスタッフもか	ボランテ ・	ィアであり、	人件費の削減は十	-分に実施してに	13.
公	受益機会·費用 化余地	月負担の適正	□見直し余地があ	る【理	甲プ	☑ 公平・公正	である【理由】	
評	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	事業の案内については 参加資格、申込方法な ウォーキングの参加者	ど多く	の方々が公	平に参加できるよ	配慮している。	
			:(次年度計画と予算				旦当課長記入	x = 0 24
(1,) 1次評価者として(目的妥当性		□ 見直し余地あり	(2) ±	14総括(1	辰り返り、反省点	.)	
	有効性		見直し余地あり					ア、地域住民)から喜ばれており、
	効率性 公平性	✓ 適切✓ 適切	□ 見直し余地あり□ 見直し余地あり	又化	4の休仔・バ	舌用、地域の活性化	【に繋がる事業	င်တစ်
		向性(改革改善 ■ 事業0 ■ 事業0	案)・・・複数選択可りかり方改善(有効性改りかり方改善(効率性改りかり方改善(公平性改りかり方改善(公平性改りかり方改善(公平性改	(善)		状維持 通りで特に改革改訂	(改革・改善による期待成果 発止・休止の場合は記入不要 スト
本	事業は企画の段階か	ら現地(ルート)の 主体となって取り約	D整備、当日のおもてな 組んでいる。 今後も、地	しに至る 域総ぐる	るまで、地域 るみで本事	は住民(山ケ野金山 業に取り組んでいた	文化財保にだきたい。	上 成維 果持 低 下
地	域住民(ボランティア)	の高齢化が進ん	すべき課題(壁)とその でおり、今後の事業のほうンティアを募る必要から	収組みに		 てくるのではと危惧	 [UTI13.	で、本事業を山ケ野地区以外の

	:	平成	20	年度	事務事	業評価シ	-					
No.	1250-380	事	務市	内史跡めぐり開作	岸 重業					属部	教育部	
140.		事業	白							属課	文化振興	
政策				きあうまちづくり						長 名	川原和	<u> </u>
体系				化の保存・継承	(G(係)	文化財G	
-				の活用	古光	市兴力			電話	番号	42-1111(5201 • 5202)
-	予算科目	<u>会計</u> 一般			事業 58090	事業名 文化財保護	費	—── 法令 根拠 特になり	J			
				方、手順、詳細							事業期	間
には、住民化財・市・史	近世に至るまで産	主業・終 化財を持た よる広 (ス)	経済の中 を見学す :せる。	≀心地として栄えて ることで、文化財 ^⁴	きた。市内には	数多くの文化	財が	大隅国の中心地として 点在している。 そこで 郷心を高揚するととも	、地域	<u>~</u>	単年度のみ 単年度繰返 □ (明間限定複数 年度	
(1) 틬	事務事業の目的	りと指	標									
	F段(主な活動)							活動指標(事			を表す指標)	
	<mark>年度実績(20年</mark> 史跡めぐり	度に	行った	主な活動)					名称			単位
(A) th	史跡のくり						١	ア 史跡めぐりの[回数			回
211	午度計画(21年	きに	针面1.	ている主な活動	1		\Rightarrow	1				
	史跡めぐり	-IXIC	лдо	CV101.6/111)		,	ウ				
文	対象(誰、何を対	対象に	してい	るのか) *人や[自然資源等			対象指標(対象			指標)	
市民							_		名称			単位
内巾	にある文化財						\Rightarrow	ア 人口 イ 文化財の数				人 件
								イ文化財の数				i T
意	意図(この事業)	こよっ	て、対象	象をどう変えるの	つか)			成果指標(対象	象におけ	する意図の	の達成度を表	 す指標)
郷土	の歴史・文化にて	ついて	学び、文	て化財愛護思想の	普及を図る		, k		名称			単位
							\Rightarrow	ア史跡めぐり参加	川首奴			人
								イ ウ				
	吉果(どんな結り							上位成果指標			を表す指標)	
文化	財を学び郷土の	歴史を	を正しく理	里解する				司伽 L 泰區中土	2000年		**	単位
							\Rightarrow	ア郷土の歴史をイ	子んに	市氏の	登 义	
							,	ウ				
(2) 糹	総事業費·指標		単位	18年度	19年度	20年度		21年度				
-	の推 回庫支出	移	千円	(実績)	(実績)	(実績)		(見込)				
	知道应用去		千円									
	地方值		千円									
投費	8 <u>+</u> 0 ~ 0010		千円									
入	一放兒	<u>源</u> (A)	千円	206 206	150 150	21	6	235				
量一	学未貝미	(A)	IIJ	200	130	2	U	200				
ΙL												
\vdash		17		11	10		9	10				
	活動指標	アイ	핍	11	10		9	10				
		ウ										
	114 IV I	ア	人	127,615	127,773	128,12		128,383				
	対象指標	イウ	件	664	665	66	6/	807				
		ア	人	706	420	38	38	460		_		
	成果指標	1	/\	, 55	120		+					
		ウ										
	- 6-13 田 +15 +#	ア	人	8,884	8,753	9,25	54	9,400				
1 1	:位成果指標	11				Ī	- 1					

イウ (3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

平成18年度から開始。霧島市の歴史や文化財を広く知っていただくことを目的として開始した。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成17年に霧島市が誕生して以来、市民の多くの方が郷土(霧島市)の歴史や文化財について、関心を寄せている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 市民から、史跡めぐりについて、もっと積極的に広報してほしい。 史跡めぐりの参加者から、今後も続けてほしいという要望が寄せられている。

	事務事業名	市内史跡めぐ)開催事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
目的妥当性	評価の部(SEE) ⁷ 政策体系との		位、ただし複数年度事業に ■ 見直し余地がある【理	は途中評価 ●由】 つ	▼ 結びついている	る【理由】	₽
		い?意図すること	霧島市の文化財を巡ることで、	郷土の歴5	史・文化を正し〈理解し	、文化財を	大切にする心を持つことができる。
	公共関与の妥当性		□見直し余地がある 【理由】 つ 妥当である 【理由】 つ				
	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?		霧島市の文化財を市民に周知し、文化財の保存・伝承について理解を深めてもらうことは市の役割である。				
	対象・意図の妥当性		□見直し余地がある 【理由】 🕟 🔽 適切である 【理由】 🥎				
	対象を限定・追加すべきか?意図を 限定・拡充すべきか?		文化財保護の啓発と愛護思想の高揚を進めていくためには、文化財に対する市民の意識を高めることが重要である。				
	成果の向上余地		▼ 向上余地がある 【理由】 🦜 🔲 向上余地がない 【理由】 🦜				
有効性評価	果の現状水準とあるべき水準との差		霧島市は古くは縄文時代に始まり、クマソ・ハヤトや天孫降臨などの伝説、古代からは大隅国の中心地として、さらには近世に至るまで産業・経済の中心地として栄えてきた。そのため、新市霧島市には多くの文化財が点在しているが、市内の文化財の所在や歴史・文化について知らない市民が多い。よって、本事務事業の成果を向上させる余地は十分にあると考えられる。				
	廃止・休止の成果への影響		□影響無【理由】→		▼ 影響有 【その	内容】 🕤	
	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?		文化財の周知や文化財を大切にする心を育まないと、次第に文化財の消失や郷土芸能や風習、さらには年中 行事、方言などが途絶えることが考えられる。				
	類似争業との	統廃合・連携の		的な手段、	事務事業)		
	可能性 目的を達成するには、この事務事業 以外他に方法はないか?類似事業 との統廃合ができるか?類似事業と の連携を図ることにより、成果の向上 が期待できるか?		以 □ 統廃合できる う □	連携できる	5 🔽 □ 統廃合	できない 🕤	■連携できない 🕤
			史跡をめぐり、市民が直接文化財に触れることは非常に大切なことであり、実物に優るものはない。				
	事業費の削減	余地	✓ 他に手段がない【理由✓ 削減余地がある【理目		□ 削減余地がな	い【理由】	<u></u>
	成果を下げずに事業 いか?(仕様や工法	業費を削減できな		・ バスの借上	ー げなど、必要最小限の		しているが、参加者に参加料を求
	人件費(延べ第 減余地	養務時間)の削	□ 削減余地がある 【理日		☑ 削減余地がな	い【理由】	Ð
	やり方を工夫して延 減できないか?成果 正職員以外の職員・ いか?(アウトソーシ	具を下げずにより や委託でできな	本事業の業務内容は、参加者 (講師は外部から招聘すること		料作成、当日の史跡	めぐりなどで	あり、外部に委託する業務はない。
計	受益機会·費用 化余地	用負担の適正	■見直し余地がある【理	画う	▼ 公平・公正であ	5る【理由】	₽
	事業の内容が一部の受益者に偏っ ていて不公平ではないか?受益者 負担が公平・公正になっているか?		事業の広報も市報やチラシで行っており、市民に広く呼びかけている。 バスによる史跡めぐりは募集人数に制限があるため、はがきによる募集を行い、定数を越えた場合は抽選を行なっているため公平である。				
			(次年度計画と予算への反) 【担当 長り返り、反省点)	課長記入	(F)
(1,) 1次評価者として 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	適切適切適切	□ 見直し余地あり → 文化!	け保護の意 急していくこ	識啓発のために、市民		見しみやすいコース作りに努めること 別が表現的であるということも検討の余
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可							
霧島市内の、歴史、伝統文化、文化財について知らない市民が数多くいる。また、職員も把握しきれていない文化財等も数多く眠っている。霧島市の重要な文化財等を保存・活用していくためには、職員の研鑚と市民の意識向上が必要であると考える。集合場所など、課題は多くあるが、新たなコースを開拓し、多くのリピーターを呼び込めるようにしていくことが課題である。							上 成維 持 低 下
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 新たなルートの開拓には、集合場所や安全面など様々な課題がある。実際に歩いてみなければならないようなこともあり、業務としては大きな負担となる 可能性がある。日常の業務の中から、史跡めぐりができるような文化財を見つけ、地域の特性を研究することが重要である。							